

シニア世代の生活の軌跡と健康に関する調査 調査結果

平成 28 年 9 月

文部科学省科学研究費・基盤研究
「高齢者の社会的不利」研究班

目 次

1部 調査の概要

I 調査目的	1
II 調査方法	1
III 調査メンバー	1

2部 結果

IV 対象者の特性	4
1. 年齢階級別・性分布	
2. 地域別分布	
V 健康状態	5
1. 健康度自己評価	
2. 罹患疾患	
3. 歯の健康	
4. うつ症状	
5. 日常生活動作	
6. 認知能力	
VI 健康習慣	15
1. 摂取食品群の種類	
2. 肥満度	
3. 運動習慣	
4. 飲酒習慣	
5. 喫煙習慣	
6. 歯磨き習慣	
7. 歯科受診	
VII 保健意識	23
1. 健康情報の活用能力	
2. 運動の効果認知	
3. 運動の自己効力感	
4. 運動の支援環境	

VIII. 家族	27
1. 配偶者	
2. 家族員数	
3. 家族形態	
IX. 社会ネットワーク	35
1. 別居子と親しい親戚	
2. 親しい近隣の人・友人	
3. 外出頻度	
4. 加入している会やグループ	
X. 社会的支援	43
1. 情緒的支援・手段的支援・情動的支援・外出の誘い	
2. 介護・看病	
XI. 住環境	46
1. 居住年数	
2. 近隣における住宅のタイプ	
3. 近隣の環境	
4. 車やバイクの保有	
XII. 性格・態度・意識	51
1. 性格	
2. 時間的展望	
3. 自己統制感・自尊感情	
XIII. ライフコース	57
1. 周囲の喫煙習慣	
2. 家族の食生活	
3. 自分と周囲の運動・スポーツ習慣	
4. 生まれてから現在までの否定的な生活出来事	
5. 小さい時の文化的環境・文化活動	
6. 18 歳までの健康状態	
7. 18 歳までの否定的な生活出来事	
8. 最近の否定的な生活出来事	
9. 経済的困窮	
10. 両親の社会階層	

XIV. 職業	81
1. 現職	
2. 最長職	
3. 失業	
XV. 社会階層	90
1. 學歷	
2. 住宅	
3. 相對的貧困	
4. 經濟的困窮	
5. 年收	
6. 預貯金	
3部 資料	
XVI. 單純集計	99
XVII. 調查票	121

1 部 調査の概要

I 調査目的

高齢者の間では、健康な人もいれば病気がちの人もいるなど健康面で大きな違いがある。近年、このような違いが、運動習慣や食生活などの高齢期における生活の送り方だけでなく、いままでにどのような生活を送ってきたのか、その軌跡によって異なることが明らかにされつつある。本調査の目的は、高齢者の生活と健康とともに、高齢期にいたるまでにどのような生活を送ってきたのか、その軌跡を明らかにすることにある。

本報告では、研究に限定された分析結果を示すのではなく、調査から見えてきた高齢者の生活の軌跡と、高齢期における生活と健康の概要について紹介する。結果は、単純集計とともに、年齢階級、性、地域、収入階層とのクロスの結果も紹介する。

II 調査方法

1. 対象

東京都の墨田区と世田谷区に在住の 65 歳以上の住民から、各 1,000 人ずつ計 2,000 人を住民基本台帳に基づき無作為に抽出した。

2. 調査項目

現在の健康、職業、社会活動、社会階層、生活意識に加えて、親の社会階層、ライフコース上の生活出来事、周囲の生活習慣などを質問した。

3. 調査方法

訪問面接法で行った。

4. 回収数・率

回収数は 739 であり、回収率は 36.9%であった。

III 調査メンバー

杉澤 秀博 (桜美林大学大学院・老年学研究科・教授、代表)
原田 謙 (実践女子大学・人間社会学部・准教授)
杉原 陽子 (首都大学東京大学院・都市環境科学研究科・准教授)
柳沢 志津子 (徳島大学大学院・医歯薬学研究部・講師)
新名 正弥 (地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター・研究員)

2 部 調査結果

IV 対象者の特性

1. 年齢階級別・性別分布（表Ⅳ－1、表Ⅳ－2）

年齢階級別分布をみると、「65～74 歳未満」が 51.0%、「75～84 歳」が 38.3%、「85 歳以上」が 10.4%であった。性別分布をみると、男性が 44.8%、女性が 55.2%であった。

表Ⅳ－1 年齢階級別分布(%)

65-74 歳未満	75-84 歳未満	85 歳以上	無回答
51.0	38.3	10.4	0.3

N = 739

表Ⅳ－2 性別分布(%)

男性	女性
44.8	55.2

N = 739

2. 地域別分布（表Ⅳ－2）

地域別分布をみると、墨田区が 51.7%、世田谷区が 48.3%とほぼ同じ割合を占めていた。

表Ⅳ－3 地域別分布(%)

墨田区	世田谷区
51.7	48.3

N = 739

V 健康状態

1. 健康度自己評価

(1) 健康度自己評価の分布（表V－1）

「よい」が30.2%、「まあよい」が29.5%であり、半数以上の人が良好と評価していた。

表V－1 健康度自己評価の単純集計(%)

よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
30.2	29.5	23.5	11.8	3.1	1.9

N=739

(2) 健康度自己評価と回答者の属性との関連（表V－2）

健康度自己評価が、年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるかをみた。収入階層による差がみられ、「よい」と「まあよい」の回答の合計は、600万円以上では68.4%で、300万円未満の54.9%と比較して、13.5ポイント高かった。年齢、性、地域に関しては、健康度自己評価の回答の分布に大きな差はみられなかった。

表V－2 健康度自己評価のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	計
年齢階級	65-74 歳	372	32.3	30.4	25.3	8.9	3.2	100.0
	75 歳以上	353	29.2	29.7	22.7	15.3	3.1	100.0
性	男性	326	28.5	33.4	22.1	12.9	3.1	100.0
	女性	399	32.6	27.3	25.6	11.3	3.3	100.0
地域	墨田区	373	29.8	28.4	23.6	15.3	2.9	100.0
	世田谷区	352	31.8	31.8	24.4	8.5	3.4	100.0
収入階層	300 万円未満	286	28.0	26.9	26.9	14.0	4.2	100.0
	300-600 万円未満	199	30.7	37.2	20.6	8.5	3.0	100.0
	600 万円以上	76	39.5	28.9	26.3	5.3	0.0	100.0

注) 無回答は除外して集計。

2. 罹患疾患

(1) 罹患疾患の分布 (表V-3)

持病や病気の後遺症の有無に関しては、「高血圧」が 39.8%と最も多く、「慢性の腰痛」が 18.4%、「白内障、緑内障、その他の目の病気」が 17.4%、「糖尿病」が 11.8%、「関節炎、リウマチ、神経痛」が 10.0%と続いていた。

表V-3 罹患疾患の単純集計(%)

	あり	なし	わからない／無回答
(1) 心臓病	9.3	90.5	0.1
(2) 関節炎、リウマチ、神経痛	10.0	90.0	0.0
(3) 高血圧	39.8	60.1	0.1
(4) 糖尿病	11.8	88.1	0.1
(5) 脳卒中、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血	4.9	94.9	0.3
(6) 白内障、緑内障、その他の目の病気	17.6	82.0	0.4
(7) ガン	6.8	92.7	0.5
(8) 気管支炎、肺気腫、ぜんそく、結核、 その他の慢性呼吸器の病気	5.7	94.2	0.1
(9) 慢性の腰痛	18.4	81.3	0.3
(10) 骨折、骨のひび	5.8	94.2	0.0

N=739

(2) 罹患疾患の有無と回答者の属性との関連 (表V-4)

罹患疾患の有無について、年齢階級、性、地域、あるいは収入階層による分布の差をみた。年齢階級による差が大きく、何らかの疾患に罹患している人の割合は、75歳以上では 75.9%と、65-74歳の 60.2%と比較して 16ポイント高かった。性による差もみられ、男性では罹患疾患に罹患している割合は 71.6%であり、女性の 64.8%と比較して 7ポイント高かった。地域、収入階層に関しては、回答の分布に大きな差はみられなかった。

表V-4 罹患疾患のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

	N	罹患疾患 なし	罹患疾患 あり	計
年齢階級 65-74 歳	372	39.8	60.2	100.0
75 歳以上	357	24.1	75.9	100.0
性 男性	328	28.4	71.6	100.0
女性	401	35.2	64.8	100.0
地域 墨田区	374	30.2	69.8	100.0
世田谷区	355	34.1	65.9	100.0
収入階層 300 万円未満	290	30.7	69.3	100.0
300-600 万円未満	198	33.3	66.7	100.0
600 万円以上	76	32.9	67.1	100.0

注)無回答は除外して集計。

3. 歯の健康

1) 歯の健康度自己評価

(1) 歯の健康度自己評価の分布 (表V-5)

「とてもよい」が21.8%、「まあよい」が52.8%であり、7割以上の人が良好と評価していた。

表V-5 歯の健康度自己評価の単純集計(%)

とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	わからない／無回答
21.8	52.8	17.1	8.1	0.3

N=739

(2) 歯の健康度自己評価と回答者の属性との関連 (表V-6)

歯の健康度自己評価が年齢階級、性、地域、および収入階層により異なるのかをみた。年齢階級および性については差がみられなかった。地域に関しては、「とてもよい」「まあよい」の回答の合計が、世田谷区では79.9%、墨田区では70.9%と、世田谷区の方が9ポイント高かった。収入階層による差も大きく、「とてもよい」「まあよい」の回答の合計は、600万円以上では84.2%で、300万円未満の69.2%と比較して、15ポイント高かった。

表V-6 歯の健康度自己評価のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	とても よい	まあよい	あまり よくない	よくない	計
年齢階級	65-74 歳	376	20.5	55.3	17.0	7.2	100.0
	75 歳以上	361	23.3	50.4	17.2	9.1	100.0
性	男性	330	23.3	52.7	17.6	6.4	100.0
	女性	407	20.6	53.1	16.7	9.6	100.0
地域	墨田区	381	19.7	51.2	17.8	11.3	100.0
	世田谷区	356	24.2	54.8	16.3	4.8	100.0
収入階層	300 万円未満	293	16.0	53.2	20.1	10.6	100.0
	300-600 万円未満	200	29.5	48.0	17.5	5.0	100.0
	600 万円以上	76	25.0	59.2	11.8	3.9	100.0

注)無回答は除外して集計。

2) 残存歯数

(1) 残存歯数の分布 (表V-7)

残っている自分の歯の本数については、「20 本以上」が 44.2%、「10～19 本」が 25.8%、「1～9 本」が 18.9%と続いていた。およそ 9 割の人が自分の歯を持っていた。

表 V-7 残存歯数の単純集計 (%)

20 本以上	10～19 本	1～9 本	0 本	わからない
44.2	25.8	18.9	10.0	0.8

N=739

(2) 残存歯数と回答者の属性との関連 (表V-8)

残存歯数は、「20 本以上」が 65-74 歳で 53.5%、75 歳以上で 35.4%と、75 歳以上と 75 歳未満では 18.1 ポイントの差がみられた。地域別にみると、「20 本以上」が世田谷区で 48.2%、墨田区では 41.4%と、世田谷区の方が高かった。収入階層に関しては、「20 本以上」という回答が 300 万円未満で 41.8%、600 万円以上で 53.3%と、11.5 ポイントの差がみられた。性別による差はみられなかった。

表 V-8 残存歯のクロス表 (%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	20 本以上 ある	10～19 本 ある	1～9 本 ある	0 本	計
年齢階級	65-74 歳	376	53.5	26.9	14.1	5.6	100.0
	75 歳以上	356	35.4	25.3	24.4	14.9	100.0
性	男性	329	44.7	24.6	19.1	11.6	100.0
	女性	403	44.7	27.3	19.1	8.9	100.0
地域	墨田区	379	41.4	24.5	23.2	10.8	100.0
	世田谷区	353	48.2	27.8	14.7	9.3	100.0
収入階層	300 万円未満	292	41.8	25.3	19.9	13.0	100.0
	300-600 万円未満	200	53.0	24.0	15.0	8.0	100.0
	600 万円以上	75	53.3	22.7	18.7	5.3	100.0

注) 無回答は除外して集計。

3) 咀嚼能力

(1) 咀嚼力の分布 (表V-8)

嚙んで食べられる能力を質問したところ、「どんなものでも食べたいものをかんで食べられる」が 64.7%、「かみにくいものもあるがたいていのものはかんで食べられる」が 30.2%と、9 割以上の人が良好な咀嚼能力を保持していた。

表V-8 咀嚼力の単純集計(%)

どんなものでも食べたいものをかんで食べられる	かみ難いものもあるがたいていのものはかんで食べられる	あまりかめないので食べ物が限られる	ほとんどかめない	わからない／無回答
64.7	30.2	4.3	0.5	0.0

N=739

(2) 咀嚼能力と回答者の属性との関連 (表V-9)

咀嚼能力の分布が年齢階級、性、地域、および収入階層により異なるのかをみた。「どんなものでも食べたいものをかんで食べられる」の回答割合は、65-74 歳では 71.5%と、75 歳以上の 57.9%と比較して 13.6 ポイント高く、加齢による咀嚼能力の低下が認められた。収入階層別にみると、「どんなものでも食べたいものをかんで食べられる」の割合は、300 万円未満が 60.8%、600 万円以上が 73.7%と 12.9 ポイントの差がみられた。性別、地域による差はみられなかった。

表V-9 咀嚼力のクロス表(%) 一年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	どんなものもかめる	たいていのものはかめる	あまりかめない	ほとんどかめない	計
年齢階級	65-74 歳	37 6	71.5	25.0	3.5	0.0	100.0
	75 歳以上	36 1	57.9	35.7	5.3	1.1	100.0
性	男性	32 9	63.5	31.3	4.6	0.6	100.0
	女性	40 8	65.9	29.4	4.2	0.5	100.0
地域	世田谷区	38 1	66.7	27.8	5.0	0.5	100.0
	墨田区	35 6	62.9	32.9	3.7	0.6	100.0
収入階層	300 万円未満	29 1	60.8	32.6	5.8	0.7	100.0
	300-600 万円未満	20 0	70.0	28.5	1.5	0.0	100.0
	600 万円以上	76	73.7	23.7	2.6	0.0	100.0

注)無回答は除外して集計。

4. うつ症状

1) うつ症状の分布（表V-10、表V-11）

うつ症状は、15項目で構成されるスケールを利用して測定した。質問内容は表V-10に示した。設問(1)(5)(7)(11)(13)は「肯定的気分」、その他の設問は「否定的気分」について、過去1週間に感じたか否かを質問した。表には、15項目それぞれの回答分布を示した。

肯定的気分の項目では、「(11)自分は、活力に満ちあふれていると感じますか」の問いに対して「はい」と答えた人は51.0%であり、他の肯定的気分の項目と比べて回答割合が低かった。否定的気分の項目では、「(9)外に出て新しい物事をするより、家の中にいる方が好きですか」、「(10)他の人にくらべ、記憶力は落ちたと感じますか」の問いに「はい」と答えた人の割合は、それぞれ38.7%と37.2%と、他の否定的気分の項目に比べ回答割合が高かった。

うつ症状がある人とは、肯定的気分の質問である(1)(5)(7)(11)(13)の「いいえ」の選択肢に1点、残りの否定的気分の設問では「はい」の選択肢に1点を配点し、その合計得点が5人以上の人とされている。5人以上の人は、無回答のため判断ができなかった人も分母に含めると、11.8%であった。

表V-10 うつ症状の単純集計(%)

	はい	いいえ	無回答／ わからない
(1)自分の生活に満足していますか	87.0	10.1	2.8
(2)これまでやってきたことや、興味のあったことの多くを、最近やめてしまいましたか	22.9	76.0	1.1
(3)自分の人生はむなしいものと感じますか	8.3	88.6	3.1
(4)退屈だと感じることはよくありますか	15.3	83.2	1.5
(5)ふだんは、気分のよいほうですか	87.7	10.1	2.2
(6)自分に何か悪いことが起こるかもしれないという不安がありますか	25.8	69.0	5.1
(7)あなたはいつも幸せと感じていますか	75.9	15.8	8.2
(8)自分が無力と感じることがよくありますか	25.4	70.1	4.5
(9)外に出て新しい物事をするより、家の中にいる方が好きですか	38.7	52.5	8.8
(10)他の人にくらべ、記憶力は落ちたと感じますか	37.2	55.6	7.2
(11)いま生きていることは素晴らしいことと思いますか	83.4	10.6	6.1
(12)自分の現在の状態は、まったく価値のないものと感じますか	4.3	91.6	4.0
(13)自分は、活力に満ちあふれていると感じますか	51.0	36.5	12.4
(14)今の自分の状況は、希望のないものと感じますか	9.6	84.2	6.2
(15)他の人はあなたより、恵まれた生活をしていると思いますか	27.2	49.9	22.9

N=739

表V-11 うつ症状の有無の単純集計(%)

うつ症状なし	うつ症状あり	無回答
41.7	11.8	46.5

N=739

2) うつ症状と回答者の属性との関連 (表V-12)

うつ症状の有無と年齢階級、性、地域、あるいは収入階層との関連をみると、収入階層に関しては、うつ症状のある人の割合は300万円未満で28.1%、300-600万円未満で18.8%、600万円以上では13.0%であった。300万円未満と600万円以上では15ポイントの差があった。年齢階級、性、地域による差は大きくなかった。

表V-12 うつ症状のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	うつ症状 なし	うつ症状 あり	計
年齢階級	65-74 歳	217	79.3	20.7	100.0
	75 歳以上	178	76.4	23.6	100.0
性	男性	175	76.0	24.0	100.0
	女性	220	79.5	20.5	100.0
地域	墨田区	198	76.8	23.2	100.0
	世田谷区	197	79.2	20.8	100.0
収入階層	300 万円未満	146	71.9	28.1	100.0
	300-600 万円未満	112	81.3	18.8	100.0
	600 万円以上	54	87.0	13.0	100.0

注)無回答は除外して集計。

5. 日常生活動作

1) 基本的日常生活動作

(1) 基本的日常生活動作の分布 (表V-13、表V-14)

日常生活に必要な基本動作に介助が必要か否かを質問したところ、食事、着替え、入浴、排泄、歩行について一部及び全面的に介助の必要な人は、いずれの項目も2.0%に満たなかった。

表V-13 基本的日常生活動作(歩行以外)の単純集計(%)

	ひとりで普通に出来る	何とか一人で出来る (介助不要)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	わからない／無回答
食事をするのに手助けが	99.5	0.3	0.1	0.0	0.1
着替えは普通にできますか	98.5	0.7	0.4	0.4	0.0
入浴は普通にできますか	97.8	0.5	1.1	0.5	0.0
排泄の手助けは必要ですか	99.1	0.7	0.1	0.1	0.0

N=739

表V-14 基本的日常生活動作(歩行)の単純集計(%)

	ひとりで歩ける	杖があればかなりの距離を一人で歩ける	短い距離なら、杖を使って一人で歩ける	物につかまれば歩ける、介助されれば歩ける	はって移動、あるいは全く移動できない	わからない／無回答
歩行は普通にできますか	93.8	2.3	2.8	0.9	0.1	0.0

N=739

(2) 基本的日常生活動作と回答者の属性との関連 (表V-15)

食事、着替え、入浴、排泄について「一部介助が必要」「全面的に介助が必要」の回答、歩行について「物につかまれば歩ける介助されれば歩ける」「はって移動、あるいは全く移動できない」の回答を「要介助」とし、5種類の日常生活動作のうち一つでも「要介助」に該当した人の割合が、年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるのかをみた。年齢階級別では、要介護者の割合は、65-74歳で1.3%、75歳以上で3.0%と2倍の差がみられた。収入階層でも300万円未満では2.4%、600万円以上では0.0%と、低い収入階層で高い傾向がみられた。

表V-15 基本的日常生活動作のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	自立	要介助	計
年齢階級	65-74歳	377	98.7	1.3	100.0
	75歳以上	361	97.0	3.0	100.0
性	男性	330	98.5	1.5	100.0
	女性	408	97.3	2.7	100.0
地域	墨田区	381	97.9	2.1	100.0
	世田谷区	357	97.8	2.2	100.0
収入階層	300万円未満	292	97.6	2.4	100.0
	300-600万円未満	200	98.5	1.5	100.0
	600万円以上	76	100.0	0.0	100.0

注1)無回答は除外して集計。

2) 手段的日常生活動作

(1) 手段的日常生活動作の分布 (表V-16)

基本的日常生活動作よりさらに複雑な要素を含む動作（手段的日常生活動作）について、介助が必要か否かを質問した。金銭管理、買い物、服薬管理、食事用意、掃除洗濯で介助が必要な人は、いずれもの項目も2.0%前後であった。

表V-16 手段的日常生活動作の単純集計(%)

	普通に出来る	何とか一人で出来る (介助不要)	介助が必要	わからない／ 無回答
金銭管理は一人でできますか	96.2	2.3	1.2	0.3
買い物は一人でできますか	95.1	2.2	2.4	0.3
内服薬の管理は一人でできますか	97.0	1.1	1.5	0.4
食事の用意は一人でできますか	93.2	2.2	2.3	2.3
掃除や洗濯は一人でできますか	93.2	2.8	2.4	1.5

N=739

(2) 手段的日常生活動作と回答者の属性との関連 (表V-17)

5種類の手段的日常生活動作のうち一つでも「介助が必要」と回答した人を「要介助」とし、この割合が年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるのかをみた。年齢階級別にみると、要介助の割合が65-74歳では0.5%、75歳以上では7.2%、6.8ポイントの差がみられた。収入階層別をみると、300万円未満の4.9%と比較して、300-600万円未満では1.5%、600万円以上では1.4%と、300万円未満では他の年収区分より割合が高かった。

表V-17 手段的日常生活動作のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	自立	要介助	計
年齢階級	65-74歳	367	99.5	0.5	100.0
	75歳以上	349	92.8	7.2	100.0
性	男性	311	96.8	3.2	100.0
	女性	405	95.8	4.2	100.0
地域	墨田区	370	96.8	3.2	100.0
	世田谷区	346	95.7	4.3	100.0
収入階層	300万円未満	285	95.1	4.9	100.0
	300-600万円未満	198	98.5	1.5	100.0
	600万円以上	73	98.6	1.4	100.0

注)無回答は除外して集計。

6. 認知能力

1) 認知能力を評価する項目の分布（表V-18）

記憶能力を9種類の質問で尋ねたところ、「前の総理大臣の名前」の正解率が42.1%と最も低かった。その他の項目はどれも9割前後の高い正解率であった。

表V-18 認知能力を評価する項目の単純集計(%)

	正しい	誤り	わからない ／無回答
あなたのご住所を教えてください。	98.1	0.5	1.4
今日は、何日ですか。年、月、日をお答えください。	86.2	13.3	0.5
今日は、何曜日ですか。	94.6	4.9	0.5
あなたのお母さんの結婚される前の名字(みょうじ)は何といましたか。	88.8	8.8	2.4
現在の日本の総理大臣の名前を教えてください。	92.8	6.4	0.8
今の総理大臣の前の総理大臣の名前を覚えていますか。	42.1	56.8	1.1
20 から 3 を引くといくつですか。	87.4	11.6	0.9
その数からさらに 3 を引き、順に 3 を引いた数を教えてください。			
生年月日	99.5	0.4	0.1
年齢	91.9	8.1	0.0

N=739

2) 認知能力と回答者の属性との関連（表V-19）

記憶能力に関する9種類の質問に全て正解した場合を「全問正解」、一つでも不正解があった場合に「不正解あり」とした。年齢階級に関しては、全問正解の割合が65-74歳では38.4%、75歳以上では22.3%と、65-74歳の方が16ポイント高かった。性別でみると、男性が36.8%、女性が25.4%と、男性が11ポイント高かった。収入階層別に関しては、300万円未満が28.2%、600万円以上が44.7%で、17ポイントと大きな差がみられた。

表V-19 認知能力のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	全問正解	不正解あり	計
年齢階級	65-74 歳	365	38.4	61.6	100.0
	75 歳以上	346	22.3	77.7	100.0
性	男性	318	36.8	63.2	100.0
	女性	393	25.4	74.6	100.0
地域	墨田区	368	30.7	69.3	100.0
	世田谷区	343	30.3	69.7	100.0
収入階層	300 万円未満	284	28.2	71.8	100.0
	300-600 万円未満	196	35.7	64.3	100.0
	600 万円以上	76	44.7	55.3	100.0

注)無回答は除外して集計。

VI 健康習慣

1. 摂取食品群の種類

1) 摂取食品群の種類分布（表VI-1、表VI-2）

主菜、副菜を構成する 10 種類の食品をほぼ毎日摂取しているかを質問したところ、摂取割合が高い食品は、緑黄色野菜が 90.1%、大豆・大豆製品が 87.0%、果物が 84.2%であった。摂取割合が低い食品群は、牛乳が 64.3%、肉類が 65.5%、いも類が 67.7%と続いていた。ほぼ毎日摂取している食品に 1 点を与え、何種類（群）の食品を摂取しているのか、すなわち 10 種類の食品群の合計得点を「0 点」「1～3 点」「4～8 点」「9・10 点」に区分し、集計した。摂取食品群の種類は、9・10 種類が 44.9%と最も多く、4～8 種類が 44.8%とわずかの差で続いた。

表VI-1 食品群別摂取の割合の単純集計(%)

	あり	なし	わからない／無回答
(1)肉類	65.5	34.2	0.2
(2)魚介類	75.6	24.4	0.0
(3)海藻類	71.6	27.7	0.7
(4)緑黄色野菜	90.1	9.6	0.3
(5)牛乳(コップ1杯:180cc程度)	64.3	35.3	0.4
(6)大豆・大豆製品	87.0	12.4	0.5
(7)いも類	67.7	31.3	1.1
(8)油脂類(油やバター、マーガリンなど)	74.3	25.0	0.6
(9)果物	84.2	15.4	0.4
(10)卵1個程度	77.1	22.6	0.2

N=739

表VI-2 摂取食品群の種類分布の単純集計(%)

摂取なし	1～3 種類	4～8 種類	9・10 種類	わからない／無回答
0.7	6.9	44.8	44.9	2.7

N=739

2) 摂取食品群の種類と回答者の属性との関連 (表VI-3)

摂取食品群の種類について、年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるのかをみた。年齢階級別にみると、1~3種類の食品群を摂取している割合は、65-74歳が9.8%と、75歳以上の4.3%と比較して5.5ポイント低かった。一方で9・10種類の食品摂取群を摂取している割合は、65-74歳では42.5%と、75歳以上の50.0%と比較して8.0ポイント高かった。性別でみると、1~3種類の食品群を摂取している割合は、男性では11.9%と、女性の3.3%と比較して9ポイント高かった。地域別、収入階層別では大きな差はみられなかった。

表VI-3 摂取食品群の種類のカロス表(%) - 年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	摂取なし	1~3 群	4~8 群	9・10 群	計
年齢階級	65-74 歳	367	0.8	9.8	46.9	42.5	100.0
	75 歳以上	352	0.6	4.3	45.2	50.0	100.0
性	男性	319	0.9	11.9	44.2	42.9	100.0
	女性	400	0.5	3.3	47.5	48.8	100.0
地域	墨田区	373	0.3	6.7	50.1	42.9	100.0
	世田谷区	346	1.2	7.5	41.6	49.7	100.0
収入階層	300 万円未満	285	0.7	6.7	49.5	43.2	100.0
	300-600 万円未満	192	1.0	7.3	44.8	46.9	100.0
	600 万円以上	76	0.0	11.8	31.6	56.6	100.0

注) わからない・無回答は除外して集計。

2. 肥満度

1) 肥満度の分布（表VI-4）

身長と体重から肥満度を評価する指標であるBody Mass Index（BMI；体重（kg）÷身長（m）²）を算定した。BMIが18.5未満を「やせ」、18.5以上25未満を「標準」、25以上30未満を「肥満」、30以上を「高度肥満」として、肥満度の分布をみた。肥満度の分布は、標準が68.6%、肥満が16.1%、やせが11.2%、高度肥満が1.6%の順であった。

表VI-4 肥満度の単純集計（%）

やせ	標準	肥満	高度肥満	無回答
11.2	68.6	16.1	1.6	2.4

N=739

2) 肥満度と回答者の属性との関連（表VI-5）

BMIの年齢階級、性、地域、あるいは収入階層別の分布をみると、性別では、やせが男性では8.2%、女性では14.2%と、女性が6ポイント高く、他方、肥満と高度肥満の合計では、男性が22.0%、女性が15.2%と、男性の方が7ポイント高かった。

表VI-5 肥満度のクロス表（%）—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	やせ	標準	肥満	高度肥満	計
年齢階級	65-74 歳	374	12.0	70.6	15.5	1.9	100.0
	75 歳以上	347	11.0	70.0	17.6	1.4	100.0
性	男性	328	8.2	70.1	19.2	2.4	100.0
	女性	393	14.2	70.5	14.2	1.0	100.0
地域	墨田区	370	9.7	69.7	18.4	2.2	100.0
	世田谷区	351	13.4	70.9	14.5	1.1	100.0
収入階層	300 万円未満	284	11.6	70.4	16.9	1.1	100.0
	300-600 万円未満	200	12.5	67.5	19.0	1.0	100.0
	600 万円以上	76	6.6	68.4	21.1	3.9	100.0

注)無回答は除外して集計。

3. 運動習慣

1) 運動習慣の分布（表VI－6）

週に2回以上、1回当たり30分以上の運動、あるいは週3日1回当たり20分以上の運動を1年以上続けているか否かを質問したところ、63.3%の人が「はい」と回答した。

表VI-6 運動習慣の単純集計(%)

はい	いいえ
63.3	36.7

N=739

2) 運動習慣と回答者の属性との関連（表VI－7）

運動習慣の分布が、年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるのかをみた。収入階層による差がみられ、運動習慣のある人は、300万円未満では61.8%、300-600万円未満では71.5%、600万円以上では64.5%と、300-600万円未満で高い傾向がみられた。

表VI－7 運動習慣のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	はい	いいえ	計
年齢階級	65-74 歳	377	63.7	36.3	100.0
	75 歳以上	362	63.0	37.0	100.0
性	男性	331	66.5	33.5	100.0
	女性	406	60.8	39.2	100.0
地域	墨田区	382	62.8	37.2	100.0
	世田谷区	357	63.9	36.1	100.0
収入階層	300 万円未満	293	61.8	38.2	100.0
	300-600 万円未満	200	71.5	28.5	100.0
	600 万円以上	76	64.5	35.5	100.0

注)無回答は除外して集計。

4. 飲酒習慣

1) 飲酒回数の分布（表VI－8）

1 週間のうち何日くらい飲酒するかを質問したところ、「全く飲まない」が 50.1%と最も多く、「毎日」が 21.8%と続いた。

表VI-8 飲酒回数の単純集計(%)

毎日	1 週間に 5～6 日	1 週間に 3～4 日	1 週間に 1～2 日	1 週間のうち 1 日未満	全く 飲まない
21.8	4.9	6.6	8.5	8.1	50.1

N=739

2) 飲酒回数と回答者の属性との関連（表VI－9）

飲酒回数を「週 3 日以上」「週 3 日未満」「飲まない」に区分し、年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって分布が異なるのかをみた。年齢階級別では、「週 3 日以上」が 65-74 歳では 37.7%、75 歳以上では 28.7%と、10 ポイントの差がみられた。性別では、「週 3 日以上」が男性では 49.5%、女性では 20.1%と、29.4 ポイントの差がみられた。収入階層による差もみられ、「週 3 日以上」の飲酒が 300 万円未満では 24.9%であったが、300-600 万円未満では 43.5%と、300-600 万円未満の方が 18.6 ポイント高かった。

表VI-9 飲酒習慣のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	週 3 日以上	週 3 日未満	飲まない	計
年齢階級	65-74 歳	377	37.7	16.7	45.6	100.0
	75 歳以上	362	28.7	16.6	54.7	100.0
性	男性	331	49.5	18.7	31.7	100.0
	女性	408	20.1	15.0	65.0	100.0
地域	墨田区	382	35.3	15.7	49.0	100.0
	世田谷区	357	31.1	17.6	51.3	100.0
収入階層	300 万円未満	293	24.9	19.1	56.0	100.0
	300-600 万円未満	200	43.5	18.0	38.5	100.0
	600 万円以上	76	34.2	17.1	48.7	100.0

注)無回答は除外して集計。

5. 喫煙習慣

1) 喫煙習慣の分布 (表VI-10)

現在、タバコを吸っているか否かを質問したところ、「吸ったことがない」が 57.8%、「以前は吸っていたが現在は吸っていない」が 29.9%、「はい (喫煙している)」は 12.3%であった。

表VI-10 喫煙習慣の単純集計 (%)

はい	以前吸っていたが 現在は吸っていない	吸ったことがない
12.3	29.9	57.8

N=739

2) 喫煙習慣と回答者の属性との関連 (表VI-11)

喫煙習慣の分布が、年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるのかをみた。年齢階級別による差がみられ、喫煙習慣のある人は、65-74 歳では 17.5%と、75 歳以上の 6.9%と比較して 11 ポイント高かった。性別についても、男性は 19.6%と、女性の 6.4%に比べ 13.2%高かった。

表VI-11 喫煙習慣のクロス表 (%) - 年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	はい	現在は吸って いない	吸ったこと がない	計
年齢階級	65-74 歳	377	17.5	32.1	50.4	100.0
	75 歳以上	362	6.9	27.6	65.5	100.0
性	男性	331	19.6	54.1	26.3	100.0
	女性	408	6.4	10.3	83.3	100.0
地域	墨田区	382	13.4	28.3	58.4	100.0
	世田谷区	357	11.2	31.7	57.1	100.0
収入階層	300 万円未満	293	15.0	30.0	54.2	100.0
	300-600 万円未満	200	8.5	39.0	52.5	100.0
	600 万円以上	76	13.2	34.2	52.6	100.0

注) 無回答は除外して集計。

6. 歯磨き習慣

1) 歯磨き回数の分布 (表VI-12)

1日に何回歯磨きをするかを質問したところ、「2回」が46.5%、「3回以上」が28.6%、「1回」が23.0%と続いた。歯を磨いていない「0回」は1.6%と少なかった。

表VI-12 歯磨き習慣の単純集計(%)

0回	1回	2回	3回以上	無回答
1.6	23.0	46.5	28.6	0.3

N=739

2) 歯磨き回数と回答者の属性との関連 (表VI-13)

歯磨き回数の分布が、年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるのかをみた。性別による差がみられ、1日3回以上の歯磨き回数の方は、男性では18.8%、女性では36.6%と、女性の方が17.8ポイント高かった。

表VI-13 歯磨き習慣のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	0回	1回	2回	3回以上	計
年齢階級	65-74歳	377	1.1	21.0	49.1	28.9	100.0
	75歳以上	360	2.2	25.3	44.2	28.3	100.0
性	男性	330	3.0	35.8	42.4	18.8	100.0
	女性	407	0.5	12.8	50.1	36.6	100.0
地域	墨田区	381	1.8	26.5	43.8	27.8	100.0
	世田谷区	356	1.4	19.4	49.7	29.5	100.0
収入階層	300万円未満	292	2.1	27.7	42.1	28.1	100.0
	300-600万円未満	200	0.0	23.0	51.5	25.5	100.0
	600万円以上	76	1.3	21.1	48.7	28.9	100.0

注)無回答は除外して集計。

7. 歯科受診

1) 歯科受診の分布（表VI-14）

歯科の健診や治療のために1年に1回以上歯科医院を受診する人は、63.3%であった。

表VI-14 1年に一回以上の歯科受診の単純集計(%)

はい	いいえ
63.3	36.7

N=739

2) 歯科受診と回答者の属性との関連（表VI-15）

歯科受診が、年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるのかをみた。年齢階級別では、1年に1回以上歯科を受診する人は、65-74歳の70.1%に比べ、75歳以上では63.9%と、6.2ポイントが低かった。性別では男性が63.5%、女性が70.0%と、男性の方が6.5ポイント低かった。地域別でも墨田区が63.6%、世田谷区が70.7%と、墨田区の方が7.1ポイント低かった。

表VI-15 1年に1回以上の歯科受診のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	はい	いいえ	計
年齢階級	65-74 歳	371	70.1	29.9	100.0
	75 歳以上	355	63.9	36.1	100.0
性	男性	323	63.5	36.5	100.0
	女性	403	70.0	30.0	100.0
地域	墨田区	374	63.6	36.4	100.0
	世田谷区	352	70.7	29.3	100.0
収入階層	300 万円未満	286	68.2	31.8	100.0
	300-600 万円未満	196	67.9	32.1	100.0
	600 万円以上	76	75.0	25.0	100.0

注) 無回答は除外して集計。

VII 保健意識

1. 健康情報の活用能力

1) 健康情報の活用能力の分布（表Ⅶ-1）

病気や健康に関連した情報を自分自身で探したり利用したりすることができるか（ヘルスリテラシー）を質問した。「強く思う」「そう思う」の合計は、全ての項目で7割を超えていた。

表Ⅶ-1 健康情報の活用能力の単純集計(%)

	まったく 思わない	あまり 思わない	どちら でもない	そう 思う	強く 思う	無 回答
(1)新聞、本、テレビ、インターネットなど色々な情報源から情報が集められる	7.0	9.5	8.3	68.9	6.4	0.0
(2)たくさんある情報の中から、自分の求める情報を選び出せる	5.7	8.9	11.1	68.5	5.8	0.0
(3)情報がどの程度信頼できるかを判断できる	5.5	8.0	15.6	65.6	5.3	0.0
(4)情報を理解し、人に伝えることができる	7.2	9.1	12.0	65.8	5.8	0.1
(5) 情報をもとに健康改善のための計画や行動を決めることができる	5.8	10.7	14.5	62.4	6.6	0.0

N=739

2) 健康情報の活用能力と回答者の属性との関連（表Ⅶ-2）

健康情報の活用能力に関する項目ごとに、「そう思う」「強く思う」の割合が年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるのかをみた。年齢階級別では、全ての項目で65-74歳が75歳以上に比べ、この割合が高かった。性別では、「(3)情報を判断できる」で、この割合は男性で75.8%、女性で66.9%と、男性が8.9ポイント上回っていた。地域別にみると、全ての項目でこの割合は墨田区に比べ世田谷区が高かった。収入階層別では、全ての項目で収入階層が高い階層でこの割合が高くなる傾向がみられた。特に、「(1)情報を収集できる」「(4)情報を理解し伝達できる」「(5)情報をもとに行動できる」の項目では、この割合が300万円未満ではそれぞれ76.1%、73.0%、69.3%、600万円以上では88.2%、85.5%、85.5%と、12ポイント以上の差がみられた。

表Ⅶ-2 健康情報の活用能力のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		(1)情報を収集 できる	(2)情報を選択 できる	(3)情報を判断 できる	(4)情報を理解し伝 達できる	(5)情報をもとに 行動できる
年齢階級	65-74歳	80.9	80.6	78.0	76.1	76.7
	75歳以上	69.3	67.7	63.5	67.0	61.0
性	男性	77.3	76.4	75.8	74.2	68.6
	女性	73.5	72.5	66.9	69.6	69.4
地域	墨田区	72.8	71.5	65.4	68.3	67.5
	世田谷区	77.9	77.3	76.8	75.3	70.6
収入階層	300万円未満	76.1	76.1	71.0	73.0	69.3
	300-600万円未満	76.0	77.5	73.5	74.9	71.0
	600万円以上	88.2	84.2	78.9	85.5	85.5

注1)無回答は除外して集計。

注2)表頭の(1)~(5)までの数字は、表Ⅶ-1の項目番号を示している。

注3)各項目とも、「そう思う」「強く思う」と回答した人の合計割合を示している。

2. 運動の効果認知

1) 運動の効果認知の分布（表Ⅶ－3）

運動やスポーツの効果について質問した。「そう思う」「まあそう思う」の合計は、全ての項目で8割以上であった。特に「(2)リフレッシュできる」の項目で「そう思う」の回答が57.9%と最も高かった。

表Ⅶ-3 運動の効果認知の単純集計(%)

	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	無回答
(1)運動やスポーツをすることで、よく眠れるようになる	53.9	26.1	16.1	3.1	0.8
(2)運動やスポーツをすることで、リフレッシュできる	57.9	26.0	12.4	3.0	0.7
(3)運動やスポーツをすることで、ストレスが解消できる	53.5	27.7	14.5	3.5	0.8

N=739

2) 運動の効果認知と属性との関連（表Ⅶ－4）

運動の効果に関する認知の各項目について、「そう思う」「まあそう思う」と回答した人の割合が年齢階級、性、地域、あるいは収入階層によって異なるのかをみた。各割合は年齢階級あるいは性による違いは大きくなかった。地域別にみると、「(1)よく眠れる」の項目で、「そう思う」「まあそう思う」の割合が墨田区の78.3%に比べ、世田谷区では83.2%と高かった。収入階層別にみると、「(1)よく眠れる」「(3)ストレス解消できる」の項目について、「そう思う」「まあそう思う」の回答割合は、300-600万円未満ではその他の収入階層区分より高かった。「(2)リフレッシュできる」の項目では、「そう思う」「まあそう思う」の割合が300万円未満で80.8%、300-600万円未満で91.5%、600万円以上で92.1%と、収入階層が高い階層ほど割合が高かった。

表Ⅶ-4 運動の効果認知のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		(1)よく眠れる	(2)リフレッシュ できる	(3)ストレス 解消できる
年齢階級	65-74 歳	79.4	85.6	82.6
	75 歳以上	81.9	83.3	81.1
性	男性	80.3	84.0	80.7
	女性	80.9	84.9	82.8
地域	墨田区	78.3	83.0	80.8
	世田谷区	83.2	86.1	83.0
収入階層	300 万円未満	78.1	80.8	79.5
	300-600 万円未満	87.9	91.5	88.0
	600 万円以上	80.3	92.1	85.5

注1)無回答は除外して集計。

注2)表頭の(1)～(3)までの数字は、表Ⅶ-2の項目番号を示している。

注3)各項目とも、「そう思う」「まあそう思う」と回答した人の合計割合を示している。

3. 運動の自己効力感

1) 運動の自己効力感の分布（表Ⅶ-5）

悪条件の場合でも運動やスポーツをする自信があるかを質問したところ、「大いに自信がある」「まあ自信がある」の合計は、「(2)忙しくて」という条件では46.4%、「(1)あまり天気がよくないとき」という条件では44.5%、「(3)少し疲れているとき」という条件では43.2%と続いた。

表Ⅶ-5 運動の自己効力感の単純集計(%)

	おおいに 自信がある	まあ 自信がある	あまり 自信がない	まったく 自信がない	無回答
(1)あまり天気がよくないときでも運動やスポーツをする自信がある	15.3	29.2	38.3	16.9	0.3
(2)忙しくて運動やスポーツをする自信がある	15.8	30.6	36.0	17.2	0.4
(3)少し疲れているときでも運動やスポーツをする自信がある	13.9	29.2	37.2	19.2	0.4

N=739

(2) 運動の自己効力感と属性との関連（表Ⅶ-6）

悪条件のときの運動・スポーツに取り組む自信に関する項目ごとに、「おおいに自信がある」「まあ自信がある」と回答した人の割合が、年齢、性別、あるいは地域によって異なるかをみたところ、大きな差はなかった。収入階層別にみると、「(1)天気が良くないとき」あるいは「(2)忙しいとき」という条件では、300-600万円未満では、この割合がそれぞれ37.5%、42.0%、300-600万円未満では50.5%、52.8%、600万円以上は58.7%、53.3%と、収入階層が高いほど割合が高かった。「(3)少し疲れているとき」では、300-600万円未満が他の年収区分より、この割合が高かった。

表Ⅶ-6 運動の自己効力感のクロス表(%)一年齢階級、性、地域、収入階層別

		(1)天気が よくないとき	(2)忙しい とき	(3)少し疲れてい るとき
年齢階級	65-74 歳	45.4	46.0	44.1
	75 歳以上	43.9	47.2	42.5
性	男性	47.3	47.1	44.5
	女性	42.5	46.2	42.4
地域	墨田区	46.9	48.6	44.5
	世田谷区	42.3	44.5	42.1
収入階層	300 万円未満	37.5	42.0	37.9
	300-600 万円未満	50.5	52.8	52.5
	600 万円以上	58.7	53.3	46.7

注1)無回答は除外して集計。

注2)表頭の(1)~(3)までの数字は、表Ⅶ-5の項目番号を示している。

注3)各項目とも、「おおいに自信がある」「まあ自信がある」と回答した人の合計割合を示している。

4. 運動の支援環境

1) 運動の支援環境の分布（表Ⅶ－7）

運動やスポーツを行う際の家族や身近な人の支援について質問したところ、「そう思う」「まあそう思う」の合計は、「(2)頑張っていると思ってくれる」が 49.1%、「(1)促してくれる」が 38.3%、「(3)時間を作ってくれる」が 28.4%と続いた。

表Ⅶ-7 運動の支援環境の単純集計(%)

	そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	無回答
(1)あなたが運動やスポーツをやらなかった場合、家族や身近な人はするように促してくれますか	18.3	20.0	36.7	24.6	0.4
(2)あなたが運動やスポーツに励んでいる場合、あなたが頑張っていると思ってくれますか	21.2	27.9	29.8	20.6	0.5
(3)家族や身近な人は、あなたと運動やスポーツが一緒にできるように、時間を作ってくれますか	13.8	14.6	39.9	31.4	0.3

N=739

2) 運動の支援環境と属性との関連（表Ⅶ－8）

運動・スポーツへの周囲の支援の多寡を、「そう思う」「まあそう思う」を合計した割合でみると、年齢階級別では、「(1)促してくれる」「(2)頑張っていると思ってくれる」「(3)時間を作ってくれる」の全ての項目で、65-74 歳は 75 歳以上より支援の割合が高かった。収入階層別でも全ての項目で収入階層が高い階層で割合が高かった。性と地域による違いは大きくなかった。

表Ⅶ-8 運動の支援環境のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		(1) 促してくれる	(2) 頑張っている と思ってくれる	(3) 時間を 作ってくれる
年齢階級	65-74 歳	41.9	51.5	32.2
	75 歳以上	34.9	47.2	24.7
性	男性	38.7	49.4	27.4
	女性	38.2	49.4	29.4
地域	墨田区	39.6	50.1	26.7
	世田谷区	37.2	48.6	30.4
収入階層	300 万円未満	35.6	44.7	22.9
	300-600 万円未満	41.2	57.3	31.5
	600 万円以上	57.9	67.1	48.7

注1)無回答は除外して集計。

注 2)表頭の(1)～(3)までの数字は、表Ⅶ-6の項目番号を示している。

注 3)各項目とも、「そう思う」「まあそう思う」と回答した人の合計割合を示している。

VIII. 家族

1. 配偶者

1) 配偶関係

(1) 配偶関係の分布 (表Ⅷ-1)

配偶関係をみると、「結婚している」が 63.2%で最も多く、ついで「死別した」が 24.2%であった。

表Ⅷ-1 婚姻状況の単純集計(%)

結婚している	別居・離婚した	死別した	未婚
63.2	6.4	24.2	6.2

N=739

(2) 配偶関係と回答者の属性との関連 (表Ⅷ-2)

配偶関係を年齢階級別にみると、いずれの年齢階級においても「結婚している」が多いものの、75 歳以上では「死別した」が 36.5%と、65-74 歳の 12.5%よりもかなり多かった。性別でみると、男女ともに「結婚している」という割合が多いが、女性では「死別した」が 34.8%と、男性の 11.2%よりも多かった。収入階級別では、「結婚している」の割合は、300 万円未満で 42.0%、300-600 万円未満で 78.0%、600 万円以上で 94.7%と、収入階層が高いほど高かった。

表Ⅷ-2 婚姻状況のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	結婚 している	別居・ 離婚した	死別した	未婚	計
年齢階級	65-74 歳	377	70.0	9.5	12.5	8.0	100.0
	75 歳以上	362	56.1	3.0	36.5	4.4	100.0
性	男性	331	73.1	7.6	11.2	8.2	100.0
	女性	408	55.1	5.4	34.8	4.7	100.0
地域	墨田区	382	60.2	7.3	25.1	7.3	100.0
	世田谷区	357	66.4	5.3	23.2	5.0	100.0
収入階層	300 万円未満	293	42.0	10.2	36.5	11.3	100.0
	300-600 万円未満	200	78.0	3.5	15.0	3.5	100.0
	600 万円以上	76	94.7	0.0	3.9	1.3	100.0

注)無回答は除外して集計

2) 婚姻時年齢

(1) 結婚時年齢の分布 (表Ⅷ-3)

結婚年齢は、複数回の結婚経験がある場合には、直近の年齢とした。「25～34 歳」が 56.8%と最も多く、次いで「20 歳～24 歳」の 31.4%であった。

表Ⅷ-3 本人結婚時年齢の単純集計(%)

16～19 歳	20～24 歳	25～34 歳	35 歳以上	わからない・ 無回答
3.6	31.4	56.8	6.9	1.2

N=693

(2) 結婚時年齢と回答者の属性との関連 (表Ⅷ-4)

性別では、男性では「25～34 歳」が 75.1%と最も高いが、女性では「20～24 歳」「25～34 歳」が各 45%程度でほぼ同割合であった。収入階層別では、いずれの収入階層でも「25～34 歳」が最も多いものの、収入階層が高いほど結婚年齢が高くなる傾向がみられた。

表Ⅷ-4 結婚時年齢のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	16～19 歳	20～24 歳	25～34 歳	35 歳以上	計
年齢階級	65-74 歳	341	2.3	29.3	59.4	9.0	100.0
	75 歳以上	340	5.0	34.2	55.8	5.0	100.0
性	男性	298	0.3	13.0	75.1	11.6	100.0
	女性	383	6.3	46.5	43.9	3.4	100.0
地域	墨田区	349	4.3	33.9	54.1	7.7	100.0
	世田谷区	332	3.0	29.4	61.3	6.3	100.0
収入階層	300 万円未満	255	5.5	33.3	53.7	7.5	100.0
	300-600 万円未満	191	2.1	27.9	64.2	5.8	100.0
	600 万円以上	74	1.3	29.3	60.0	9.3	100.0

注)無回答は除外して集計

3) 配偶者の結婚時年齢

(1) 配偶者の結婚時年齢の分布 (表Ⅷ-5)

配偶者の結婚年齢は、「25～34 歳」が 62.2%と最も多く、次いで「20～24 歳」が 25.8%と続いた。

表Ⅷ-5 配偶者結婚時年齢の単純集計(%)

16～19 歳	20～24 歳	25～34 歳	35 歳以上	わからない／無回答
1.7	25.8	62.2	7.1	3.2

N=693

(2) 配偶者結婚時年齢と回答者の属性との関連 (表Ⅷ-6)。

性別では、男性では配偶者の年齢が「25～34 歳」という人が 51.0%で最も多く、女性では配偶者の年齢は「25～34 歳」という人が 74.5%で最も高かった。年齢階級、地域、収入階層別では、大きな違いはみられなかった。

表Ⅷ-6 配偶者の結婚時年齢のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	16～19 歳	20～24 歳	25～34 歳	35 歳以上	計
年齢階級	65～74 歳	338	0.6	24.9	66.9	7.7	100.0
	75 歳以上	333	3.0	28.5	61.6	6.9	100.0
性	男性	294	3.1	40.1	51.0	5.8	100.0
	女性	377	0.8	16.2	74.5	8.5	100.0
地域	墨田区	342	1.8	28.4	63.2	6.7	100.0
	世田谷区	329	1.8	24.9	65.3	7.9	100.0
収入階層	300 万円未満	250	1.2	26.0	63.6	9.2	100.0
	300—600 万円未満	188	2.1	29.3	63.8	4.8	100.0
	600 万円以上	74	1.4	25.7	64.9	8.1	100.0

注) わからない、結婚経験なし、無回答は除外して集計。

4) 配偶者の学歴

(1) 配偶者の学歴分布 (表Ⅷ-7)

配偶者の学歴は、「高校卒」が 33.9%と最も多く、次いで「大学卒」の 28.1%と続いていた。

表Ⅷ-7 配偶者学歴の単純集計(%)

中学校卒	高校卒	専門・ 専修卒	短大・高専 卒	大学卒	大学院卒	わからない / 無回答
19.2	33.9	4.3	7.6	28.1	2.6	2.1

N=693

(2) 配偶者の学歴と回答者の属性との関連 (表Ⅷ-8)

配偶者の学歴を年齢階級別にみると、いずれの年齢階級でも「高校卒」が最も多かったが、65～74 歳では「大学卒」が 35.3%と、75 歳以上の 22.2%と比較してかなり高かった。性別では、男性では配偶者が「高校卒」という人が 49.2%と最も多く、女性では配偶者が「大学卒」という人が 40.6%と最も多かった。地域別では、墨田区では「高校卒」が 42.7%と最も高く、世田谷区では「大学卒」が 41.9%と最も高かった。収入階層別では、300 万円未満では「高校卒」が 43.2%で最も多く、300 万円から 600 万円未満では「高校卒」の 38.9%、600 万以上では「大学卒」の 44.6%が最も高かった。

表Ⅷ-8 配偶者学歴のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	中学校卒	高校卒	専門・専 修卒	短大・高 専卒	大学卒	大学院卒	計
年齢階級	65-74 歳	340	11.5	36.2	4.7	9.1	35.3	3.2	100.0
	75 歳以上	338	27.8	37.3	4.1	6.5	22.2	2.1	100.0
性	男性	299	15.7	49.2	5.7	15.1	13.7	0.7	100.0
	女性	379	22.7	26.9	3.4	2.1	40.6	4.2	100.0
地域	墨田区	344	30.2	42.7	5.2	5.2	16.0	0.6	100.0
	世田谷区	334	8.7	30.5	3.6	10.5	41.9	4.8	100.0
収入階層	300 万円未満	257	23.3	43.2	5.1	7.4	20.2	0.8	100.0
	300-600 万円未満	190	13.7	38.9	4.2	8.4	32.1	2.6	100.0
	600 万円以上	74	10.8	23.0	2.7	13.5	44.6	5.4	100.0

注) わからない、結婚経験なし、無回答は除外して集計

5) 配偶者の最長職

(1) 配偶者の最長職の分布

配偶者が最も長く勤めた職種は、「技能/労務」が 19.5%と最も高く、次いで「事務」が 17.9%と続いた（表Ⅷ-9）。

表Ⅷ-9 配偶者の最長職の単純集計(%)

管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	輸送/運転	技能/労務	その他	専業主婦	わからない、 ／無回答
14.4	9.2	17.9	11.5	10.1	0.6	2.7	19.5	0.1	12.6	1.3

N=693

2) 配偶者の最長職と回答者の属性との関連（表Ⅷ-10）

配偶者の職種を年齢階級別にみると、65～74 歳では「事務」が 22.8%と最も多いが、75 歳以上では「技能/労務」が 25.4%と最も多かった。性別では、男性では配偶者が「専業主婦」という人が 28.8%と最も多く、女性では配偶者が「技能/労務」という人が 25.2%と最も多かった。地域別では、墨田区では配偶者が「技能/労務」という人が 31.7%と最も多く、世田谷区では「管理」という人が 20.7%と最も多かった。収入階層別では、300 万円未満では配偶者が「技能/労務」という人が 30.0%で最も多く、300 万円から 600 万円未満では「事務」（17.2%）、600 万以上では、「管理」（29.3%）が最も多かった。

表Ⅷ-10 配偶者職種(最長職)のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

	N	管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	輸送/運転	技能/労務	その他	専業主婦	計
年齢階級	65-74 歳	342	15.5	10.5	22.8	11.4	12.6	0.3	2.3	14.0	0.3	100.0
	75 歳以上	342	13.7	8.2	13.5	12.0	7.9	0.9	3.2	25.4	0.0	100.0
性	男性	299	1.7	7.0	26.4	8.4	14.7	0.0	0.0	12.7	0.3	100.0
	女性	385	24.7	11.2	11.7	14.3	6.8	1.0	4.9	25.2	0.0	100.0
地域	墨田区	350	8.9	4.3	14.9	14.0	10.6	0.3	2.9	31.7	0.3	100.0
	世田谷区	334	20.7	14.7	21.6	9.3	9.9	0.9	2.7	7.2	0.0	100.0
収入階層	300 万円未満	253	10.7	4.3	19.8	13.0	7.9	0.4	1.6	30.0	0.0	100.0
	300-600 万円未満	192	14.1	11.5	17.2	11.5	10.9	0.5	3.6	12.5	0.0	100.0
	600 万円以上	75	29.3	10.7	22.7	9.3	8.0	0.0	2.7	10.7	0.0	100.0

注) わからない、結婚経験なし、無回答は除外して集計

2. 家族員数

1) 家族員数の分布（表Ⅷ－11）

家族員数は、「2 人」が 45.3%と最も多く、次いで「1 人」（21.9%）、「3 人」（21.2%）の順であった（表Ⅷ－11）。

表Ⅷ－11 家族員数の単純集計(%)

1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人以上	無回答
21.9	45.3	21.2	5.5	2.2	2.2	1.5	0.1

N=739

2) 家族員数と回答者の属性との関連（表Ⅷ－12）

年齢階級別にみると、いずれの年齢階級も「2 人」が最も多いものの、次いで 65～74 歳では「3 人」、75 歳以上では「1 人」が続いており、年齢階級による差がみられた。性別では、男女とも「2 人」が最も多いものの、女性では「1 人」が 24.5%で、男性の 18.8%よりもかなり高かった。収入階層別では、「1 人」の割合が 300 万円未満では 36.5%、300～600 万では 12.0%、600 万円以上では 5.3%と、収入階層が高い人で 1 人の割合が低かった。

表Ⅷ－12 家族員数のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	1 人	2 人	3 人	4 人以上	計
年齢階級	65～74 歳	376	18.6	45.7	25.3	10.4	100.0
	75 歳以上	362	25.4	45.0	17.1	12.4	100.0
性	男性	330	18.8	45.8	24.8	10.6	100.0
	女性	408	24.5	45.1	18.4	12.0	100.0
地域	墨田区	382	23.3	42.7	21.5	12.6	100.0
	世田谷区	356	20.5	48.3	21.1	10.1	100.0
収入階層	300 万円未満	293	36.5	36.5	16.4	10.6	100.0
	300～600 万円未満	200	12.0	49.5	29.0	9.5	100.0
	600 万円以上	76	5.3	59.2	22.4	13.2	100.0

注)無回答は除外して集計

3. 家族形態

1) 同居者の分布 (表Ⅷ-13)

同居者を回答者からみた続柄別にみると、「配偶者」が 78.5%、次いで「子ども」が 48.6%と続いた。

表Ⅷ-13 同居者の単純集計(%)

	同居している	同居していない	計
配偶者	78.5	21.5	100.0
子ども	48.6	51.4	100.0
子どもの配偶者	10.8	9.2	100.0
孫	10.1	9.9	100.0
父母	3.0	97.0	100.0
兄弟姉妹	2.4	97.6	100.0
孫の配偶者	0.2	99.8	100.0
配偶者の父母	0.2	99.8	100.0
その他	1.9	98.1	100.0

N=576

2) 同居者と回答者の属性との関連 (表Ⅷ-14)

同居者を「配偶者」と「子ども」に限定して、回答者の属性との関連をみた。「配偶者」については、65～74歳、75歳以上のいずれの年齢階級においても同居割合が高いものの、その割合は65～74歳では67.4%、75歳以上で54.7%と13ポイントの差がみられた。性別では、配偶者との同居割合が男性では71.3%、女性では52.9%と、性による差が大きかった。収入階層別では、「配偶者」との同居割合が600万円以上では92.1%、300万円未満では39.2%で、大きな差がみられた。

「子ども」との同居割合は、年齢階級別にみて大きな差がみられなかった。性別では、「子ども」との同居割合が男性で35.3%、女性では40.0%と、女性の方がやや高かった。地域別では、墨田区では40.3%、世田谷区では35.3%と、墨田区の方がやや高かった。収入階層別では大きな違いはみられなかった。

表Ⅷ-14 同居者のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	同居している	同居していない	計	
配偶者	年齢階級	65-74 歳	377	67.4	32.6	100.0
		75 歳以上	362	54.7	45.3	100.0
	性	男性	331	71.3	28.7	100.0
		女性	408	52.9	47.1	100.0
	地域	墨田区	382	58.6	41.4	100.0
		世田谷区	357	63.9	36.1	100.0
	収入階層	300 万円未満	293	39.2	60.8	100.0
		300-600 万円未満	200	78.0	22.0	100.0
		600 万円以上	76	92.1	7.9	100.0
子ども	年齢階級	65-74 歳	377	37.9	62.1	100.0
		75 歳以上	362	37.8	62.2	100.0
	性	男性	331	35.3	64.7	100.0
		女性	408	40.0	60.0	100.0
	地域	墨田区	382	40.3	59.7	100.0
		世田谷区	357	35.3	64.7	100.0
	収入階層	300 万円未満	293	36.2	63.8	100.0
		300-600 万円未満	200	38.5	61.5	100.0
		600 万円以上	76	35.5	64.5	100.0

注)無回答は除外して集計

IX. 社会的ネットワーク

1. 別居子と親しい親戚

1) 別居子数

(1) 別居子数の分布 (表IX-1)

別居子数は、「2人」が38.4%と最も多く、次いで「1人」が27.6%であった。

表IX-1 別居子数の単純集計(%)

0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	無回答
18.3	27.6	38.4	13.1	1.9	0.4	0.1	0.1

N = 739

(2) 別居子数と回答者の属性との関連 (表IX-2)

別居子数は、年齢階級が高いほど多い傾向にあり、75歳以上の人では「2人以上」が約6割であった。性別では、別居子数が「2人以上」の人は女性で56%、男性で52%であった。地域別では差がなく、両区とも「2人以上」の人が54%程度であった。収入階層別では、高収入の人ほど別居子数が多く、600万円以上では「2人以上」の人が7割弱いた。

表IX-2 別居子数のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	0人	1人	2人	3人以上	計
年齢階級	65-74歳	376	22.6	28.2	35.4	13.8	100.0
	75歳以上	362	13.8	27.1	41.7	17.4	100.0
性	男性	330	22.7	25.5	37.0	14.8	100.0
	女性	408	14.7	29.4	39.7	16.2	100.0
地域	墨田区	382	17.8	28.3	38.0	16.0	100.0
	世田谷区	356	18.8	27.0	39.0	15.2	100.0
収入階層	300万円未満	293	22.5	29.7	33.8	14.0	100.0
	300-600万円未満	200	15.5	26.0	42.5	16.0	100.0
	600万円以上	76	14.5	17.1	46.1	22.4	100.0

注)無回答は除外して集計。

2) 親しい親戚数

(1) 親しい親戚の数の分布 (表IX-3)

日頃から親しくしている親戚は、「0～2人」「3～5人」という人がそれぞれ25%程度いた。「6～10人」は約3割、「11人以上」という人も約2割いた。

表IX-3 親しい親戚数の単純集計(%)

0～2人	3～5人	6～10人	11人以上	無回答
24.6	24.4	29.2	20.6	1.2

N = 739

(2) 親しい親戚数と回答者の属性との関連 (表IX-4)

親しい親戚の数について、年齢階級、性、地域による違いはみられなかった。収入階層別にみると、600万円以上では親しい親戚の数が「6人以上」という人が6割以上いたのに対し、300万円未満では4割程度で、高収入の人ほど親しい親戚の数が多い傾向がみられた。

表IX-4 親しい親戚数のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	0～2人	3～5人	6～10人	11人以上	計
年齢階級	65-74歳	375	23.5	24.3	30.4	21.9	100.0
	75歳以上	355	26.5	25.1	28.7	19.7	100.0
性	男性	329	26.4	25.8	28.3	19.5	100.0
	女性	401	23.7	23.7	30.7	21.9	100.0
地域	墨田区	377	25.7	24.9	26.5	22.8	100.0
	世田谷区	353	24.1	24.4	32.9	18.7	100.0
収入階層	300万円未満	291	32.0	27.5	27.5	13.1	100.0
	300-600万円未満	199	15.1	24.1	33.7	27.1	100.0
	600万円以上	76	17.1	17.1	32.9	32.9	100.0

注)無回答は除外して集計。

3) 別居子・親戚との交流頻度

(1) 別居子・親戚との交流頻度の分布 (表IX-5)

別居の子どもや親戚との交流頻度は「1ヵ月に1回未満」という人が最も多く、32.7%を占めた。一方、「週に1回以上」という人も26.1%いた。

表IX-5 別居子、親戚との交流頻度の単純集計(%)

週に 2回以上	週に 1回	1ヵ月に 2,3回	1ヵ月に 1回	1ヵ月に 1回未満	まったく ない	別居子/ 親戚なし	わからない、 無回答
16.0	10.1	13.0	16.5	32.7	8.7	2.6	0.4

N = 739

(2) 別居子、親戚との交流頻度と回答者の属性との関連 (表IX-6)

別居子や親戚との交流頻度について、年齢階級による違いはみられなかった。性別では、女性の方が交流頻度は多く、「週に1回以上」という人が約3割いたのに対し、男性では約2割であった。地域別にみると、墨田区の方が交流頻度は若干多く、「週に1回以上」または「月に1~3回」という人が墨田区では58.7%であったのに対し、世田谷区では52.8%であった。収入階層別では、低収入の人ほど交流頻度が少なく、「週に1回以上」という人が300万円未満では20.8%であったのに対し、それ以上の収入階層では約3割という状況であった。

表IX-6 別居子、親戚との交流頻度のクロス表(%) 一年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	週に1回 以上	月に 1~3回	月に1回 未満	なし	計
年齢階級	65-74歳	377	25.2	31.0	34.5	9.3	100.0
	75歳以上	359	27.3	28.1	31.2	13.4	100.0
性	男性	329	21.0	28.0	36.2	14.9	100.0
	女性	407	30.5	31.0	30.2	8.4	100.0
地域	墨田区	380	27.6	31.1	27.9	13.4	100.0
	世田谷区	356	24.7	28.1	38.2	9.0	100.0
収入階層	300万円未満	293	20.8	28.3	37.2	13.7	100.0
	300-600万円未満	199	28.1	33.2	31.7	7.0	100.0
	600万円以上	76	31.6	30.3	30.3	7.9	100.0

注)無回答は除外して集計。

2. 親しい近隣の人・友人

1) 親しい近隣の人の数

(1) 親しい近隣の人の数の分布（表Ⅸ－7）

お互いに家を行き来するような親しい間柄の近所の人の数は「0人」が最も多く、45.1%を占めた。「1～5人」が40.5%、「6人以上」は13.9%という状況であった。

表Ⅸ－7 親しい近隣の人の数の単純集計

0人	1～5人	6人以上	無回答
45.1	40.5	13.9	0.5

N = 739

(2) 親しい近隣の人数と回答者の属性との関連（表Ⅸ－8）

親しい間柄の近隣の人が「いない（0人）」という人は、年齢が若い人、男性、世田谷区、低収入の人が多い傾向がみられた。

表Ⅸ－8 親しい近隣の人数のクロス表（%）－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	0人	1～5人	6人以上	計
年齢階級	65-74歳	376	47.9	40.2	12.0	100.0
	75歳以上	359	42.6	41.2	16.2	100.0
性	男性	330	56.1	31.8	12.1	100.0
	女性	405	36.5	47.9	15.6	100.0
地域	墨田区	380	38.9	43.9	17.1	100.0
	世田谷区	355	52.1	37.2	10.7	100.0
収入階層	300万円未満	292	47.3	39.4	13.4	100.0
	300-600万円未満	199	43.7	40.7	15.6	100.0
	600万円以上	76	36.8	53.9	9.2	100.0

注) 無回答は除外して集計。

2) 親しい友人数

(1) 親しい友人数の分布 (表Ⅸ-9)

日頃から親しくしている友人が「0人」という人は18.1%、「1～3人」26.5%、「4～6人」22.7%という状況であった。

表Ⅸ-9 親しい友人の数の単純集計

0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	無回答
18.1	26.5	22.7	19.2	12.6	0.8

N = 739

(2) 親しい友人の数と回答者の属性との関連 (表Ⅸ-10)

親しい友人が「いない(0人)」という人は、高齢の人、男性、墨田区、低収入の人で多い傾向がみられた。

表Ⅸ-10 親しい友人の数のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11人以上	計
年齢階級	65-74歳	376	16.8	24.2	24.5	20.5	14.1	100.0
	75歳以上	357	19.9	29.4	21.3	18.2	11.2	100.0
性	男性	330	23.6	24.2	17.0	17.9	17.3	100.0
	女性	403	13.9	28.8	27.8	20.6	8.9	100.0
地域	墨田区	381	21.3	28.1	25.7	16.5	8.4	100.0
	世田谷区	352	15.1	25.3	19.9	22.4	17.3	100.0
収入階層	300万円未満	292	18.8	30.5	21.2	16.8	12.7	100.0
	300-600万円未満	198	15.7	22.2	25.8	22.7	13.6	100.0
	600万円以上	76	7.9	22.4	26.3	23.7	19.7	100.0

注)無回答は除外して集計。

3) 友人、近隣との交流頻度

(1) 友人、近隣との交流頻度の分布 (表IX-11)

友人や近隣の人と一緒に出かけたり、お互いの家を行き来する頻度は、「週に2回以上」が13.1%、「週に1回」が13.8%で、週に1回以上は交流している人が26.9%いた。一方、「1ヵ月に1回未満」が21.1%、「まったく」が22.5%と、交流の乏しい人が43.6%いた。

表IX-11 友人、近隣との交流頻度の単純集計(%)

週に 2回以上	週に 1回	1ヵ月に 2,3回	1ヵ月に 1回	1ヵ月に 1回未満	まったく ない	わからない 無回答
13.1	13.8	16.0	12.2	21.1	22.5	1.4

N = 739

(2) 友人、近隣との交流頻度と回答者の属性との関連 (表IX-12)

友人、近隣との交流頻度が「週に1回以上」という人は、女性では33.9%であったのに対して男性では19.1%と、女性で多い傾向が見られた。一方、友人、近隣との交流が「まったくない」という人は、75歳以上、男性、墨田区、低所得の人で多い傾向が見られた。特に男性では、交流がまったくないという人が29.2%を占めた。

表IX-12 友人、近隣との交流頻度のクロス表(%) - 年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	週に 1回以上	月に 1~3回	月に 1回未満	ない	計
年齢階級	65-74歳	374	26.7	33.4	21.1	18.7	100.0
	75歳以上	355	27.9	23.4	21.7	27.0	100.0
性	男性	325	19.1	28.0	23.7	29.2	100.0
	女性	404	33.9	29.0	19.6	17.6	100.0
地域	墨田区	378	29.4	27.0	16.7	27.0	100.0
	世田谷区	351	25.1	30.2	26.5	18.2	100.0
収入階層	300万円未満	291	29.6	27.1	19.2	24.1	100.0
	300-600万円未満	198	26.3	31.8	22.7	19.2	100.0
	600万円以上	75	30.7	33.3	25.3	10.7	100.0

注) 無回答は除外して集計。

3. 外出頻度

(1) 外出頻度の分布 (表IX-13)

外出(目的は問わない)は「ほぼ毎日」という人が最も多く、59.8%を占めた。一方、「週に1日以下」という人が8.3%いた。

表IX-13 外出頻度の単純集計(%)

ほぼ毎日	週に4,5日	週に2,3日	週に1日	月に1,2回	それより少ない	わからない、無回答
59.8	15.7	16.0	4.2	2.2	1.9	0.3

N = 739

2) 外出頻度と回答者の属性との関連 (表IX-14)

外出頻度が「週に1日以下」という人は、高齢の人や低所得の人に多い傾向が見られた。「65～74歳」では外出頻度が「週に1日以下」という人は3.7%であったのに対し、「75歳以上」では13.1%であった。収入階層が「600万円以上」の人では外出頻度が「週に1日以下」は3.9%であったのに対し、「300万円未満」では8.9%いた。性や地域については、顕著な違いはなかった。

表IX-14 外出頻度のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	毎日	週に2～5日	週に1日以下	計
年齢	65-74歳	377	66.8	29.4	3.7	100.0
	75歳以上	360	52.8	34.2	13.1	100.0
性	男性	330	58.8	31.5	9.7	100.0
	女性	407	60.9	31.9	7.1	100.0
地域	墨田区	380	62.1	30.0	7.9	100.0
	世田谷区	357	57.7	33.6	8.7	100.0
収入階層	300万円未満	291	54.6	36.4	8.9	100.0
	300-600万円未満	200	70.0	25.0	5.0	100.0
	600万円以上	76	65.8	30.3	3.9	100.0

注)無回答は除外して集計。

4. 加入している会やグループ

1) 加入している会やグループの数と参加頻度（表Ⅸ-15、表Ⅸ-16）

町内会、自治会、老人クラブ、商工会、宗教のグループなどの会やグループにどのくらい入っているか質問したところ、「入っていない（0 個）」という回答が最も多く、42.8%であった。「1 個」が 29.9%、「2 個以上」は 27.0%であった。

何らかの会やグループに加入している人に参加頻度を聞いたところ、「週に 2 回以上」が最も多く（20.2%）、「週に 1 回」という人も 15.2%いた。

表Ⅸ-15 加入している会やグループ数の単純集計(%)

0 個	1 個	2 個	3 個以上	無回答
42.8	29.9	12.4	14.6	0.3

N = 739

表Ⅸ-16 加入している会やグループへの参加頻度の単純集計(%)

週に 2 回以上	週に 1 回	1 ヶ月に 2,3 回	1 ヶ月に 1 回	1 ヶ月に 1 回未満	まったく ない	わからない、 無回答
20.2	15.2	16.4	14.0	17.8	15.9	0.5

N = 421

(2) 加入グループ数と回答者の属性との関連（表Ⅸ-17）

会やグループなどに加入していない（0 個）という回答は、65～74 歳、男性、世田谷区、年収 300 万円未満の人で多い傾向がみられた。一方、加入している会やグループが「3 個以上」という回答は、収入階層が高い人で多い傾向がみられたが、年齢、性、地域については目立った違いはなかった。

表Ⅸ-17 加入グループ数のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	0 個	1 個	2 個	3 個以上	計
年齢階級	65-74 歳	377	44.8	28.6	11.1	15.4	100.0
	75 歳以上	360	40.8	31.4	13.9	13.9	100.0
性	男性	331	47.7	28.4	10.9	13.0	100.0
	女性	406	38.9	31.3	13.8	16.0	100.0
地域	墨田区	382	40.3	31.7	13.9	14.1	100.0
	世田谷区	355	45.6	28.2	11.0	15.2	100.0
収入階層	300 万円未満	293	47.4	27.0	11.9	13.7	100.0
	300-600 万円未満	199	38.7	31.2	12.6	17.6	100.0
	600 万円以上	76	36.8	31.6	13.2	18.4	100.0

注) 無回答は除外して集計。

X. 社会的支援

1. 情緒的支援、手段的支援、情動的支援、外出の誘い

1) 社会的支援の有無の分布（表X-18）

「話を聴いてくれたり、理解してくれる人」（情緒的支援）がいるという回答は92.0%、「2, 3日寝込んだ場合に世話や援助をしてくれる人」（手段的支援）がいるという回答は91.7%、「健康・生活・福祉の情報を提供してくれる人」（情動的支援）がいるという回答は83.9%、「外出や人とのつきあいをすすめてくれたり誘ってくれる人」（外出の誘い）がいるという回答は75.1%であった。

表X-18 社会的支援の有無の単純集計(%)

	いる	いない	無回答
話を聴いてくれたり理解してくれる人(情緒的支援)	92.0	7.8	0.1
2, 3日寝込んだ場合に世話や援助をしてくれる人(手段的支援)	91.7	8.1	0.1
健康・生活・福祉の情報を提供してくれる人(情動的支援)	83.9	15.7	0.4
外出や人とのつきあいをすすめてくれたり誘ってくれる人(外出の誘い)	75.1	24.5	0.4

N = 739

2) 支援の提供源（表X-19）

各支援を誰がしてくれるかについては、「情緒的支援」と「手段的支援」は「配偶者」や「子ども」を挙げる人が各々6割程度と多かった。「情動的支援」についても「配偶者」や「子ども」を挙げる人が各々45%程度と多いが、「医師」を挙げる人も2割程度いた。「外出の誘い」については、「近隣の人や友人」を挙げる人が約7割と最も多かった。

表X-19 支援してくる人の単純集計(%)

	配偶者	子ども	その他の親族	近隣、友人	医師	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	ケアマネジャー	ホームヘルパー	その他
情緒的支援 (N = 680)	60.1	60.7	30.7	47.9	7.9	2.1	0.4	0.9	0.7	0.4	0.0
手段的支援 (N = 678)	60.2	55.9	15.9	10.5	2.5	1.0	0.0	0.1	0.6	1.3	0.0
情動的支援 (N = 620)	46.5	44.5	18.4	26.5	23.9	2.6	1.1	5.8	5.6	1.1	0.0
外出の誘い (N = 554)	40.1	33.6	19.1	69.7	0.7	0.5	0.0	0.9	0.2	0.0	0.0

3) 社会的支援と回答者の属性との関連 (表X-20)

各社会的支援について「支援者がいる人の割合」を回答者の属性別に比較した。情緒的支援については、年齢階級や地域では差がなかったが、性と収入階層では差があり、女性や収入階層が高い人で「話を聴いてくれたり理解してくれる人」がいる割合が高かった。手段的支援については、年齢階級、性、地域では差がなかったが、収入階層では差があり、収入階層が高い人ほど「世話や援助をしてくれる人」がいる割合が高かった。情報の支援については、年齢階級、性、地域では差がなかったが、収入階層では差があり、収入階層が高い人ほど「健康・生活・福祉の情報を提供してくれる人」がいる割合が高かった。外出の誘いについては、年齢階級、地域では差がなかったが、性と収入階層では差があり、女性や収入階層が高い人で「外出や人とのつきあいをすすめてくれたり誘ってくれる人」がいる割合が高かった。

表X-20 支援者がいる人の割合のクロス表(%) - 年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	情緒的支援	手段的支援	情報の支援	外出の誘い
年齢階級	65-74 歳	377	92.8	92.6	83.3	77.2
	75 歳以上	362	91.2	90.9	84.5	72.9
性	男性	331	88.5	90.3	83.1	66.5
	女性	408	94.9	92.9	84.6	82.1
地域	墨田区	382	91.9	91.1	84.6	75.1
	世田谷区	357	92.2	92.4	83.2	75.1
収入階層	300 万円未満	293	89.4	87.0	83.6	72.4
	300-600 万円未満	200	95.0	96.5	85.0	79.5
	600 万円以上	76	98.7	96.1	90.8	84.2

注) 無回答は除外して集計。

2. 介護・看病

1) 介護・看病の経験の分布（表X-21、表X-22、X-23）

この1年間に家族や親戚の介護・看病をした経験がある人は、16.9%であった。介護・看病の経験がある人に「最も多く介護・看病したのは誰か」をたずねたところ、「配偶者」と「自分の親」が最も多く、どちらも約3割を占めた。

介護・看病の経験がある人に「この1ヵ月では、その人をどのくらい介護・看病したか」を質問したところ、「毎日」という人が最も多く、32%を占めた。

表X-21 この1年間に家族・親戚の介護や看病をした経験の単純集計(%)

した	していない	無回答
16.9	82.8	0.3

N = 739

表X-22 介護・看病した人の続柄(最も多く介護・看病した相手)の単純集計(%)

配偶者	親	配偶者の親	兄弟姉妹	配偶者の兄弟姉妹	子ども	子どもの配偶者	孫	その他
28.8	28.8	13.6	10.4	4.0	6.4	0.8	0.0	7.2

N = 125

表X-23 この1ヵ月の介護・看病の頻度の単純集計(%)

毎日	週に4-6日	週に1-3日	月に1-3日	この1ヵ月はしていないが、年に数回くらいした	入院・死亡のため、この1ヵ月はしていない
32.0	7.2	16.0	11.2	17.6	16.0

N = 125

2) 介護・看病の経験と回答者の属性との関連（表X-24）

この1年間に家族や親戚の介護・看病をした経験がある人は、65～74歳、女性、世田谷区で多い傾向が見られた。65～74歳では2割が介護・看病をしていた。

表X-24 この1年間に介護・看病をした経験のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	した	していない	計
年齢階級	65-74歳	377	21.0	79.0	100.0
	75歳以上	358	12.8	86.7	100.0
性	男性	330	13.3	86.7	100.0
	女性	407	19.9	80.1	100.0
地域	墨田区	381	14.2	85.8	100.0
	世田谷区	356	19.9	80.1	100.0
収入階層	300万円未満	293	15.0	85.0	100.0
	300-600万円未満	200	21.5	78.5	100.0
	600万円以上	76	19.7	80.3	100.0

注)無回答は除外して集計。

XI. 住環境

1. 居住年数

1) 居住年数の分布

区内の居住年数は、「50 年以上」の人が 52.1%と最も多く、「10 年未満」の人は 3.7%であった。

表 XI-1 居住年数の単純集計(%)

10 年 未満	10-20 年 未満	20-30 年 未満	30-50 年 未満	50 年 以上
3.7	7.3	6.6	30.3	52.1

N = 739

2) 居住年数と回答者の属性との関連（表 XI-2）

居住年数は、年齢階級別にみると 75 歳以上の人では「50 年以上」が 6 割をこえていた。性別にみると、男性では「10-20 年未満」の人が 10.3%で女性よりも高い傾向がみられた。地域別にみると、墨田区では「50 年以上」の人が 6 割近いのに対し、世田谷区では半数に満たなかった。収入階層別にみると、300 万円未満では「10 年未満」の人が 5.8%であったが、300 万以上ではごくわずかであった。

表 XI-2 居住年数のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	10 年 未満	10-20 年 未満	20-30 年 未満	30-50 年 未満	50 年 以上	計
年齢階級	65-74 歳	377	4.5	9.3	8.2	36.1	41.9	100.0
	75 歳以上	360	2.8	5.3	5.0	23.9	63.1	100.0
性	男性	331	3.0	10.3	7.9	27.8	51.1	100.0
	女性	408	4.2	4.9	5.6	32.4	52.9	100.0
地域	墨田区	382	4.5	7.9	6.0	23.3	58.4	100.0
	世田谷区	357	2.8	6.7	7.3	37.8	45.4	100.0
収入階層	300 万円未満	293	5.8	7.2	5.5	26.6	54.9	100.0
	300-600 万円未満	200	0.5	9.5	6.0	37.0	47.0	100.0
	600 万円以上	76	1.3	5.3	9.2	32.9	51.3	100.0

注)無回答は除外して集計。

2. 近隣における住宅タイプ

1) 近隣における住宅タイプの分布（表XI-3）

近隣(10分から15分程度で歩いて行くことができる範囲内の環境)における住宅のタイプは、「一戸建て」が59.7%でもっと多く、続いて「一戸建てと2～3階建てのアパートが混じっている」という回答が23.4%であった。

表XI-3 住宅のタイプの単純集計(%)

一戸建て	2-3階建て	混在	4-12階建て	13階建て以上	無回答
59.7	3.0	23.4	10.7	2.2	1.1

N = 739

2) 住宅のタイプと回答者の属性との関連（XI-4）

近隣の住宅のタイプは、年齢階級と性による違いはみられなかった。地域別にみると「一戸建て」という回答は墨田区では5割であったが、世田谷区では7割にのぼった。墨田区では「4～12階建てのマンション」という回答が17.4%と高かった。収入階層別にみると、600万円以上では「一戸建て」という回答が7割を超えており、300万円未満では「混在」が3割近かった。

表XI-4 住宅のタイプのクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	一戸建て	2-3階建て	混在	4-12階建て	13階建て以上	計
年齢階級	65-74歳	374	60.4	1.9	24.3	11.5	1.9	100.0
	75歳以上	355	60.3	4.2	22.8	10.1	2.5	100.0
性	男性	328	56.1	4.3	27.1	10.7	1.8	100.0
	女性	403	63.8	2.0	20.8	10.9	2.5	100.0
地域	墨田区	374	51.1	3.7	23.5	17.4	4.3	100.0
	世田谷区	357	70.0	2.2	23.7	10.8	2.2	100.0
収入階層	300万円未満	289	55.0	4.5	27.0	11.8	1.7	100.0
	300-600万円未満	198	61.1	2.0	21.7	11.6	3.5	100.0
	600万円以上	76	72.4	0.0	19.7	7.9	0.0	100.0

注)無回答は除外して集計。

3. 近隣の環境

1) 近隣環境評価に関する項目の分布（表XI－5）

歩くことや自転車に乗ることに関係する近隣環境の評価は、(1)スーパーや商店街が歩いて行ける範囲にある、(2)バス停や駅が歩いて10～15分以内にあるという項目について「非常によくあてはまる」という回答がそれぞれ62.8%、78.1%と高かった。(5)の無料あるいは安価に利用できるレク施設がいくつかあるという項目では「ややあてはまる」が41.3%でもっとも高かった。(7)交通量が多く歩くことに危険を感じているという項目では、「ややあてはまる」「非常によくあてはまる」の回答を合わせると4分の1にのぼった。

表XI－5 近隣環境評価に関する項目の単純集計

	まったくあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	非常によくあてはまる	わからない／無回答
(1)日用品を買うためのお店や、スーパーマーケット、商店街などが、自宅から簡単に歩いていける範囲にたくさんある	3.1	5.8	27.9	62.8	0.4
(2)バス停、駅などが自宅から歩いて10～15分以内にある	2.0	0.9	18.4	78.1	0.5
(3)近所のほとんどの道路には歩道がある	12.0	14.9	27.6	43.3	2.2
(4)近所には、自転車専用レーン、歩道兼用の自転車レーンなどのように自転車が通行できるレーンがある	32.6	27.6	20.0	16.0	3.8
(5)近所には、公園、広場、ウォーキング道路、自転車道路、グラウンド、公営プール、体育館など、無料あるいは安価に利用できるレクリエーション施設がいくつかある	5.8	15.3	41.3	35.2	2.4
(6)近所では犯罪の危険が高く、夜間に外を歩くのは安全とはいえない	38.3	40.5	12.4	5.0	3.8
(7)近所では交通量が多く、外を歩くことに危険を感じたり、歩くことが楽しくなかったりする	31.9	41.8	17.9	7.2	1.2
(8)近所では運動したり、体を動かしている人を多く見かける	5.7	19.4	40.3	30.6	4.1
(9)近所を歩くと、興味をひかれるもの(きれいな景観、楽しい景観など)がたくさんある	11.2	28.0	33.4	24.2	3.1

N = 739

2) 近隣環境評価と回答者の属性との関連 (表XI-6)

近隣環境の評価が高い人の割合を、「ややあてはまる」「非常によくあてはまる」の合計でみると、年齢階級と性による違いはみられなかった。地域別にみると、(8)運動をしている人をみかける、(9)興味をひかれるもの(きれいな景観、楽しい景観など)の項目では、世田谷区はそれぞれ79.8%、71.2%で墨田区の割合よりも高かった。収入階層別による違いはみられなかった。

表XI-6 近隣環境評価のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		(1) スーパー・商店街あり	(2) バス停・駅あり	(3) 歩道あり	(4) 自転車レーンあり	(5) レク施設あり	(6) 犯罪、夜間外出危険あり	(7) 交通量多く、歩行危険	(8) 運動している人見かける	(9) 興味をひかれるものあり
年齢階級	65-74 歳	92.3	97.6	70.9	35.2	78.7	16.8	23.7	74.7	59.9
	75 歳以上	89.7	96.4	73.9	39.7	77.9	19.4	27.2	72.9	59.0
性	男性	92.7	97.6	70.6	37.3	76.9	16.4	23.6	72.0	56.5
	女性	89.7	96.6	74.1	37.5	79.6	19.6	26.8	75.6	62.0
地域	墨田区	92.6	98.2	74.9	40.1	78.7	18.5	26.0	68.5	48.5
	世田谷区	89.3	95.8	69.8	34.5	78.0	17.8	24.6	79.8	71.2
収入階層	300 万円未満	91.0	97.2	72.7	31.2	76.2	17.8	26.2	74.4	54.6
	300-600 万円未満	91.5	96.0	71.6	39.6	74.2	14.2	19.5	74.6	60.9
	600 万円以上	88.2	98.7	66.7	40.8	78.7	19.7	19.7	68.0	62.7

注1)無回答は除外して集計。

注2)表頭の番号は、表XI-5の番号に対応する。

注3)各項目とも「ややあてはまる」「非常によくあてはまる」と回答した人の合計割合を示している。

4. 車やバイクの所有

1) 車やバイクの所有台数の分布（表XI－7）

車やバイクの所有台数は、持っていない人が 54.4%、2 台以上所有している人が 11.4%であった。

表XI－7 車やバイクの所有台数の単純集計

0 台	1 台	2 台以上	無回答
54.4	33.6	11.4	0.7

N = 739

2) 車やバイクの所有台数と回答者の属性との関連（表XI－8）

車やバイクについて、65-74 歳では半数以上の人々が 1 台以上所有していたのに対し、75 歳以上では所有していない人が 6 割を超えていた。地域別にみると、墨田区では所有している人が 4 割弱であったが、世田谷区では 5 割を超えていた。収入階層別にみると、300 万未満では所有している人が 3 分の 1 程度であったが、600 万円以上では 3 分の 1 近くの人々が「2 台以上」所有していた。

表XI－8 車やバイクの所有台数のクロス表(%)－年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	0 台	1 台	2 台以上	計
年齢階級	65-74 歳	376	46.3	38.0	15.7	100.0
	75 歳以上	356	63.5	29.5	7.0	100.0
性	男性	330	51.8	38.2	10.0	100.0
	女性	404	57.2	30.2	12.6	100.0
地域	墨田区	379	62.5	24.5	12.9	100.0
	世田谷区	355	46.5	43.7	9.9	100.0
収入階層	300 万円未満	292	67.1	24.0	8.9	100.0
	300-600 万円未満	198	44.4	46.5	9.1	100.0
	600 万円以上	76	36.8	30.3	32.9	100.0

注)無回答は除外して集計。

XII. 性格・態度・意識

1. 性格（パーソナリティ）

1) 性格に関する項目の分布（表 XII-1）

性格に関する項目をみると、(1)活発で外向的だと思うという項目に対して「まあまあそう思う」という回答がもっとも多かった（28.4%）。(2)他人に不満をもちもめごとを起こしやすいと思うという項目に対して半数近くの人が「まったく違うと思う」と回答していた。また(4)心配性でうろたえやすいと思うという項目に対しては「おおよそ違うと思う」という回答がもっとも多かった（23.5%）。

表 XII-1 性格に関する項目の単純集計

	まったく違うと思う	おおよそ違うと思う	少し違うと思う	どちらでもない	少しそう思う	まあまあそう思う	強くそう思う	わからない。無回答
(1) 私は自分自身のことを、活発で、外向的だと思う	4.5	7.0	14.9	18.5	11.2	28.4	14.6	0.8
(2) 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う	48.6	29.8	11.8	5.0	2.2	1.2	0.7	0.8
(3) しっかりしていて、自分に厳しいと思う	3.2	8.3	11.0	26.4	17.1	22.9	9.9	1.4
(4) 心配性で、うろたえやすいと思う	16.2	23.5	18.0	13.3	16.2	8.7	3.5	0.5
(5) 新しいことが好きで、変わった考えをもつと思う	5.8	13.9	16.1	27.3	13.7	16.1	6.4	0.7
(6) ひかえめで、おとなしいと思う	7.0	15.6	20.7	22.7	16.8	13.7	3.1	0.4
(7) 人に気をつかう、やさしい人間だと思う	0.8	0.9	4.5	13.0	25.0	38.4	16.6	0.7
(8) だらしなく、うっかりしていると思う	14.9	30.6	22.1	13.8	12.9	4.2	0.9	0.7
(9) 冷静で、気分が安定していると思う	1.2	3.1	7.0	18.7	19.9	36.7	12.7	0.7
(10) 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う	5.1	13.9	14.3	19.9	20.2	21.1	4.7	0.6

N = 739

2) 性格と回答者の属性との関連（表 XII-2）

上記の(1)「活発で外向的」で「まったく違うと思う」人に1点から「強くそう思う」人に7点、(6)「ひかえめでおとなしい」で「まったく違うと思う」人に7点から「強くそう思う」人に1点を与え、その2項目の合計を「外向性」の得点とした。同様に(2)と(7)で「協調性」、(3)と(8)で「勤勉性」、(4)と(9)で「神経性」、(5)と(10)で「開放性」の得点を算出した。

その結果、年齢階級別にみると75歳以上の人の方が「協調性」と「勤勉性」の得点が高かった。性別にみると、女性の方が「協調性」の得点が高く、男性の方が「開放性」の得点が高かった。地域による違いはみられなかった。収入階層別では、600万円以上の人の方が「外向性」の得点が高く、「開放性」の得点は300-600万円未満の人がもっとも高かった。

表 XII-2 性格の得点の平均値—年齢階級、性、地域、収入階層別

		外向性	協調性	勤勉性	神経症	開放性
年齢階級	65-74 歳	8.92	11.42	9.39	6.18	7.80
	75 歳以上	8.86	11.70	9.85	6.10	7.88
性	男性	8.76	11.27	9.47	5.98	8.10
	女性	9.00	11.80	9.72	6.27	7.62
地域	墨田区	8.87	11.54	9.70	6.13	7.80
	世田谷区	8.92	11.58	9.50	6.14	7.89
収入階層	300 万円未満	8.76	11.49	9.55	6.19	7.69
	300-600 万円未満	8.93	11.81	9.65	6.01	9.01
	600 万円以上	9.71	11.75	9.69	6.21	8.51

注)無回答は除外して集計。

2. 時間的展望

1) 時間的展望に関する項目の分布(表 XII-3)

時間的展望とは、ある一定の時点における個人の過去・現在・未来についての見解のことである。(10)嫌な思い出が多いので過去のことは思い出したくないという項目に対しては20.8%の人が「まったくあてはまらない」と回答している。(19)やるべきことがあるとき誘惑に耐えることができるという項目に対しては18.9%の人が「よくあてはまる」と回答している。

表 XII-3 時間的展望に関する項目の単純集計

	まったくあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない	あてはまる	よくあてはまる	わからない、無回答
(1)私の人生は運命によって定められているところが多い	7.8	23.7	29.5	29.0	5.3	4.7
(2)人生の中で、ああすべきだったのに、と思うことが多い	8.0	34.9	23.5	27.6	4.9	1.0
(3)昔のことを考えるのは楽しい	4.3	22.1	31.1	32.9	7.7	1.9
(4)何かをやり遂げようとするときに、目標を決めてそれに到達するために具体的な方法を検討する	1.5	15.8	21.1	42.8	16.5	2.3
(5)昔のことを思い出すと、悪い思い出よりも良い思い出の方が全体的に多い	1.9	9.2	28.4	42.4	16.6	1.5
(6)なるようにしかならないので、自分が何をしてもあまり関係がない	8.5	36.8	25.3	22.2	4.2	3.0
(7)過去のつらい経験が、繰り返し頭に浮かぶ	18.3	53.0	16.4	9.3	2.2	0.8
(8)楽しかった思い出が、すぐに心に浮かぶ	1.5	12.6	27.1	45.5	12.4	0.9
(9)毎日を計画的というよりは成り行きで過ごす	8.4	29.8	22.1	32.2	6.2	1.4
(10)嫌な思い出が多いので、過去のことは思い出したくない	20.8	49.3	18.3	8.1	2.4	1.1
(11)人生に刺激は必要だ	1.5	7.8	23.0	48.0	16.5	3.1
(12)時間内に終えることよりも、やっていることを楽しむことの方が大切だと思う	1.6	11.4	25.3	44.9	13.5	3.2
(13)危険をおそれないからこそ、人生は退屈でなくなる	4.1	27.2	39.4	19.8	4.7	4.9
(14)若い頃の嫌なイメージを忘れることができない	16.2	55.9	15.6	9.5	1.5	1.3
(15)人生の進路は、自分ではどうしようもない力によって決められている	9.3	34.6	26.7	21.7	3.8	3.9
(16)どうしようもないことなので、将来について心配しても仕方がない	3.2	16.8	17.5	46.8	13.8	1.9
(17)コツコツと取り組んで時間通りに課題を終了する	1.8	14.1	21.7	46.8	13.9	1.7
(18)人生の刺激を得るために冒険する	11.0	47.9	23.3	11.8	3.5	2.6
(19)やるべきことがあるとき、誘惑に耐えることができる	1.4	11.4	21.4	44.4	18.9	2.6
(20)過去に起きた嫌な出来事について考えることがある	12.6	44.7	18.0	20.7	3.1	1.0

N = 739

(2) 時間的展望と回答者の属性との関連 (表 XII-4)

上記の(3)(5)(8)で「よくあてはまる」という回答に5点から「まったくあてはまらない」という回答に1点を与え、(10)では逆に「よくあてはまる」という回答に1点、「まったくあてはまらない」という回答に5点を与え、その平均を「過去肯定」の得点とした。同様に、(2)(7)(14)(20)で「過去否定」、(11)(12)(13)(18)で「現在快樂」、(1)(6)(15)(16)で「現在運命」、(4)(9:逆転項目)(17)(19)で「未来」の得点を算出した。

その結果、年齢階級別にみると75歳以上の方が「現在快樂」「現在運命」の得点が高かった。性別では女性の方が「過去肯定」「現在運命」の得点が高く、「過去否定」の得点が低かった。地域別にみると世田谷区の方が「過去肯定」の得点が高く、「現在快樂」と「現在運命」の得点が低かった。収入階層別にみると300万円未満の人は「現在運命」の得点が高く、「未来」の得点が低かった。

表 XII-4 時間的展望の得点の平均値—年齢階級、性、地域、収入階層別

		過去肯定	過去否定	現在快樂	現在運命	未来
年齢階級	65-74 歳	3.50	2.46	3.13	2.89	3.46
	75 歳以上	3.58	2.49	3.25	3.11	3.51
性	男性	3.46	2.56	3.20	2.93	3.45
	女性	3.61	2.41	3.17	3.06	3.51
地域	墨田区	3.49	2.48	3.24	3.13	3.48
	世田谷区	3.59	2.47	3.13	2.85	3.48
収入階層	300 万円未満	3.48	2.53	3.19	3.14	3.40
	300-600 万円未満	3.59	2.45	3.18	2.82	3.61
	600 万円以上	3.61	2.43	3.18	2.79	3.46

注)無回答は除外して集計。

3. 自己統制感・自尊感情

1) 自己統制感・自尊感情に関する項目の分布 (表 XII-5)

自己統制感に関する項目(1)～(12)をみると、(11)ときどき人生に振り回されていると感じるという項目に対しては20.6%の人が「まったくあてはまらない」と回答し、(8)私がほしいものを手に入れられるかどうかは自分次第であるという項目に対しては、13.1%の人が「とてもあてはまる」と回答していた。

自尊感情に関する項目(13)～(19)をみると、(19)時々自分は役に立たない人間だと感じるという項目に対しては、22.2%の人が「まったくあてはまらない」と回答し、(16)すくなくとも人並みに物事をする事ができるという項目に対しては23.4%の人が「とてもあてはまる」と回答していた。

表 XII-5 自己統制感・自尊感情に関する項目の単純集計(%)

	まったくあてはまらない	ほとんどあてはまらない	どちらかといえばあてはまらない	どちらでもない	どちらかといえばあてはまる	かなりあてはまる	とてもあてはまる	無回答 わからない、
(1)人生で大切なことを変えるために自分でできることはほとんどない	15.8	25.3	18.7	19.9	8.4	4.7	0.9	6.2
(2)人生の問題に対処するにあたって、私はしばしば無力感を感じる	10.6	26.1	18.5	19.6	15.6	5.0	1.5	3.1
(3)本当にやろうと決めたことは、ほとんど何でもやることができる	0.9	6.0	10.6	20.2	29.6	20.3	10.4	2.1
(4)私のできることとできないことの多くは、他人によって決定されている	17.7	30.4	21.8	18.4	6.4	1.8	0.1	3.3
(5)私の人生で起こることは、自分でコントロールできる範囲をしばしば超えている	7.4	20.6	17.1	26.7	14.5	6.1	1.8	5.9
(6)本当にやりたいことがある時は、それを達成するための方法をたいてい見つけることができる	1.5	4.1	7.8	22.9	31.1	18.9	9.9	3.7
(7)私がやりたいことを邪魔するものがたくさんある	19.9	33.0	18.5	14.1	7.2	4.2	0.8	2.3
(8)私がほしいものを手に入れられるかどうかは、自分次第である	1.2	3.9	3.9	17.1	29.1	29.4	13.1	2.3
(9)私に起こることは、自分ではどうすることもできない	5.5	18.3	17.5	25.0	18.4	8.1	2.8	4.3
(10)私の抱える問題を解決する方法はまったくない	16.0	32.5	23.5	16.4	5.0	2.0	0.4	4.2
(11)私は、ときどき人生に振り回されていると感じる	20.6	29.6	19.2	13.7	10.3	3.2	1.1	2.3
(12)私に将来どんなことが起こるかは、ほとんど自分次第だ	4.2	7.3	12.0	31.0	20.7	13.3	5.4	6.1
(13)私は、他人と比べて、よくも悪くもない	1.9	5.1	7.4	29.9	29.2	16.9	6.4	3.1
(14)自分に対して、肯定的である	1.8	3.9	6.8	23.7	31.0	21.5	8.0	3.4
(15)自分は、まったく駄目な人間だと思うことがある	19.4	30.2	24.9	12.4	8.0	2.2	0.8	2.2
(16)すくなくとも人並みに、物事をする事ができる	0.9	2.4	2.7	6.4	26.8	35.2	23.4	2.2
(17)もう少し自分を尊敬できるようにしたい	2.3	7.6	10.4	36.8	20.4	12.7	5.5	4.2
(18)私は、自分に満足している	1.4	4.2	8.5	18.5	28.0	25.0	12.0	2.3
(19)時々、自分は役に立たない人間だと感じる	22.2	27.1	23.0	11.6	9.3	2.7	1.9	1.2

N = 739

2) 自己統制感・自尊感情と回答者の属性との関連 (表 XII-6)

自己統制感の得点は、(1) (2) (4) (5) (7) (9) (10) (11) の項目では「まったくあてはまらない」という回答に 7 点から「あてもあてはまる」という回答に 1 点を与え、(3) (6) (8) (12) の項目では「まったくあてはまらない」という回答に 1 点から「あてもあてはまる」という回答に 7 点を与え、12 項目の平均値を算出した。その結果、年齢階級、性、地域による違いはみられなかった。収入階層別にみると年収が多い人ほど、自己統制感の得点が高かった。

自尊感情の得点は、(13) (14) (16) (18) の項目では「まったくあてはまらない」という回答に 1 点から「あてもあてはまる」という回答に 7 点を与え、(15) (17) (19) の項目では「まったくあてはまらない」という回答に 7 点から「あてもあてはまる」という回答に 1 点を与え、7 項目の合計を算出した。その結果、年齢階級、性、地域による違いはみられなかった。収入階層別にみると、300 万円未満の人が自尊感情の得点をもっとも低かった。

表 XII-6 自己統制感と自尊感情の平均値—年齢階級、性、地域、収入階層別

		自己統制感	自尊感情
年齢階級	65-74 歳	4.95	34.05
	75 歳以上	4.87	34.50
性	男性	4.88	34.26
	女性	4.93	34.26
地域	墨田区	4.86	34.17
	世田谷区	4.96	34.35
収入階層	300 万円未満	4.85	33.77
	300-600 万円未満	5.01	35.30
	600 万円以上	5.08	34.30

注) 無回答は除外して集計。

XIII. ライフコース

1. 周囲の喫煙習慣

1) 中学生くらいの時における周囲の喫煙習慣

(1) 中学生くらいの時における周囲の喫煙習慣の分布 (表 XIII-1)

回答者が中学生の時に周囲が喫煙していたか否かについては、父が喫煙していた人は 58.9%と最も多く、次いで兄弟姉妹に喫煙者がいた人が 11.9%であった。喫煙者がだれも周りにいなかった人は 30.7%であった。

表 XIII-1 中学生くらいの時における周囲の喫煙習慣の単純集計:複数回答(%)

父	母	祖父	祖母	兄弟姉妹	親しい友人	周りに いなかった	無回答
58.9	8.1	6.2	3.7	11.9	4.6	30.7	0.1

N = 739

(2) 中学生くらいの時の周囲の喫煙と回答者の属性との関連 (表 XIII-2)

年齢階級別にみると、父親が喫煙していた割合は 65-74 歳では 62.0%と、75 歳以上の 55.6%よりも多かった。性別では、男性の場合父親が喫煙していた割合は 63.9%と、女性の 54.9%と比較して、約 10 ポイント高かった。地域や収入階層による違いは大きくなかった。

表 XIII-2 中学生の時に周囲の喫煙習慣の有無のクロス表(%) :複数回答
一年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	父	母	祖父	祖母	兄弟 姉妹	親しい 友人	いなか った
年齢階級	65-74 歳	376	62.0	9.8	6.6	5.1	12.0	5.3	28.5
	75 歳以上	360	55.6	6.4	5.8	1.9	11.9	3.6	33.3
性	男性	330	63.9	9.4	7.9	5.8	13.9	7.6	25.2
	女性	408	54.9	7.1	4.9	2.0	10.3	2.2	35.3
地域	墨田区	382	60.7	7.3	6.3	4.5	12.0	4.5	28.8
	世田谷区	356	57.0	9.0	6.2	2.8	11.8	4.8	32.9
収入階層	300 万円未満	293	61.4	8.5	8.2	4.8	12.6	4.8	27.6
	300-600 万円未満	199	63.3	10.1	6.5	4.5	12.1	6.0	30.2
	600 万円以上	76	56.6	10.5	0.0	2.6	13.2	2.6	32.9

注)無回答は除外して集計。

2) 20 歳くらいの時における周囲の喫煙習慣

(1) 20 歳くらいの時における周囲の喫煙習慣の分布 (表 XIII-3)

回答者が 20 歳くらいの時に周囲が喫煙していたか否かについては、父が喫煙していたという人は 49.8% と最も多く、次いで兄弟姉妹に喫煙者がいた人は 11.9%、親しい友人、職場の人に喫煙者がいた人がそれぞれ 24.1% であった。喫煙者が 1 人も周りにいなかった人は 20.6% であった。

表 XIII-3 20 歳くらいの時における周囲の喫煙習慣の単純集計: 複数回答 (%)

父	母	祖父	祖母	兄弟姉妹	親しい友人	配偶者	職場の人	いなかった	無回答
49.8	7.6	3.8	2.0	21.2	24.1	3.7	24.1	20.6	2.0

N = 739

(2) 20 歳くらいの時の周囲の喫煙習慣と回答者の属性との関連 (表 XIII-4)

年齢階級別にみると、親しい友人が喫煙していた割合は 65-74 歳では 28.8% と、75 歳以上の 19.9% よりも多かった。性別では、男性の場合親しい友人あるいは職場の人の中で喫煙していた人がいた割合は各 42.2%、30.5% で、女性の各 10.3%、19.8% と比較してかなり多かった。収入階層別にみても違いがあり、収入階層が 300 万円未満では職場の人が喫煙していたという割合が 28.5% であるのに対し、600 万円以上では 17.3% であった。

表 XIII-4 20 歳の時の周囲の喫煙習慣とのクロス表: 複数回答 (%) 一年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	父	母	祖父	祖母	兄弟姉妹	親しい友人	配偶者	職場の人	いなかった
年齢階級	65-74 歳	375	51.7	9.3	4.0	2.9	22.9	28.8	3.2	26.7	16.5
	75 歳以上	347	49.6	6.1	3.7	0.9	20.5	19.9	4.3	21.9	25.9
性	男性	325	54.8	8.6	5.5	3.4	24.3	42.2	0.9	30.5	12.3
	女性	399	47.6	7.0	2.5	1.0	19.5	10.3	6.0	19.8	28.1
地域	墨田区	374	52.1	7.2	4.5	2.1	21.4	19.8	4.3	25.1	21.7
	世田谷区	350	49.4	8.3	3.1	2.0	22.0	29.7	3.1	24.0	20.3
収入階層	300 万円未満	288	53.8	8.7	4.9	2.8	21.5	22.6	3.5	28.5	18.1
	300-600 万円未満	197	51.3	8.1	4.1	2.5	23.4	34.5	2.5	24.9	17.8
	600 万円以上	75	54.7	12.0	1.3	2.7	21.3	28.0	2.7	17.3	17.3

注) 無回答は除外して集計。

3) 40 歳くらいの時における周囲の喫煙習慣

(1) 40 歳くらいの時における周囲の喫煙習慣の分布 (表 XIII-5)

回答者が 40 歳くらいの時に周囲が喫煙していたか否かについては、職場の人が喫煙していた割合は 39.9%と最も多く、次いで配偶者が喫煙していた割合は 32.2%、親しい友人が喫煙していた割合は 28.8%と続いていた。喫煙者が周りにいなかった人は 21.0%であった。

表 XIII-5 40 歳くらいの時における周囲の喫煙の単純集計: 複数回答 (%)

父	母	祖父	祖母	兄弟姉妹	親しい友人	配偶者	子ども	職場の人	いなかった	無回答
17.3	3.7	0.9	0.7	16.4	28.8	32.2	5.0	39.9	21.0	1.2

N = 739

(2) 40 歳くらいの時の周囲の喫煙習慣と回答者の属性との関連 (表 XIII-6)

年齢階級別にみると、65-74 歳では職場の人あるいは親しい友人が喫煙していた割合はそれぞれ 48.0%と 34.3%で、これらの割合はそれぞれ 75 歳以上の人と比較し 10 ポイント以上高かった。性別では、男性では職場の人あるいは親しい友人が喫煙していた割合はそれぞれ 65.6%と 50.6%で、女性よりもそれぞれ 40 ポイント以上高かった。地域や収入階層による違いは著しくなかった。

表 XIII-6 40 歳の時の周囲の喫煙習慣とのクロス表: 複数回答 (%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	父	母	祖父	祖母	兄弟姉妹	親しい友人	配偶者	子ども	職場の人	いない
年齢階級	65-74 歳	373	20.6	5.1	0.5	0.8	17.2	34.3	30.5	4.8	48.0	17.2
	75 歳以上	355	14.1	2.3	1.4	0.3	16.1	23.7	34.6	5.4	32.4	25.4
性	男性	326	23.6	4.0	1.2	0.9	20.6	50.6	6.1	3.7	65.6	15.3
	女性	404	12.6	3.5	0.7	0.5	13.4	11.9	54.0	6.2	20.0	26.0
地域	墨田区	374	16.3	2.4	1.3	0.8	17.6	24.9	31.8	4.0	36.6	22.5
	世田谷区	356	18.8	5.1	0.6	0.6	15.4	33.7	33.4	6.2	44.4	19.9
収入階層	300 万円未満	289	18.0	4.8	1.0	1.4	16.6	27.3	33.6	4.5	42.9	20.4
	300-600 万円未満	200	18.0	2.0	1.0	0.5	20.0	40.5	27.5	4.5	46.5	17.5
	600 万円以上	75	21.3	6.7	1.3	0.0	13.3	28.0	36.0	10.7	40.0	17.3

注) 無回答は除外して集計。

2. 家族の食生活

1) 中学生くらいの時における家族の食生活

(1) 中学生くらいの時における家族の食生活の分布 (表 XIII-7)

回答者が中学生くらいの時に家族が緑黄色野菜をどのくらいの頻度で食べていたかについては、ほとんど毎日食べていたという人が 66.4%と最も多く、ときどき食べていたが 23.5%と続いていた。

表 XIII-7 中学生くらいの時における家族の緑黄色野菜の摂取頻度の単純集計(%)

ほとんど毎日 食べていた	ときどき 食べていた	あまり 食べていない	まったく 食べていない	知らない	無回答
66.4	23.5	5.4	0.3	4.2	0.1

N = 739

(2) 中学生くらいの時の家族の食生活と回答者の属性との関連 (表 XIII-8)

年齢階級、性による差は顕著ではなかった。地域別にみると、ほとんど毎日食べていたという人が墨田区では 65.2%、世田谷区では 74.0%と、世田谷区の方が 8.8 ポイント高かった。収入階層による差がみられ、ほとんど毎日食べていたという人は 300 万円未満では 67.3%であるに対し、600 万円以上では 81.9%と 10 ポイント以上高かった。

表 XIII-8 中学生くらいの時の家族の緑黄色野菜の摂取頻度のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	ほとんど毎日 食べていた	ときどき 食べていた	あまり 食べていない	まったく 食べていない
年齢階級	65-74 歳	360	68.9	27.2	3.9	0.0
	75 歳以上	345	69.9	22.0	7.5	0.6
性	男性	309	65.4	27.5	6.8	0.3
	女性	398	72.6	22.4	4.8	0.3
地域	墨田区	368	65.2	27.2	7.1	0.5
	世田谷区	339	74.0	21.8	4.1	0.0
収入階層	300 万円未満	281	67.3	26.0	6.4	0.4
	300-600 万円未満	193	72.0	23.3	4.7	0.0
	600 万円以上	72	81.9	16.7	1.4	0.0

注)無回答は除外して集計。

2) 20 歳くらいの時における家族の食生活

(1) 20 歳くらいの時における家族の食生活の分布 (表 XIII-9)

回答者が 20 歳くらいの時に家族が緑黄色野菜をどのくらいの頻度で食べていたかについては、ほとんど毎日食べていたという人が 63.7%と最も多く、次いでときどき食べていたが 27.1%であった。

表 XIII-9 20 歳くらいの時における家族の緑黄色野菜の摂取頻度の単純集計 (%)

ほとんど毎日 食べていた	ときどき 食べていた	あまり 食べていない	まったく 食べていない	知らない	無回答
63.7	27.1	5.5	0.1	3.4	0.1

N = 739

(2) 20 歳くらいの時の家族の食生活と回答者の属性との関連 (表 XIII-10)

年齢階級、性による差は顕著ではなかった。地域別にみると、ほとんど毎日食べていたという人が墨田区では 62.1%と、世田谷区の 70.4.%と比較し、8.3 ポイント低かった。収入階層別でも差がみられ、ほとんど毎日食べていたという人は 300 万円未満では 61.3%で、600 万円以上の 83.6%と比較して 22.3 ポイント低かった。

表 XIII-10 20 歳くらいの時の家族の緑黄色野菜の摂取頻度のクロス表 (%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	ほとんど毎日 食べていた	ときどき 食べていた	あまり 食べていない	まったく 食べていない
年齢階級	65-74 歳	363	65.3	28.1	6.6	0.0
	75 歳以上	348	66.7	28.2	4.9	0.3
性	男性	313	62.9	30.4	6.7	0.0
	女性	400	68.5	26.3	5.0	0.3
地域	墨田区	372	62.1	30.4	7.3	0.3
	世田谷区	341	70.4	25.5	4.1	0.0
収入階層	300 万円未満	282	61.3	31.9	6.7	0.0
	300-600 万円未満	195	69.7	25.1	5.1	0.0
	600 万円以上	73	83.6	15.1	1.4	0.0

注) 無回答は除外して集計。

3) 40 歳くらい時における家族の食生活

(1) 40 歳くらい時における家族の食生活の分布 (表 XIII-11)

回答者が 40 歳くらいの時に家族が緑黄色野菜をどのくらいの頻度で食べていたかについては、ほとんど毎日食べていたという人が 71.3%と最も多く、ときどき食べていたが 23.7%と続いていた。

表 XIII-11 40 歳の時の周囲の人の緑黄色野菜の摂取頻度の単純集計(%)

ほとんど毎日 食べていた	ときどき 食べていた	あまり 食べていない	まったく 食べていない	知らない	無回答
71.3	23.7	2.8	0.1	1.9	0.1

N = 739

(2) 40 歳の時の周囲の人の食生活と回答者の属性との関連 (XIII-12)

年齢階級別にみると、ほとんど毎日食べていたという人は 75 歳以上では 75.9%と、65-74 歳の 69.5%よりも高かった。性による差もみられ、女性ではほとんど毎日食べるという人が 76.0%であったのに対し、男性では 68.8%低かった。地域別にみると、ほとんど毎日食べていたという人が世田谷区では 80.2.%で、墨田区では 65.9%と比較し 14.3 ポイント高かった。収入階層別でも差がみられ、ほとんど毎日食べていたという人は 600 万円以上では 81.1%で、300 万円未満の 68.3%と比較して 12.8 ポイント高かった。

表 XIII-12 40 歳の時の周囲の人の緑黄色野菜の摂取頻度のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	ほとんど毎日 食べていた	ときどき 食べていた	あまり 食べていない	まったく 食べていない
年齢階級	65-74 歳	369	69.6	26.3	4.1	0.0
	75 歳以上	353	75.9	22.1	1.7	0.3
性	男性	320	68.8	26.9	4.4	0.0
	女性	404	76.0	22.0	1.7	0.2
地域	墨田区	375	65.9	30.4	3.5	0.3
	世田谷区	349	80.2	17.5	2.3	0.0
収入階層	300 万円未満	287	68.3	28.2	3.5	0.0
	300-600 万円未満	198	78.3	19.7	2.0	0.0
	600 万円以上	74	81.1	17.6	1.4	

注)無回答は除外して集計。

3. 自分と周囲の運動・スポーツ習慣

1) 中学生くらいの時における自分と周囲の運動・スポーツ習慣

(1) 中学生くらいの時における自分と周囲の運動・スポーツ習慣の分布 (表 XIII-13)

回答者が中学生くらいの時に自分および周囲が運動・スポーツ習慣をもっていたか否かについて質問した。自分が運動・スポーツ習慣をもっていた人は 58.9%であった。続柄別にみて運動・スポーツ習慣をもっていた人の割合が高かったのは親しい友人と兄弟姉妹であり、割合はそれぞれ 40.2%と 30.6%であった。周囲に運動習慣をもっていた人がいなかった割合は 27.7%であった。

表 XIII-13 中学生くらいの時の自分および周囲の運動・スポーツ習慣の単純集計:複数回答(%)

自分	父母	祖父母	兄弟姉妹	親しい友人	近隣の人	周りに いなかった	無回答
58.9	5.8	0.4	30.6	40.2	4.9	27.7	6.8

注1)運動、スポーツ習慣がある割合を示している。

注2)N = 739

(2) 中学生くらいの時の周囲の人の運動・スポーツの実施と回答者の属性との関連 (表 XIII-14)

年齢階級別にみると、親しい友人に運動・スポーツ習慣を持っていた人がいたという割合は、64—74 歳では 49.6%と、75 歳以上の 35.7%よりもかなり多かった。この割合は性別でも差がみられ、男性では 52.7%と女性の 35.0%よりもかなり多かった。さらに、周囲に運動・スポーツ習慣のある人がいないという割合も性で差があり、女性では 35.0%と男性の 23.5%と比較してかなり多かった。地域別にみると、親しい友人に運動・スポーツ習慣を持っていた人がいたという人の割合は、世田谷区では 48.1%と墨田区の 38.4%よりもかなり多かった。他方、周囲に運動・スポーツ習慣のある人がいないという人の割合は、墨田区では 35.6%と世田谷区の 23.6%と比較してかなり多かった。収入階層別でも差がみられ、600 万円以上の人では兄弟姉妹と親しい友人の中で運動・スポーツ習慣を持っていたという人がいた割合は 45.9%と 50.0%で、300 万未満の人よりもそれぞれ 20 ポイント、10 ポイント程度高かった。

表 XIII-14 中学生くらいの時の周囲の人の運動・スポーツの習慣のクロス表:複数回答(%)

—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	自分	父母	祖父母	兄弟 姉妹	親しい 友人	近隣の人	いなか った
年齢階級	65-74 歳	365	55.9	8.2	0.3	35.3	49.6	5.8	26.8
	75 歳以上	322	53.4	3.7	0.6	29.8	35.7	4.3	32.9
性	男性	315	63.8	7.9	0.6	32.7	52.7	7.9	23.5
	女性	374	47.1	4.8	0.3	32.9	35.0	2.9	35.0
地域	墨田区	354	50.6	3.7	0.6	29.1	38.4	5.4	35.6
	世田谷区	335	59.1	9.0	0.3	36.7	48.1	5.1	23.6
収入階層	300 万円未満	278	49.6	4.7	0.7	28.1	40.3	6.8	33.5
	300-600 万円未満	190	63.7	7.9	0.5	41.6	51.1	7.4	21.1
	600 万円以上	74	63.5	9.5	0.0	45.9	50.0	2.7	18.9

注)無回答は除外して集計。

2) 20 歳くらいの時の自分と周囲の運動・スポーツ習慣

(1) 20 歳くらいの時における自分と周囲の運動・スポーツ習慣の分布 (表 XIII-15)

20 歳くらいの時に、自分が運動・スポーツ習慣をもっていた人は 38.4%であった。続柄別にみて運動・スポーツ習慣をもっていた人の割合が最も高かったのは親しい友人であり、32.9%であった。周囲に運動習慣をもっていた人がいなかった割合は 39.6%であった。

表 XIII-15 20 歳の時の周囲の人の運動・スポーツの実施の単純集計:複数回答(%)

自分	父母	祖父母	兄弟姉妹	親しい友人	近隣の人	配偶者	いなかった	無回答
38.4	4.6	0.0	23.0	32.9	4.5	1.2	39.6	6.5

N = 739

(2) 20 歳くらいの時の自分と周囲の運動・スポーツ習慣と回答者の属性との関連 (表 XIII-16)

年齢階級別にみると、親しい友人に運動・スポーツ習慣を持っていた人がいたという割合は、64—74 歳では 41.9%と 75 歳以上の 28.0%よりもかなり多かった。この割合は性別でも差がみられ、男性では 49.5%と女性の 23.5%よりもかなり多かった。さらに、周囲に運動・スポーツ習慣をもつ人がいないという割合も性で差があり、女性では 53.0%と男性の 29.6%と比較してかなり多かった。地域別にみると、親しい友人に運動・スポーツ習慣を持つ人がいたという割合は、世田谷区では 40.6%と墨田区の 30.0%よりもかなり多かった。他方、周囲に運動・スポーツ習慣をもつ人がいないという割合は、墨田区では 47.1%と世田谷区の 37.6%と比較してかなり多かった。収入階層別でも差がみられ、600 万円以上の人では親しい友人と兄弟姉妹の中で運動・スポーツ習慣を持つ人がいたという人はそれぞれ 41.9%と 39.2%で、300 万未満の人よりもそれぞれ 20 ポイント、10 ポイント程度高かった。

表 XIII-16 20 歳くらいの時の周囲の運動・スポーツ習慣とのクロス表:複数回答(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	自分	父母	祖父母	兄弟姉妹	親しい友人	近隣の人	配偶者	いなかった
年齢階級	65-74 歳	360	41.4	7.5	0.0	26.1	41.9	5.6	1.4	38.6
	75 歳以上	329	41.0	2.1	0.0	23.1	28.0	4.0	1.2	46.5
性	男性	311	58.8	5.8	0.0	25.7	49.5	8.0	1.0	29.6
	女性	379	26.6	4.2	0.0	23.7	23.5	2.1	1.6	53.0
地域	墨田区	350	37.1	2.6	0.0	21.7	30.0	4.9	1.4	47.1
	世田谷区	340	45.3	7.4	0.0	27.6	40.6	4.7	1.2	37.6
収入階層	300 万円未満	271	38.0	3.0	0.0	21.4	31.4	5.9	2.6	45.8
	300-600 万円未満	193	49.7	6.2	0.0	31.1	46.6	6.2	1.0	33.7
	600 万円以上	74	48.6	8.1	0.0	39.2	41.9	4.1	0.0	29.7

注)無回答は除外して集計。

3) 40 歳くらいの時の自分と周囲の運動・スポーツ習慣

(1) 40 歳くらいの時における自分と周囲の運動・スポーツ習慣の分布 (表 XIII-17)

40 歳くらいの時に、自分が運動・スポーツ習慣をもっていた人は 38.6%であった。続柄別にみて運動・スポーツ習慣をもつ人の割合が最も高かったのは親しい友人であり、25.7%であった。周囲に運動習慣をもつ人がいなかった割合は 32.6%であった。

表 XIII-17 40 歳の時の周囲の運動・スポーツ習慣の単純集計:複数回答(%)

自分	父母	祖父母	兄弟姉妹	親しい友人	近隣の人	配偶者	子ども	いない	無回答
38.6	2.0	0.7	11.6	25.7	6.1	16.1	29.0	32.6	5.5

N = 739

(2) 40 歳くらいの時の周囲の運動・スポーツ習慣と回答者の属性との関連 (表 XIII-18)

年齢階級別にみると、親しい友人に運動・スポーツ習慣を持つ人がいたという割合は、64—74 歳では 32.0%と 75 歳以上の 22.1%よりもかなり多かった。この割合は性による差もみられ、男性では 39.4%と女性の 17.2%の 2 倍以上であった。他方、自分の子どもの中で運動・スポーツ習慣のある人がいるという割合は女性では 37.9%と男性の 21.9%と比較してかなり多かった。地域別にみると、子どもあるいは親しい友人に運動・スポーツ習慣を持つ人がいたという割合は、世田谷区では各 37.4%、32.4%で、墨田区の 24.3%、22.3%よりもかなり多かった。他方、周囲に運動・スポーツ習慣をもつ人がいなかったという割合は、墨田区では 41.1%と世田谷区の 27.6%と比較してかなり多かった。収入階層別でも差がみられ、600 万円以上の人では子どもあるいは親しい友人の中で運動・スポーツ習慣を持つ人がいたという割合はそれぞれ 40.8%と 35.5%で、300 万未満の人よりもそれぞれ 10 ポイント程度高かった。

表 XIII-18 40 歳の時の周囲の人の運動・スポーツの実施とのクロス表:複数回答(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	自分	父母	祖父母	兄弟姉妹	親しい友人	近隣の人	配偶者	子ども	いない
年齢階級	65-74 歳	362	42.8	3.0	0.6	14.1	32.0	6.4	18.5	29.8	30.9
	75 歳以上	335	38.8	1.2	0.9	10.4	22.1	6.6	15.5	31.6	38.2
性	男性	315	55.2	2.9	0.0	14.6	39.4	7.0	11.4	21.9	33.0
	女性	383	29.0	1.6	1.3	10.4	17.2	6.0	21.7	37.9	35.8
地域	墨田区	358	36.6	1.1	0.3	10.6	22.3	7.3	13.4	24.3	41.1
	世田谷区	340	45.3	3.2	1.2	14.1	32.4	5.6	20.9	37.4	27.6
収入階層	300 万円未満	278	37.4	0.7	0.4	9.7	24.1	6.5	12.6	25.9	40.3
	300-600 万円未満	190	36.3	4.2	0.5	16.8	34.7	10.0	19.5	37.4	25.3
	600 万円以上	76	59.2	3.9	1.3	23.7	35.5	1.3	27.6	40.8	17.1

注)無回答は除外して集計。

4. 生まれてから現在までの否定的な生活出来事

1) 生まれてから現在までの否定的な生活出来事の分布（表 XIII-19）

生まれてから現在までに、子どもの死亡、自然災害に遭う、戦闘で武器を使用したり、撃たれたりしたこと、など重大な生活出来事を経験しているか否かを質問した。自然災害に遭ったという人が最も多く、19.9%の人が経験していた。次いで、家族が危うく生命を起こすような事故や病気を経験であり、その割合は10.0%であった。

表 XIII-19 生まれてから現在までの否定的な生活出来事の単純集計：複数回答（%）

子どもの死亡	自然災害に遭う	戦闘で武器を使用したり撃たれたりしたこと	配偶者や子どもが薬物やアルコール依存になったこと	身体的な暴力や暴行をうけたこと	重大な事故やけが生死が危ぶまれる	家族が危うく生命を落とすような事故や病気を落とす
7.0	19.9	1.6	0.5	3.0	5.3	10.0

N = 739

2) 生まれてから現在までの否定的な生活出来事の直近の経験年齢（表 XIII-20）

生まれてから現在までに経験した生活出来事について、何歳くらいの時に経験したか、直近で経験した年齢を質問した。最も多くの人が経験した自然災害については、18～64歳という人が約半数占めていた。次いで、経験者が多かった家族が危うく生命を起こすような事故や病気を経験、および子どもの死亡については、31～64歳の間に経験したという人が各59.5%、55.8%を占めていた。

表 XIII-20 生まれてから現在までの否定的な生活出来事の直近の経験年齢（%）

生活出来事	直近の経験年齢						
	N	5歳以下	6～11歳	12～17歳	18～30歳	31～64歳	65歳以上 無回答
子どもの死亡	52	—	—	—	25.0	55.8	19.2 0.0
自然災害に遭う	147	4.8	17.7	17.0	19.0	24.5	17.0 0.0
戦闘で武器使用、撃たれた	12	16.7	8.3	41.7	22.3	0.0	0.0 0.0
配偶者や子どもが薬物やアルコール中毒	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0 0.0
身体的な暴力や暴行	22	0.0	18.2	18.2	27.3	31.8	4.5 0.0
生死が危ぶまれる重大な事故やケガ	39	2.6	7.9	10.5	31.6	26.3	21.1 2.6
家族が危うく生命を落とすような事故や病気	74	0.0	0.0	0.0	12.2	59.5	28.4 0.0

3) 生まれてから現在までの否定的な生活出来事と回答者の属性との関連 (表 XIII-21)

自然災害の経験割合については、収入階層による違いが顕著であり、300 万円未満では 22.5%で、600 万円以上の 10.5%の 2 倍以上であった。

表 XIII-21 生まれてから現在までの否定的な生活出来事の経験とのクロス表: 複数回答(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	子どもの死亡	自然災害に遭う	撃たれたりしたこと 戦闘で武器を使用したり	配偶者や子どもが薬物や アルコール依存になったこと	身体的な暴力や暴行を うけたこと	重大な事故やけが 生死が危ぶまれる	ような事故や病気 家族が危うく生命を落とす
年齢階級	65-74 歳	377	4.2	16.7	0.5	0.8	2.9	3.7	8.2
	75 歳以上	360	9.7	23.3	2.8	0.3	3.1	6.9	11.7
性	男性	315	6.0	19.9	2.1	0.0	4.2	7.6	6.6
	女性	383	7.8	19.9	1.2	1.0	2.0	3.4	12.7
地域	墨田区	358	7.6	18.8	1.0	0.5	1.8	5.0	10.5
	世田谷区	340	6.4	21.0	2.2	0.6	4.2	5.6	9.5
収入階層	300 万円未満	278	6.8	22.5	1.4	0.7	3.8	6.5	12.3
	300-600 万円未満	190	6.5	19.0	3.0	1.0	4.5	4.0	9.0
	600 万円以上	76	5.3	10.5	1.3	0.0	0.0	2.6	7.9

注) 無回答は除外して集計。

5. 小さい時の文化的環境・活動

1) 文化的環境

(1) 文化的環境の分布 (表 XIII-22)

15 歳くらいの時の、家庭における文化的環境について質問した。文化的環境として、「ピアノやバイオリン」「文学全集のセットや百科事典」というアイテムを取り上げた。文学全集のセットや百科事典については、置かれていたとの回答が 43.0%であった。ピアノやバイオリンについては、置かれていたとの回答が 13.5%であった。

表 XIII-22 15 歳のころの文化的環境の単純集計 (%)

	置かれていた	置かれていなかった	わからない
ピアノやバイオリン	13.5	85.8	0.7
文学全集のセットや百科事典	43.0	55.3	1.6

N = 739

(2) 文化的環境と回答者の属性との関連 (表 XIII-23)

地域による差が大きく、ピアノやバイオリン、文学全集のセットや百科事典については、それぞれ自宅にあった人の割合は、世田谷区では 21.4%、54.0%、墨田区では 6.3%、34.2%であった。収入階層による差も大きく、ピアノやバイオリン、文学全集のセットや百科事典については、それぞれ自宅にあった人の割合は、600 万円以上の人では 22.4%と 59.2%で、300 万円未満の人の 9.3%、37.6%よりかなり多かった。

表 XIII-23 文化的環境のクロス表 (%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		ピアノ・バイオリン		文学全集のセット・百科事典	
		置かれていた	置かれていなかった	置かれていた	置かれていなかった
年齢階級	65-74 歳	16.0	84.0	46.1	53.9
	75 歳以上	11.2	88.8	41.5	58.5
性	男性	12.2	87.8	40.4	59.6
	女性	14.8	85.2	46.5	53.5
地域	墨田区	6.3	93.7	34.2	65.8
	世田谷区	21.4	78.6	54.0	46.0
収入階層	300 万円未満	9.3	90.7	37.6	62.4
	300-600 万円未満	16.7	83.3	53.1	46.9
	600 万円以上	22.4	77.6	59.2	40.8

注) 無回答は除外して集計。

2)文化活動

(1) 文化活動の分布 (表 XIII-24)

15 歳くらいの時の、家庭における文化活動について質問した。文化活動として、「博物館や絵画展」「オペラやクラシックの演奏会」を取り上げた。博物館や絵画展に「しばしば行った」「ときどき行った」との回答は 24.9%、オペラやクラシックの演奏会に「しばしば行った」「ときどき行った」との回答は 9.0%であった。

表 XIII-24 15 歳くらいのころの文化活動の単純集計(%)

	しばしば 行った	ときどき 行った	あまり 行かなかった	まったく 行かなかった	わからない
博物館や絵画展に行く	6.1	18.8	10.4	64.1	0.5
オペラやクラシックの演奏会に行く	3.2	5.8	9.3	81.3	0.3

N = 739

(2) 文化活動と回答者の属性との関連 (表 XIII-25)

博物館や絵画展については、「しばしば行った」「ときどき行った」との回答割合は地域差が大きく、この割合は 300 万円未満の人では 22.7%であったのに対し、600 万円以上の人では 31.6%であった。年齢階級、性、地域による差は大きくなかった。

表 XIII-25 文化活動のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		博物館や絵画展	オペラやクラシックの演奏会
年齢階級	65-74 歳	29.3	9.0
	75 歳以上	20.4	9.2
性	男性	26.7	6.4
	女性	23.7	11.3
地域	墨田区	23.2	7.9
	世田谷区	27.0	10.4
収入階層	300 万円未満	22.7	7.5
	300-600 万円未満	26.1	10.1
	600 万円以上	31.6	14.5

注1)無回答は除外して集計。

注2)割合は、「しばしば行った」「ときどき行った」と回答した人の割合の合計を示している。

6. 18歳までの健康状態

1) 18歳前までの健康の分布（表 XIII-26）

18歳までの健康について、健康上の理由で、1ヶ月以上学校を休む、3ヶ月以上運動を制限される、あるいは1ヶ月以上の寝込む、というようなことがあったか否かを質問した。1ヶ月以上学校を休んだ、3ヶ月以上運動を制限される、1ヶ月以上の寝込む、それぞれの割合は、5.0%、2.8%、4.2%であった。

表 XIII-26 18歳までの健康の単純集計(%)

健康上の理由によって 一ヶ月以上学校を休んだ	健康上の理由によって 三ヶ月以上運動を制限された	健康上の理由によって 一ヶ月以上寝込んでいた
5.0	2.8	4.2

N = 739

2) 健康上の理由（表 XIII-27）

学校を休んだり、運動を制限されたりした健康上の理由を質問した。1ヶ月以上学校を休む、3ヶ月以上運動を制限される、あるいは1ヶ月以上の寝込む、のいずれの場合も、感染症が最も多くの割合を占めていた。

表 XIII-27 健康上の理由(%)

	N	感染症	自己免疫性疾患	アレルギー！喘息 リウマチ。関節炎	その他
健康上の理由で1ヶ月以上休んだ	37	45.9	10.8	18.9	24.3
健康上の理由で3ヶ月以上運動を制限された	21	38.1	9.5	19.0	33.3
健康上の理由で1ヶ月以上寝込んでいた	31	48.4	6.5	9.7	35.5

注) 無回答は除外して集計。

3) 18歳前までの健康と回答者の属性との関連(表XIII-28)

収入階層によって差がみられ、1ヶ月以上学校を休んだ、3ヶ月以上運動を制限された、1ヶ月以上寝込んだという割合は、600万円以上の人ではそれぞれ10.5%、6.6%、6.6%であったのに対し、300万円未満では4.8%、2.7%、6.6%であった。

表XIII-28 18歳前までの健康のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	一ヶ月以上学校を休んだ 健康上の理由によって	三ヶ月以上運動を制限された 健康上の理由によって	一ヶ月以上寝込んでいた 健康上の理由によって
年齢階級	65-74歳	377	5.8	2.9	3.7
	75歳以上	360	4.2	2.8	4.4
性	男性	331	4.8	3.0	3.6
	女性	408	5.1	2.7	4.7
地域	墨田区	382	3.1	1.3	3.7
	世田谷区	357	7.0	4.5	4.8
収入階層	300万円未満	293	4.8	2.7	2.7
	300-600万円未満	200	4.0	1.5	5.0
	600万円以上	76	10.5	6.6	6.6

注)無回答は除外して集計。

7. 18 歳までの否定的な生活出来事

1) 18 歳までの否定的な生活出来事の分布 (表 XIII-29)

学校を留年など 5 種類の否定的な出来事それぞれについて、18 歳までの間における経験の有無を質問した。最も多いの人が経験した出来事はいじめの経験であったが、その割合は 3.8%であった。それ以外はすべて 2%未満であった。

表 XIII-29 18 歳前の生活出来事の単純集計: 複数回答 (%)

学校を留年	警察の厄介になる	父母が家族問題が生じるほど酒や薬物を使用	親からの身体的虐待	いじめの経験
1.5	0.4	0.5	0.7	3.8

N = 739

2) 18 歳前の否定的な生活出来事の直近の経験年齢 (XIII-30)

5 種類の否定的な生活出来事それぞれについて、経験した年齢を質問した結果、いずれも 6~11 歳という小学校時代という人が半数以上を占めていた。

表 XIII-30 18 歳前の生活出来事の直近の経験年齢 (%)

生活出来事	直近の経験年齢			
	N	5 歳以下	6~11 歳	12~17 歳
学校を留年	11	0.0	63.6	36.4
警察に厄介	3	0.0	66.7	33.3
父母が家族問題が生じるほど酒や薬物を使用	4	25.0	50.0	25.0
親からの身体的虐待	5	20.0	80.0	0.0
いじめの経験	28	0.0	71.4	28.6

注) 無回答は除外して集計。

8. 最近の否定的な生活出来事

1) 最近の否定的な生活出来事の分布（表 XIII-31）

定年退職以外の強制退職など6種類の生活出来事それぞれについて、最近における経験の有無を質問した。3ヶ月以上の失業をした、ひったくりや強盗になったという2種類の否定的な生活出来事は、各6.2%が経験していた。家族が3ヶ月以上失業したについては、5.3%の人が経験していた。それ以外の種類の経験割合は5%未満であった。

表 XIII-31 最近の否定的な生活出来事の単純集計：複数回答（%）

定年退職以外の強制退職	させられた	三か月以上の失業した	家族の三か月以上の失業した	住まいや近隣環境が悪化した	ひったくりや強盗に遭った	詐欺に遭った
4.7	6.2	5.3	2.7	6.2	3.2	

N = 739

2) 最近の否定的な生活出来事の経験の時期（表 XIII-32）

最近の否定的な生活出来事について、直近の経験の時期を質問した。6種類の出来事のいずれも、5年以上前という人がほぼ70%以上を占めていた。

表 XIII-32 職場や地域における生活出来事の直近の経験の時期（%）

生活出来事	直近の経験の時期					
	N	5年以上前	3～5年未満	1～3年未満	1年未満	無回答
定年退職以外の強制退職	30	85.7	5.7	2.9	5.7	0.0
三か月以上の失業	46	75.6	8.9	6.7	8.9	0.0
家族の三か月以上の失業	39	69.2	10.3	10.3	10.3	0.0
住まいや近隣環境の悪化	20	80.0	0.0	5.0	15.0	0.0
ひったくりや強盗に遭った	46	88.9	8.9	0.0	2.2	2.2
詐欺に遭った	24	83.3	4.2	4.2	8.3	0.0

注) 無回答は除外して集計。

3) 最近の否定的な生活出来事と回答者の属性との関連 (表 XIII-33)

定年退職以外の強制退職をさせられた、3ヶ月以上の失業をした、といった生活出来事については、65-74歳では75歳以上と比較して、男性では女性と比較して。300万円未満の人では600万円以上の人と比較して、経験したという人の割合が高かった。

表 XIII-33 最近の生活出来事の経験のクロス表: 複数回答(%)

—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	定年退職以外の強制退職 させられた	三か月以上の失業した	家族の三か月以上の失業した	住まいや近隣環境が悪化した	ひったくりや強盗に遭った	詐欺に遭った
年齢階級	65-74 歳	377	6.4	9.0	6.1	4.2	6.6	4.2
	75 歳以上	360	3.1	3.3	4.4	1.1	5.8	2.2
性	男性	331	6.9	9.7	7.3	4.2	4.8	4.8
	女性	408	2.9	3.4	3.7	1.5	7.4	2.0
地域	墨田区	382	3.7	6.8	6.3	3.4	3.7	3.9
	世田谷区	357	5.9	5.6	4.2	2.0	9.0	2.5
収入階層	300 万円未満	293	6.5	9.2	6.8	2.7	4.8	4.8
	300-600 万円未満	200	4.5	5.0	6.5	1.5	5.0	1.0
	600 万円以上	76	2.6	3.9	1.3	3.9	11.8	2.6

注) 無回答は除外して集計。

9. 経済的困窮

1) 時期別経済的困窮の分布 (表 XIII-34)

18 歳くらいまで、18 歳から 35 歳まで、35 歳から 50 歳くらいまでの 3 つの時期における経済的困窮について質問した。「非常に苦労した」「やや苦労した」の合計は、18 歳くらいまでは 24.5%、18 歳から 35 歳までは 13.7%、35 歳から 50 歳までは 7.3%と、高齢になるほど改善傾向がみられた。

表 XIII-34 時期別経済的困窮の単純集計 (%)

	非常に苦労した	やや苦労した	あまり苦労していない	まったく苦労していない	わからない
18 歳くらいまで	7.4	17.1	30.2	42.5	3.8
18～35 歳くらいまで	2.6	11.1	39.1	46.8	0.4
35～50 歳くらいまで	0.9	6.4	38.7	53.6	0.4

N = 739

2) 時期別経済的困窮と回答者の特性との関連 (XIII-35)

年齢階級による差は、18 歳くらいと 18～35 歳まで大きいものの、35～50 歳においては経済的困窮の割合にほとんど差がなかった。収入階層による差が大きく、いずれの時期区分においても、収入階層が低い人ほど経済的困窮という人の割合が高かった。

表 XIII-35 時期別経済的困窮のクロス表 (%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		18 歳くらいまで	18～35 歳くらいまで	35～50 歳くらいまで
年齢階級	65-74 歳	15.9	9.6	6.6
	75 歳以上	34.7	17.8	7.8
性	男性	30.1	16.1	8.2
	女性	21.3	11.8	6.6
地域	墨田区	28.3	14.7	8.7
	世田谷区	22.0	12.7	5.9
収入階層	300 万円未満	32.0	18.2	11.7
	300-600 万円未満	23.9	10.5	4.5
	600 万円以上	7.9	6.6	2.6

注1)無回答は除外して集計。

注2)割合は、「非常に苦労した」「やや苦労した」と回答した人の割合の合計を示している。

10. 両親の社会階層

1) 両親の学歴の分布 (表 XIII-36、表 XIII-37)

父親については、尋常小学校、新制の小学校卒という人が 33.4%、次いで旧制高校、師範学校、高等師範学校以上卒という人が 21.2%と続いていた。母親については、尋常小学校、新制の小学校卒という人が 33.6%と最も多く、旧制中学校、新制高等学校卒という人が 22.6%と続いていた。

表 XIII-36 父親の学歴の単純集計(%)

学校に行かなかった	尋常小学校卒	新制の小学校卒	新制の中学校卒	高等小学校卒	実業学校(農業学校・商業学校)卒	新制の高等学校卒 旧制中学校卒	旧制高等学校卒	師範学校・高等師範学校以上卒	わからない
1.2	33.4	13.1	4.7	7.2	21.2	19.1			

N = 739

表 XIII-37 母親の学歴の単純集計(%)

学校に行かなかった	尋常小学校卒	新制の小学校卒	新制の中学校卒	高等小学校卒	実業学校(農業学校・商業学校)卒	新制の高等学校卒 旧制中学校卒	旧制高等学校卒	師範学校・高等師範学校以上卒	わからない
1.9	33.6	12.6	3.2	22.6	8.0	18.2			

N = 739

2) 両親の学歴と回答者の属性との関連（表 XIII-38、表 XIII-39）

父親の学歴に関しては、地域による差が大きかった。尋常小学校、新制小学校卒という人が墨田区では 55.3%、世田谷区では 27.0%、他方、旧制高校、師範学校、高等師範学校以上卒という人は世田谷区が 42.6%、墨田区が 10.3%であった。収入階層による差も大きかった。尋常小学校、新制小学校卒という人が 300 万円未満では 53.1%、600 万円以上では 31.9%、他方、旧制高校、師範学校、高等師範学校以上卒という人は 600 万円以上の人では 39.1%、300 万円未満の人では 18.1%であった。母親の学歴も父親の学歴とほぼ同様の傾向を示していた。

表 XIII-38 父親の学歴のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	学校に行かなかった	尋常小学校卒	新制の小学校卒	新制の中学校卒	実業学校（農業学校・商業学校）卒	旧制中学校卒	新制の高等学校卒	旧制高等学校卒	師範学校・高等師範学校以上卒
年齢階級	65-74 歳	307	0.3	35.8	19.5	5.5	9.4	29.3			
	75 歳以上	290	2.8	46.9	12.8	6.2	8.3	23.1			
性	男性	279	0.7	44.8	14.7	5.4	8.6	25.8			
	女性	319	2.2	38.2	17.6	6.3	9.1	26.6			
地域	墨田区	302	1.7	55.3	18.2	5.6	8.9	10.3			
	世田谷区	295	1.4	27.0	14.2	6.1	8.8	42.6			
収入階層	300 万円未満	226	2.7	53.1	14.6	7.1	4.4	18.1			
	300-600 万円未満	179	0.0	33.0	20.1	7.8	8.9	30.2			
	600 万円以上	69	0.0	31.9	8.7	5.8	14.5	39.1			

注) 無回答は除外して集計。

表 XIII-39 母親の学歴のクロス表(%) (年—年齢階級、性、地域、収入階層別)

		N	学校に行かなかった	尋常小学校卒	新制の小学校卒	高等小学校卒	新制の中学校卒	実業学校(農業学校・商業学校)卒	旧制中学校卒	新制の高等学校卒	旧制高等学校卒	師範学校・高等師範学校以上卒
年齢階級	65-74 歳	315	1.0	38.1	16.5	1.9	29.8	12.7				
	75 歳以上	289	3.8	43.9	14.2	6.2	25.3	6.6				
性	男性	275	1.8	44.0	13.5	2.9	26.5	11.3				
	女性	330	2.7	38.5	17.0	4.8	28.5	8.5				
地域	墨田区	307	3.3	53.4	17.3	2.6	19.2	4.2				
	世田谷区	298	1.3	28.2	13.4	5.4	36.2	15.4				
収入階層	300 万円未満	231	3.5	50.6	13.9	4.8	17.7	9.5				
	300-600 万円未満	186	1.6	36.6	17.2	2.7	33.3	8.6				
	600 万円以上	72	0.0	25.0	12.5	2.8	47.2	12.5				

注)無回答は除外して集計。

3) 両親の最長職の分布 (表 XIII-40、表 XIII-41)

父親については、技能・生産工程・労務職という人が 23.0%、次いで管理職という人が 15.2%と続いていた。母親については、専業主婦という人が 52.4%と最も多く、農林漁業職が 14.6%と続いていた。

表 XIII-40 父親の最長職の単純集計(%)

管理職	専門・技術職	事務職	販売職	サービス職	保安職	農林漁業職	輸送・機械運転従事者	技能・生産工程・労務職	その他	わからない
15.7	12.3	9.6	11.1	3.7	1.6	15.3	2.7	23.0	0.1	4.8

N = 739

表 XIII-41 母親の最長職の単純集計(%)

管理職	専門・技術職	事務職	販売職	サービス職	農林漁業職	輸送・機械運転従事者	技能・生産工程・労務職	その他	専業主婦	わからない
0.5	3.9	3.0	7.7	4.3	14.6	0.1	9.3	0.1	52.4	3.9

N = 739

3) 両親の最長職と回答者の属性との関連 (表 XIII-42、表 XIII-43)

父親の最長職に関しては、地域による差が大きかった。技能・生産工程・労務職という人が墨田区では 35.1%、世田谷区では 12.6%、他方、管理職という人は世田谷区が 24.6%、墨田区が 8.8%であった。収入階層による差も大きかった。技能・生産工程・労務職という人が 300 万円未満では 31.8%、600 万円以上では 14.7%、他方、管理職という人は 600 万円以上の人では 26.7%、300 万円未満の人では 12.3%であった。

母親の最長職については、地域と収入階層による差が大きく、専業主婦の割合が墨田区、300 万円未満では 45.2%、54.7%であったのに対し、世田谷区、600 万円以上では 64.2%、63.2%であった。

表 XIII-42 父親の最長職のクロス(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	管理職	専門・技術職	事務職	販売職	サービス職	保安職	農林漁業職	輸送・機械運転従事者	技能・生産工程・労務職	その他
年齢	65-74 歳	357	19.0	14.3	12.0	9.8	4.5	1.7	13.2	2.5	22.7	0.3
	75 歳以上	344	14.0	11.6	8.1	13.7	3.2	1.7	19.2	3.2	25.3	0.0
性	男性	312	15.1	13.5	10.9	10.3	5.4	2.6	14.7	2.2	25.0	0.3
	女性	391	17.6	12.5	9.5	12.8	2.6	1.0	17.1	3.3	23.5	0.0
地域	墨田区	362	8.8	8.6	8.0	13.0	3.9	1.4	18.0	3.3	35.1	0.0
	世田谷区	341	24.6	17.6	12.3	10.3	3.8	2.1	14.1	2.3	12.6	0.3
収入階層	300 万円未満	277	12.3	9.7	9.4	11.9	3.2	1.4	15.9	4.0	31.8	0.4
	300-600 万円未満	194	17.5	16.5	13.4	11.3	2.1	3.1	13.4	2.6	20.1	0.0
	600 万円以上	74	26.7	18.7	8.0	9.3	5.3	2.7	14.7	0.0	14.7	0.0

注) 無回答は除外して集計。

表 XIII-43 母親の最長職のクロス(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	管理職	専門・技術職	事務職	販売職	サービス職	農林漁業職	輸送・機械運転従事者	技能・生産工程・労務職	その他	専業主婦
年齢	65-74 歳	368	0.5	3.8	4.1	7.3	5.4	12.5	0.3	10.9	0.3	54.9
	75 歳以上	340	0.6	4.4	2.1	8.8	3.5	18.2	0.0	8.5	0.0	53.8
性	男性	316	0.3	4.4	2.5	4.7	3.8	12.3	0.0	9.8	0.0	62.0
	女性	394	0.8	3.8	3.6	10.7	5.1	17.5	0.3	9.6	0.3	48.5
地域	墨田区	363	0.6	3.3	2.8	9.9	4.7	18.7	0.0	14.9	0.0	45.2
	世田谷区	347	0.6	4.9	3.5	6.1	4.3	11.5	0.3	4.3	0.3	64.3
収入階層	300 万円未満	276	0.7	4.0	0.0	8.0	4.0	17.4	0.0	10.9	0.4	54.7
	300-600 万円未満	198	1.0	5.1	6.6	6.1	3.0	11.6	0.0	8.6	0.0	58.1
	600 万円以上	76	0.0	3.9	2.6	6.6	3.9	9.2	0.0	10.5	0.0	63.2

注)無回答は除外して集計。

XIV. 職業

1. 現職

1) 職業の有無

(1) 職表の有無の分布 (表 XIV-1)

仕事の有無は、「仕事あり」が 35.5%、「仕事なし」が 64.5%であった。

表 XIV-1 職業の有無の単純集計(%)

仕事あり	仕事なし
35.5	64.5

N=739

(2) 職業の有無と回答者の属性との関連 (表 XIV-2)

仕事の有無を、年齢階級別にみると 65-74 歳の人 が 46.2% で 75 歳以上の人の約 2 倍仕事をしていた。性別でみると、男性が 44.4% で、女性の 28.2% よりも仕事をしている割合が高かった。地域別では、墨田区で仕事をしている人が 38.7%、世田谷区では 31.9% と大きな違いはみられなかった。回答者の収入別にみると、600 万円以上で 64.5% と収入階層が高い人で仕事をしている割合が高かった。

表 XIV-2 職業の有無のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	仕事あり	仕事なし	計
年齢階級	65-74 歳	377	46.2	53.8	100.0
	75 歳以上	362	24.3	75.7	100.0
性	男性	331	44.4	55.6	100.0
	女性	408	28.2	71.8	100.0
地域	墨田区	382	38.7	61.3	100.0
	世田谷区	357	31.9	68.1	100.0
収入階層	300 万円未満	293	24.9	75.1	100.0
	300-600 万円未満	200	40.0	60.0	100.0
	600 万円以上	76	64.5	35.5	100.0

注) 無回答は除外して集計。

2) 雇用形態（現職）

（1）雇用形態の分布（表 XIV－3）

仕事をしている人の雇用形態は、パートが 26.7%と最も多く、次いで雇人なしの雇用事業者が 21.8%、経営者・役員が 17.6%となっていた。

表 XIV－3 雇用形態（現職）の単純集計（%）

経営者・役員	常時雇用	パート	派遣社員	自営 （雇人あり）	自営 （雇人なし）	家族従業者	内職
17.6	6.1	26.7	6.9	11.8	21.8	8.8	0.4

N=262

（2）雇用形態と回答者の属性との関連（表 XIV－4）

仕事をしている人の雇用形態を、年齢階級別にみると、65～74 歳ではパートが 28.7%で最も多く、75 歳以上では自営（雇人なし）が最も多かった。性別でも差がみられ、男性では自営（雇人なし）が最も多く、女性ではパートが最も多かった。収入階層別では、300 万円未満の人ではパートが最も多く、600 万円以上では経営者・役員が最も多かった。

表 XIV－4 雇用形態のクロス（%）—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	経営者・役員	常時雇用	パート	派遣社員	自営 （雇人あり）	自営 （雇人なし）	家族従業者	内職	計
年齢階級	65—74 歳	174	17.8	7.5	28.7	7.5	10.9	18.4	8.6	0.6	100.0
	75 歳以上	88	17.0	3.4	22.7	5.7	13.6	28.4	9.1	0.0	100.0
性	男性	147	21.8	8.8	21.8	8.2	13.6	25.9	0.0	0.0	100.1
	女性	115	12.2	2.6	33.0	5.2	9.6	16.5	20.0	0.9	100.0
地域	墨田区	148	17.6	4.7	25.7	6.8	10.1	22.3	12.8	0.0	100.0
	世田谷区	114	17.5	7.9	28.1	7.0	14.0	21.1	3.5	0.9	100.0
収入階層	300 万円未満	73	9.6	2.7	49.3	6.8	5.5	24.7	1.4	0.0	100.0
	300—600 万円未満	80	10.0	10.0	27.5	11.2	15.0	17.5	7.5	1.2	100.0
	600 万円以上	49	44.9	8.2	8.2	4.1	12.2	14.3	8.2	0.0	100.0

注)無回答は除外して集計

3) 職種（現職）

（1）職種の分布（表 XIV－5）

仕事をしている人の職種は、「技能/労務」が 27.5%と最も多く、ついで「サービス」が 22.9%であった。一方、「農林漁業」は 0.4%に止まっていた。

表 XIV－5 職種（現職）の単純集計（%）

管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	輸送/運転	技能/労務
12.6	11.1	8.0	13.4	22.9	1.1	0.4	3.1	27.5

N=262

（2）職種と回答者の属性との関連表（XIV－6）

仕事をしている人の職種を年齢階級別にみると、「事務」では 65－74 歳では 10.9%、75 歳以上では 2.3%となっており、65－74 歳の人が多かった。性別では、男性では「技能/労務」が多く、女性では「事務」「サービス」が多かった。地域別では、墨田区では「技能/労務」が多く、世田谷区では「専門技術」が多かった。収入階層別では、300 万円未満では「技能/労務」が多かったが、600 万以上では「管理」「事務」が多かった。

表 XIV－6 職種（現職）のクロス表（%）—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	輸送/運転	技能/労務	計
年齢階級	65-74 歳	174	13.8	9.8	10.9	12.6	23.6	1.1	0.6	3.4	24.1	100.0
	75 歳以上	88	10.2	13.6	2.3	14.8	21.6	1.1	0.0	2.3	34.1	100.0
性	男性	147	14.3	14.3	2.7	10.2	17.0	2.0	0.7	5.4	33.3	100.0
	女性	115	10.4	7.0	14.8	17.4	30.4	0.0	0.0	0.0	20.0	100.0
地域	墨田区	148	10.8	4.7	9.5	12.2	23.0	2.0	0.0	3.4	34.5	100.0
	世田谷区	114	14.9	19.3	6.1	14.9	22.8	0.0	0.9	2.6	18.4	100.0
収入階層	300 万円未満	73	6.8	8.2	4.1	11.0	23.3	1.4	0.0	4.1	41.1	100.0
	300-600 万円未満	80	6.2	12.5	7.5	12.5	25.0	2.5	1.2	5.0	27.5	100.0
	600 万円以上	49	32.7	12.2	12.2	18.4	10.2	0.0	0.0	2.0	12.2	100.0

注)無回答は除外して集計

4) 事業所規模（現職）

（1）事業所規模の分布（表 XIV－7）

仕事をしている人が働いている事業所の規模では、2－4 人の事業所が 34.5%と最も多く、次いで 1 人の 21.8%で、1－4 人の従業員数の事業所が半数以上を占めていた。

表 XIV－7 事業所規模（現職）の単純集計（%）

1 人	2～4 人	5～9 人	10～29 人	30～99 人	100～299 人	300～499 人	500～999 人	1000 人以上	官公庁	わからない／無回答
21.8	34.4	9.2	7.6	5.3	5.3	1.5	1.5	5.3	0.8	7.3

N=262

（2）事業所規模と回答者の属性との関連（表 XIV－8）

仕事をしている人が働いている事業所の規模を年齢階級別にみると、年齢階級に関係なく、ほとんどの人が 1 人から 299 人のいわゆる中小企業に勤めていた。地域別にみると、300 人以上の比較的大規模の事業所に勤務する人が、世田谷で 18.9%と墨田区の 2.9%よりも多かった。収入階層別では、勤務する事業所規模の収入階層による大きな違いはみられなかった。

表 XIV－8 職種（現職）のクロス表（%）—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	1-299 人	300 人以上及び官公庁	計
年齢	65-74 歳	162	88.3	11.7	100.0
	75 歳以上	81	93.8	6.2	100.0
性	男性	138	89.9	10.1	100.0
	女性	105	90.5	9.5	100.0
地域	墨田区	137	97.1	2.9	100.0
	世田谷区	106	81.1	18.9	100.0
収入階層	300 万円未満	61	88.5	11.5	100.0
	300-600 万円未満	76	86.8	13.2	100.0
	600 万円以上	48	87.5	12.5	100.0

注1) 1-299 人を中小企業、300 人以上をそれ以外として集計した。

注2) 無回答は除外して集計した。

2. 最長職

1) 雇用形態（最長職）

（1）雇用形態（最長職）の分布（表 XIV－9）

回答した人が最も長く勤めた時の雇用形態としては、「常時雇用」が 46.1%と最も多く、「自営（雇人あり）」が 11.9%、「自営（雇人なし）」が 9.7%と続いていた。

表 XIV－9 雇用形態（最長職）の単純集計（%）

経営者・役員	常時雇用	パート	派遣社員	自営（雇人あり）	自営（雇人なし）	家族従業者	内職	就職経験なし	無回答
7.4	46.1	8.5	2.2	11.9	9.7	7.7	0.3	6.0	0.1

N=739

（2）雇用形態（最長職）と回答者の属性との関連（表 XIV－10）

最も長く勤めた時の雇用形態を年齢階級別にみると、65—74 歳、75 歳以上の人ともに「常時雇用」が最も多かった。性別にみると、男性では「経営者・役員」「常時雇用」「自営（雇人あり）」が多く、女性では「パート」「家族従事者」「就職経験なし」が多かった。地域別にみると、墨田区では「自営（雇人あり）」「家族従事者」が多く、世田谷区では「常時雇用」が多かった。

表 XIV－10 雇用形態（最長職）のクロス表（%）—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	経営者・役員	常時雇用	パート	派遣社員	自営（雇人あり）	自営（雇人なし）	家族従業者	内職	就職経験なし	計
年齢階級	65—74 歳	377	8.0	52.0	9.5	2.7	9.0	8.8	6.4	0.5	3.2	100.0
	75 歳以上	361	6.9	40.2	7.5	1.7	15.0	10.8	9.1	0.0	8.9	100.0
性	男性	331	12.4	55.6	0.6	1.5	17.8	11.5	0.6	0.0	0.0	100.0
	女性	407	3.4	38.6	15.0	2.7	7.1	8.4	13.5	0.5	10.8	100.0
地域	墨田区	382	7.9	39.5	9.2	1.3	17.0	9.7	11.0	0.3	4.2	100.0
	世田谷区	356	7.0	53.4	7.9	3.1	6.5	9.8	4.2	0.3	7.9	100.0
収入階層	300 万円未満	293	3.8	50.2	11.3	3.1	11.6	8.5	8.2	0.0	3.4	100.0
	300—600 万円未満	199	9.5	53.3	7.5	1.0	9.0	6.0	7.5	0.5	5.5	100.0
	600 万円以上	76	19.7	32.9	6.6	1.3	10.5	10.5	9.2	1.3	7.9	100.0

注)無回答は除外して集計。

2) 職種（最長職）

（1）職種（最長職）の分布（表 XIV－11）

回答した人が最も長く勤めた時の職種は、「事務」が 22.6%と最も多く、次いで「技能/労務」が 22.8%と続いていた。

表 XIV－11 雇用形態（最長職）の単純集計（%）

管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	輸送／運輸	技能／労務
12.1	13.1	22.6	14.7	12.1	0.4	0.9	1.3	22.8

N=694

（2）職種（最長職）と回答者の属性との関連（表 XIV－12）

最も長く勤めた時の職種で性差が著しかったのは、「管理」「事務」「技能/労務」で、男性は女性と比較して「管理」「技能/労務」の割合が多かった。地域別では「管理」「専門技術」「技能/労務」で差が大きく、世田谷区では墨田区と比較して「管理」「専門技術」の割合が高かった。収入階層別では、「管理」「販売」「サービス」「技能/労務」の差が大きく、収入階層が高くなるに伴って「管理」「販売」の割合が増加し、「サービス」「技能/労務」の割合が減少した。

表 XIV－12 職種（最長職）のクロス表（%）—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	輸送／運輸	技能／労務	計
年齢階級	65-74 歳	365	14.8	13.2	24.7	17.3	12.3	0.3	0.0	0.8	16.7	100.0
	75 歳以上	329	9.1	13.1	20.4	11.9	11.9	0.6	1.8	1.8	29.5	100.0
性	男性	331	22.4	14.2	10.9	11.5	10.6	0.9	0.9	2.1	26.6	100.0
	女性	363	2.8	12.1	33.3	17.6	13.5	0.0	0.8	0.6	19.3	100.0
地域	墨田区	366	8.7	7.1	20.8	14.2	10.7	0.3	0.8	2.2	35.2	100.0
	世田谷区	328	15.9	19.8	24.7	15.2	13.7	0.6	0.9	0.3	8.8	100.0
収入階層	300 万円未満	283	4.9	11.0	24.7	13.1	12.0	0.7	1.1	1.8	30.7	100.0
	300-600 万円未満	188	19.1	16.5	22.9	14.4	8.5	0.5	0.5	1.6	16.0	100.0
	600 万円以上	70	27.1	12.9	21.4	20.0	4.3	0.0	2.9	0.0	11.4	100.0

注）無回答は除外して集計。

3) 事業所規模（最長職）

（1）事業所規模の分布（表 XIV-13）

最も長く勤めた時の事業所は、「2～4 人」が 23.6%と最も多く、次いで「1,000 人以上」が 16.8%であった。

表 XIV-13 事業所規模（最長職）の単純集計（%）

一人	二 ～ 四人	五 ～ 九人	一 〇 ～ 二九人	三 〇 ～ 九九人	一 〇〇 ～ 二九九人	三 〇〇 ～ 四九九人	五 〇〇 ～ 九九九人	一 〇〇〇人以上	官 公 庁	無 回 答 わ か ら な い
8.5	23.5	9.2	10.8	9.2	6.1	2.2	2.3	16.7	5.3	6.2

N=694

（2）事業所規模と回答者の属性との関連（表 XIV-14）

最も長く勤めた時の事業所規模を年齢階級別にみると、「300 人以上／官公庁」の割合は 65-74 歳の人で 32.4%と、75 歳以上の人で 23.6%よりも多かった。性別では、「300 人以上／官公庁」の割合が男性で 32.0%と、女性の 24.5%よりも多かった。地域別では、「300 人以上／官公庁」が世田谷区で 41.2%、墨田区で 16.6%とかなりの違いがみられた。収入階層別では、「300 人以上／官公庁」の割合が、300-600 万円の人で他の収入階層の人よりも多かった。

表 XIV-14 事業所規模（最長職）のクロス表（%）—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	1-299 人	300 人以上及 び官公庁	計
年齢	65-74 歳	346	67.6	32.4	100.0
	75 歳以上	305	76.4	23.6	100.0
性	男性	322	68.0	32.0	100.0
	女性	329	75.4	24.6	100.0
地域	墨田区	343	83.4	16.6	100.0
	世田谷区	308	58.8	41.2	100.0
収入階 層	300 万円未満	260	73.5	26.5	100.0
	300-600 万円未満	181	59.1	40.9	100.0
	600 万円以上	68	75.0	25.0	100.0

注)無回答は除外して集計

4) 就労期間（最長職）

（1）就労期間の分布（表 XIV-15）

最も長く勤めた仕事の就労期間は、「30 年以上」が 53.0%と最も多かった。

表 XIV-15 就労期間（最長職）の単純集計（%）

10 年未満	10～20 年 未満	20～30 年 未満	30 年以上	無回答
14.1	16.0	16.1	53.0	0.7

N=694

（2）就労期間と回答者の属性との関連（表 XIV-16）

最も長く勤めた仕事の就労期間を年齢階級別にみると、「30 年以上」はいずれの年齢階級でも最も多かったものの、その割合は 75 歳以上では 58.8%、65-74 歳では 48.6%と 10 ポイントの差がみられた。性別でみると、男性で「30 年以上」が 75.1%と多く、女性では「10 年未満」と「10-20 年未満」が合わせて半数を占めた。地域別、収入階層別では大きな差はみられなかった。

表 XIV-16 事業所規模（最長職）のクロス（%）—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	10 年 未満	10～20 年未 満	20-30 年 未満	30 年以上	計
年齢階級	65-74 歳	364	10.7	19.8	20.9	48.6	100.0
	75 歳以上	325	18.2	12.0	11.1	58.8	100.0
性	男性	329	2.4	8.2	14.3	75.1	100.0
	女性	360	25.0	23.3	18.1	33.6	100.0
地域	墨田区	365	11.8	14.0	17.0	57.3	100.0
	世田谷区	324	17.0	18.5	15.4	49.1	100.0
収入階層	300 万円未満	283	15.9	18.0	16.3	49.8	100.0
	300-600 万円未満	187	12.3	11.8	17.1	58.8	100.0
	600 万円以上	70	14.1	15.7	16.5	53.7	100.0

注)無回答は除外して集計

3. 失業の経験

1) 失業経験の有無

(1) 失業経験の有無の分布 (表 XIV-17)

これまで失業を経験したことがある人は 6.4%であった。

表 XIV-17 失職経験の単純集計(%)

ある	ない	わからない／無回答
6.4	87.1	6.5

N=739

(2) 失業経験時の年齢階級の分布 (表 XIV-18)

失業経験のある人について、失業経験時の年齢を質問した。複数回ある場合には、すべての回数について質問した。「31-64 歳」が 74.5%と最もおおく、次いで「65 歳以上」が 19.1%であった。

表 XIV-18 失業時年齢の単純集計(%):複数回答

30 歳以下	31-64 歳	65 歳以上
10.6	74.5	19.1

N=47

(3) 失業経験の有無と回答者の属性との関連 (表 XIV-19)

失業の経験を収入階層別にみると、経験ありの人の割合は、300 万円未満の人では 10.3%、300—600 万円未満では 4.3%、600 万円以上では 2.9%であり、収入階層が上がるに伴って減少した。年齢階級、性、地域による差は大きくなかった。

表 XIV-19 失業経験のクロス表(%)-年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	ある	ない	計
年齢階級	65-74 歳	364	8.8	91.2	100.0
	75 歳以上	327	4.6	95.4	100.0
性	男性	330	8.5	91.5	100.0
	女性	361	5.3	94.7	100.0
地域	墨田区	364	6.6	93.4	100.0
	世田谷区	327	7.0	93.0	100.0
収入階層	300 万円未満	281	10.3	89.7	100.0
	300—600 万円未満	187	4.3	95.7	100.0
	600 万円以上	70	2.9	97.1	100.0

注)無回答は除外して集計

XIV. 社会階層

1. 学歴

1) 学歴の分布（表 XV-1）

高等学校卒が最も多く、41.8%を占め、次いで大学卒が 22.5%であった。

表 XV-1 学歴の単純集計(%)

中学校卒	高等学校卒	専門学校・専修学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	無回答
20.0	41.8	5.4	8.7	22.5	1.4	0.3

N = 739

2) 学歴の分布と回答者の属性との関連（表 XV-2）

中学校卒の割合が高いのは、年齢階級では 75 歳以上、地域別では墨田区、収入階層では 300 万円未満であった。大卒の割合が高いのは、年齢階級では 65—74 歳、性別では男性、地域では世田谷区、収入階層では 600 万円以上であった。

表 XV-2 学歴のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	中学校卒	高等学校卒	専門学校・専修学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	計
年齢階級	65-74 歳	377	13.0	39.8	6.4	9.3	30.0	1.6	100.0
	75 歳以上	358	27.7	44.1	4.2	8.1	14.8	1.1	100.0
性	男性	330	18.8	34.8	3.3	3.0	38.2	1.8	100.0
	女性	407	21.1	47.7	7.1	13.3	9.8	1.0	100.0
地域	墨田区	381	28.3	49.3	6.8	4.7	9.7	1.0	100.0
	世田谷区	356	11.2	34.0	3.9	12.9	36.2	1.7	100.0
収入階層	300 万円未満	293	26.3	42.3	5.8	6.5	18.1	1.0	100.0
	300-600 万円未満	200	13.0	41.0	5.0	11.0	29.0	1.0	100.0
	600 万円以上	76	5.3	40.8	2.6	10.5	36.8	3.9	100.0

注) 無回答は除外して集計。

2. 住居

1) 住居の分布（表 XV-3）

持家戸建が 68.9%と最も多く、民間借家アパートが 9.7%、分譲マンションが 9.1%と続いた。

表 XV-3 住居の単純集計(%)

持家戸建	持家戸建借地	分譲マンション	所有ビル	公営住宅	公社・公団	民間借家戸建	民間借家アパート	無回答
69.8	4.2	9.1	2.6	2.3	0.8	1.2	9.7	0.3

N = 739

2) 学歴の分布と回答者の属性との関連（表 XV-4）

持家戸建の割合が高いのは、地域別では墨田区、収入階層では 300—600 万円未満、600 万円以上であった。民間借家アパートの割合が高いのは、年齢階級では 65—74 歳、性別では男性、収入階層では 300 万円未満であった。

表 XV-4 住居のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	持家戸建	持家戸建借地	分譲マンション	所有ビル	公営住宅	公社・公団	民間借家戸建	民間借家アパート	計
年齢階級	65-74 歳	377	69.0	2.9	10.1	2.7	0.8	0.5	1.6	12.5	100.0
	75 歳以上	358	70.9	5.6	8.1	2.5	3.9	1.1	0.8	7.0	100.0
性	男性	330	66.1	5.2	10.0	1.2	2.4	0.6	0.6	13.9	100.0
	女性	407	73.2	3.4	8.4	3.7	2.2	1.0	1.7	6.4	100.0
地域	墨田区	381	64.6	6.0	9.2	2.6	2.9	1.6	1.8	11.3	100.0
	世田谷区	356	75.8	2.2	9.0	2.5	1.7	0.0	0.6	8.1	100.0
収入階層	300 万円未満	293	61.4	6.8	9.2	0.0	4.4	0.7	1.4	16.0	100.0
	300-600 万円未満	200	73.5	1.5	11.0	3.5	1.0	1.5	2.5	5.5	100.0
	600 万円以上	76	76.3	3.9	10.5	7.9	0.0	0.0	0.0	1.3	100.0

注)無回答は除外して集計。

3. 相対的貧困

1) 経済的理由による家電・ガス器具の未保有

(1) 経済的な理由による家電・ガス器具の未保有の分布 (表 XV-5)

経済的な理由によって、日常生活を営むために必要な家電などを持っていない人がどのくらいいるかを調べた。いずれの項目とも未保有の割合は1%未満であった。最も未保有の割合が高い項目は電子レンジで、0.7%であった。

表 XV-5 経済的な理由による家電・ガス器具の未保有の単純集計(%)

テレビ	冷蔵庫	エアコン	電子レンジ	湯沸かし器	無回答
0.3	0.1	0.5	0.7	0.5	0.4

N = 739

(2) 経済的理由による家電・ガス器具の未保有と回答者の属性との関連 (表 XV-6)

経済的な理由によって未保有の家電・ガス器具が1つ以上あるという人の割合は、収入階層による差が大きく、300万円未満では2.4%であったのに対し、600万円以上では0.0%であった。

表 XV-6 経済的な理由による家電の未保有割合(1つ以上ある人)のクロス表(%)

—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	1つ以上ある人の割合
年齢階級	65-74 歳	376	0.8
	75 歳以上	358	1.4
性	男性	330	1.5
	女性	406	0.7
地域	墨田区	381	1.3
	世田谷区	355	0.8
収入階層	300 万円未満	293	2.4
	300-600 万円未満	200	0.0
	600 万円以上	76	0.0

注)無回答は除外して集計。

2) 住宅設備の不備

(1) 住宅設備の不備の分布 (表 XV-7)

一般的に必要なとされる住宅設備、たとえば専用のトイレなどの設備がないなど、住宅設備の不備について質問した。いずれの設備項目とも、ないという人の割合は3%未満であった。

表 XV-7 住宅設備の不備の単純集計(%)

専用 トイレがない	専用 の台所がない	専用 の浴室がない	寝室と 独立したダイニングがない	無 回 答
1.4	0.7	2.4	2.7	0.3

N = 739

(2) 住宅設備の不備と回答者の属性との関連 (表 XV-8)

住宅設備の不備が1箇所以上あるという人の割合は、性別では男性、地域では墨田区、収入階層では300万円未満という人に多かった。

表 XV-8 住宅環境の不備(1箇所以上ある人)のクロス表(%)
—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	1箇所以上ある人の割合
年齢階級	65-74 歳	377	4.8
	75 歳以上	358	4.5
性	男性	330	6.7
	女性	407	2.9
地域	墨田区	381	6.3
	世田谷区	356	2.8
収入階層	300 万円未満	293	5.8
	300-600 万円未満	200	3.0
	600 万円以上	76	2.6

注)無回答は除外して集計。

3) 経済的な理由による生活上の制約

(1) 経済的理由による生活上の制約の分布 (表 XV-9)

経済的理由による電話がないなど生活上の制約の有無について質問した。いずれの項目とも、ないという人の割合は1%未満であった。

表 XV-9 経済的な理由による生活上の制約の単純集計(%)

電話がない／ 止められている	礼服をもっていない	この一年に、 親戚の慶弔を欠席	この一年に、 電気・ガスを止められた	無回答
0.8	0.4	0.7	0.0	0.4

N = 739

(2) 経済的理由による生活上の制約と回答者の属性との関連 (表 XV-10)

生活上の制約が1項目以上あるという人の割合は、性別では男性、収入階層では300万円未満という人に多かった。

表 XV-10 経済的な理由による生活上の制約(1つ以上ある人)のクロス表(%)
—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	1つ以上ある人の割合
年齢階級	65-74 歳	376	1.9
	75 歳以上	358	1.1
性	男性	330	2.1
	女性	406	1.0
地域	墨田区	381	1.8
	世田谷区	355	1.1
収入階層	300 万円未満	293	2.7
	300-600 万円未満	200	0.5
	600 万円以上	76	0.0

注) 無回答は除外して集計。

4. 経済的困窮感

1) 経済的困窮の分布 (表 XV-11)

回答者が家計の状況について主観的にどの程度苦勞していると感じているかを質問した。「非常に苦勞している」「やや苦勞している」は合計で 14.0%であった。

表 XV-11 経済的困窮の単純集計(%)

非常に苦勞している	やや苦勞している	どちらともいえない	あまり苦勞していない	まったく苦勞していない	わからない
2.6	11.4	16.2	35.5	31.8	2.5

N = 739

2) 経済的困窮と回答者の属性との関連 (表 XV-12)

「非常に苦勞している」「やや苦勞している」という人の割合は、地域では墨田区、収入階層では 300 万円未満という人に多かった。

表 XV-12 経済的困窮のクロス表(%)—年齢階級、性、地域、収入階層別

		N	非常に苦勞している	やや苦勞している	どちらともいえない	あまり苦勞していない	まったく苦勞していない	計
年齢階級	65-74 歳	372	3.2	12.1	19.1	35.5	30.1	100.0
	75 歳以上	346	1.7	11.3	14.2	37.6	35.3	100.0
性	男性	325	3.1	12.9	16.9	37.2	29.8	100.0
	女性	395	2.3	10.6	16.5	35.7	34.9	100.0
地域	墨田区	373	2.9	13.9	17.2	39.7	26.3	100.0
	世田谷区	347	2.3	9.2	16.1	32.9	39.5	100.0
収入階層	300 万円未満	291	4.8	15.1	20.6	36.4	23.0	100.0
	300-600 万円未満	199	1.0	6.5	15.1	39.7	37.7	100.0
	600 万円以上	76	0.0	3.9	6.6	32.9	56.6	100.0

注) 無回答は除外して集計。

5. 夫婦合わせた年収

1) 夫婦合わせた年収の分布 (表 XV-13)

夫婦合わせた年収は、「180-300 万円未満」が 21.2%と最も多かった。次いで、「300-400 万円未満」「400-500 万円未満」がそれぞれ 13.4%、8.9%と続いた。

表 XV-13 夫婦合わせた年収の単純集計(%)

二〇〇万円未満	二〇〇～一八〇万円未満	一八〇～一三〇〇万円未満	三〇〇～四〇〇万円未満	四〇〇～五〇〇万円未満	五〇〇～六〇〇万円未満	六〇〇～八〇〇万円未満	八〇〇～一〇〇〇万円未満	一〇〇〇万円以上	わからない
9.6	8.8	21.2	13.4	8.9	4.7	3.8	3.1	3.4	23.0

N = 739

2) 夫婦合わせた年収と回答者の属性との関連(表 XV-14)

300 万円未満の収入の人は、年齢階級では 75 歳以上、性では女性、地域では墨田区が多かった。

表 XV-14 夫婦合わせた年収のクロス表(%)—年齢階級、性、地域別

		N	300 万円未満	300-600 万円未満	600 万円以上
年齢階級	65-74 歳	296	45.6	35.8	18.6
	75 歳以上	271	57.6	34.7	7.7
性	男性	272	47.1	39.3	13.6
	女性	297	55.6	31.3	13.1
地域	墨田区	287	61.0	28.9	10.1
	世田谷区	282	41.8	41.5	16.7

注)無回答は除外して集計。

6. 預貯金

1) 預貯金の分布 (表 XV-15)

預貯金は、「3,000 万円以上」が 13.3%と最も多かった。次いで、「1,000—3,000 万円未満」「100—500 万円未満」がそれぞれ 12.5%、9.6%と続いた。

表 XV-15 預貯金の単純集計(%)

一〇〇万円未満	一〇〇〃五〇〇万円未満	五〇〇〃一〇〇〇万円未満	一〇〇〇〃三〇〇〇万円未満	三〇〇〇万円以上	わからない
5.8	9.6	8.3	12.6	13.3	50.5

N = 739

2) 預貯金と回答者の属性との関連(表 XV-16)

100 万円未満の預貯金の人、性では男性、地域では墨田区、収入階層では 300 万円未満の人が多かった。

表 XV-16 預貯金のクロス表(%)

		N	100万円未満	100-500万円未満	500-1000万円以上	1000万円以上
年齢階級	65-74 歳	206	11.7	19.4	17.0	51.9
	75 歳以上	159	11.9	19.5	16.4	52.2
性	男性	182	8.8	22.0	15.9	53.3
	女性	194	14.7	16.8	17.4	51.1
地域	墨田区	166	15.1	22.9	19.9	42.2
	世田谷区	200	9.0	16.5	14.0	60.5
収入階層	300 万円未満	156	19.2	26.3	20.5	34.0
	300-600 万円未満	144	6.9	16.7	16.7	59.7
	600 万円以上	54	1.9	5.6	5.6	87.0

注)無回答は除外して集計。

3 部 資料

XVI. 單純集計結果

(単位： %、N=739)

Q1 あなたの性別は

男性	女性
44.8	55.2

Q2 あなたの生年月日をうかがいます。→年齢階級を算出。

65-74 歳未満	75-84 歳未満	85 歳以上	無回答
51.0	38.3	10.4	0.3

Q3 現在、あなたは、収入が得られる仕事をしていますか。

仕事あり	仕事なし
35.5	64.5

↓
SQ1 あなたの主な仕事は次のどれにあたりますか。

経営者・役員	常時雇用	パート	派遣社員	自営 (雇人あり)	自営 (雇人なし)	家族従業者	内職
17.6	6.1	26.7	6.9	11.8	21.8	8.8	0.4

SQ2 あなたのお仕事の種類は大きく分けて次のどれにあたりますか。

管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	輸送/運転	技能/労務
12.6	11.1	8.0	13.4	22.9	1.1	0.4	3.1	27.5

SQ3 パートやアルバイトの人数を除いた従業員(働いている人)は、会社全体(支店・営業所も含む)で何人くらいですか。

1 人	2~4 人	5~9 人	10~ 29 人	30~ 99 人	100~ 299 人	300~ 499 人	500~ 999 人	1000 人 以上	官公庁	わからない/ 無回答
21.8	34.4	9.2	7.6	5.3	5.3	1.5	1.5	5.3	0.8	7.3

Q4 初めてついた仕事から現在までの間で、最も長くついていた仕事はどれにあたりますか。

経営者・役員	常時雇用	パート	派遣社員	自営 (雇人あり)	自営 (雇人なし)	家族従業者	内職	就職経験なし	無回答
7.4	46.1	8.5	2.2	11.9	9.7	7.7	0.3	6.0	0.1

↓
SQ1 そのお仕事の種類は大きく分けて次のどれにあたりますか。

管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	輸送/運転	技能/労務
12.1	13.1	22.6	14.7	12.1	0.4	0.9	1.3	22.8

SQ2 パートやアルバイトの人数を除いた従業員(働いている人)は、会社全体(支店・営業所も含む)で何人くらいですか。

1 人	2~4 人	5~9 人	10~ 29 人	30~ 99 人	100~ 299 人	300~ 499 人	500~ 999 人	1000 人 以上	官公庁	わからない/ 無回答
8.5	23.5	9.2	10.8	9.2	6.1	2.2	2.3	16.7	5.3	6.2

SQ3 もっとも長くしていた仕事にはいつからいつまで就いていましたか。

10 年未満	10～20 年 未満	20～30 年 未満	30 年以上	無回答
14.1	16.0	16.1	53.0	0.7

Q5 あなたは定年退職以外の理由で、強制的に仕事を失ったことがありますか。

ある	ない	わからない／無回答
6.4	87.1	6.5



SQ その出来事を経験されたのは、あなたが何歳のときでしたか。複数回ある場合は、経験した時の年齢をすべてお聞かせください。(複数回答)

30 歳以下	31-64 歳	65 歳以上
10.6	74.5	19.1

Q6 あなたが最後に行った学校は次のどれにあたりますか。中退も卒業と同じ扱いで答えてください。

中学校卒	高等学校卒	専門学校・ 専修学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	無回答
20.0	41.8	5.4	8.7	22.5	1.4	0.3

Q7 次に、あなたのご家族のことについてうかがいます。あなたは、現在、結婚していますか。

結婚している	別居した	離婚した	死別した	未婚
63.2	0.1	6.2	24.2	6.2



SQ1 結婚したのはいつですか。 → 結婚年齢を算出

16～19 歳	20～24 歳	25～34 歳	35 歳以上	わからない・ 無回答
3.6	31.4	56.8	6.9	1.2

SQ2 配偶者の方の生年をお答えください。 → 配偶者の結婚時年齢を算出。

16～19 歳	20～24 歳	25～34 歳	35 歳以上	わからない／無回答
1.7	25.8	62.2	7.1	3.2

SQ3 配偶者の方が最後に行った学校は次のどれにあたりますか。

中学校卒	高等学校卒	専門学校・ 専修学校卒	短大・高専卒	大学卒	大学院卒	無回答
19.2	33.9	4.3	7.6	28.1	2.6	2.1

SQ4 配偶者の方が最も長く就いていたお仕事の種類は大きく分けて次のどれにあたりますか。

管理	専門技術	事務	販売	サービス	保安	輸送/運 転	技能/労 務	その他	専業主婦	わからない、 ／無回答
14.4	9.2	17.9	11.5	10.1	0.6	2.7	19.5	0.1	12.6	1.3

Q8 現在、一緒に住んでいるご家族は、あなたを含めて何人ですか。

1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人以上	無回答
21.9	45.3	21.2	5.5	2.2	2.2	1.5	0.1



Q9 それでは、一緒に住んでいる人のあなたとの続き柄、年齢、性別を順におっしゃってください。

配偶者	子ども	子どもの配偶者	孫	父母	兄弟姉妹	孫の配偶者	配偶者の父母	その他
78.5	48.6	10.8	10.1	3.0	2.4	0.2	0.2	1.9

Q10 あなたのお子さんについてうかがいます。離れて暮らしているお子さんは全部で何人いますか。

0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	無回答
18.3	27.6	38.4	13.1	1.9	0.4	0.1	0.1

Q11 あなたの親戚づきあいについてうかがいます。あなたには、日頃から親しくしているご自分や配偶者のきょうだい、いとこ、孫などの親戚の方はいますか。

0～2 人	3～5 人	6～10 人	11 人以上	無回答
24.6	24.4	29.2	20.6	1.2

Q12 別居のお子さんやご親戚についておたずねします。合計して何回くらい一緒に出かけたり、お互いの家を訪ねたりしますか。

週に 2 回以上	週に 1 回	1 カ月に 2,3 回	1 カ月に 1 回	1 カ月に 1 回未満	まったく ない	別居子/ 親戚なし	わからない、 無回答
16.0	10.1	13.0	16.5	32.7	8.7	2.6	0.4

Q13 あなたには、お互いに家を行き来するような間柄のご近所の方はいますか。(いる場合)何人くらいいますか。

0 人	1～5 人	6 人以上	無回答
45.1	40.5	13.9	0.5

Q14 あなたの友人づきあいについてうかがいます。あなたには、日頃から親しくしている、友人の方はいますか。(いる場合)何人くらいいますか。

0 人	1～3 人	4～6 人	7～10 人	11 人以上	無回答
18.1	26.5	22.7	19.2	12.6	0.8

Q15 お友達やご近所の方とは、何回くらい一緒に出かけたり、お互いの家を訪ねたりしますか。訪ねてきてもらうことも含みます。

週に 2 回以上	週に 1 回	1 カ月に 2,3 回	1 カ月に 1 回	1 カ月に 1 回未満	まったく ない	わからない 無回答
13.1	13.8	16.0	12.2	21.1	22.5	1.4

Q16 あなたは、週に何日くらい外出しますか。通勤、通院、買い物など、外出の目的は問いません。

ほぼ毎日	週に 4,5 日	週に 2,3 日	週に 1 日	月に 1,2 回	それより 少ない	わからない、 無回答
59.8	15.7	16.0	4.2	2.2	1.9	0.3

Q17 あなたは、町内会、自治会、老人クラブ、商工会、宗教のグループ、またはその他のクラブやグループに入っていますか。(入っている場合)全部でいくつ入っていますか。

0 個	1 個	2 個	3 個以上	無回答
42.8	29.9	12.4	14.6	0.3

↓
SQ そのようなグループの会合に、何回くらい、出かけますか。

週に 2 回以上	週に 1 回	1 カ月に 2,3 回	1 カ月に 1 回	1 カ月に 1 回未満	まったく ない	わからない、 無回答
20.2	15.2	16.4	14.0	17.8	15.9	0.5

Q18 次に健康についてうかがいます。全般的にいて、あなたの現在の健康状態はいかがですか。

よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
30.2	29.5	23.5	11.8	3.1	1.9

Q19 あなたは、現在、次のような病気やこれらの病気の後遺症をおもちですか。

	あり	なし	わからない／無回答
(1) 心臓病	9.3	90.5	0.1
(2) 関節炎、リウマチ、神経痛	10.0	90.0	0.0
(3) 高血圧	39.8	60.1	0.1
(4) 糖尿病	11.8	88.1	0.1
(5) 脳卒中、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血	4.9	94.9	0.3
(6) 白内障、緑内障、その他の目の病気	17.6	82.0	0.4
(7) ガン	6.8	92.7	0.5
(8) 気管支炎、肺気腫、ぜんそく、結核、 その他の慢性呼吸器の病気	5.7	94.2	0.1
(9) 慢性の腰痛	18.4	81.3	0.3
(10) 骨折、骨のひび	5.8	94.2	0.0

Q20 お口(歯や歯ぐき、入れ歯)の健康状態はいかがですか。

とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	わからない／無回答
21.8	52.8	17.1	8.1	0.3

Q21 ご自身の歯の状態はいかがですか。

20 本以上	10～19 本	1～9 本	0 本	わからない
44.2	25.8	18.9	10.0	0.8

Q22 どのくらいの硬さのものまで、食べることが出来ますか。

ど ん な も の を か ん で 食 べ る	か み 難 い も の も あ る	か ん で 食 べ ら れ る も の は	あ ま り か め な い の で	食 べ 物 が 限 ら れ る	ほ と ん ど か め な い	わ か ら な い ／ 無 回 答
64.7	30.2	4.3	0.5	0.0		

Q23 次のそれぞれについて、この1週間のことを考えながら「はい」「いいえ」でお答えください。

	はい	いいえ	無回答／ わからない
(1) 自分の生活に満足していますか	87.0	10.1	2.8
(2) これまでやってきたことや、興味のあったことの多くを、最近やめてしまいましたか	22.9	76.0	1.1
(3) 自分の人生はむなしいものと感じますか	8.3	88.6	3.1
(4) 退屈だと感じることはよくありますか	15.3	83.2	1.5
(5) ふだんは、気分のよいほうですか	87.7	10.1	2.2
(6) 自分に何か悪いことが起こるかもしれないという不安がありますか	25.8	69.0	5.1
(7) あなたはいつも幸せと感じていますか	75.9	15.8	8.2
(8) 自分が無力と感じることがよくありますか	25.4	70.1	4.5
(9) 外に出て新しい物事をするより、家の中にいる方が好きですか	38.7	52.5	8.8
(10) 他の人にくらべ、記憶力は落ちたと感じますか	37.2	55.6	7.2
(11) いま生きていることはすばらしいことと思いますか	83.4	10.6	6.1
(12) 自分の現在の状態は、まったく価値のないものと感じますか	4.3	91.6	4.0
(13) 自分は、活力に満ちあふれていると感じますか	51.0	36.5	12.4
(14) 今の自分の状況は、希望のないものと感じますか	9.6	84.2	6.2
(15) 他の人はあなたより、恵まれた生活をしていると思いますか	27.2	49.9	22.9

Q24 お体の状態をお聞きます。あなたに当てはまるものをおきかせください。

(1) 食事をするのに手助けが必要ですか

一人で普通に食べられる	一人で食べられる 調理を工夫したり、スプーンなどを使えば一人	食が必要 食べる時に一部手助け	全面的に介助が必要	わからない／無回答
99.5	0.3	0.1	0.0	0.1

(2) 着替えは普通にできますか。

普通にできる	一人で何とかなるが 時間がかかる	着替えられない 伝つてもわからない ボタンかけなど、一部手	全面的に介助が必要	わからない／無回答
98.5	0.7	0.4	0.4	0.0

(3)入浴は普通にできますか。

普通にできる	一人で何とか入れる	洗うのに一部介助が浴槽の出入りや体を必要	全面的に介助が必要	体を拭くのみであるまたは入浴できないので、全面的に介助が必要	わからない／無回答
97.8	0.5	1.1	0.5	0.0	

(4)排泄の手助けは必要ですか。

普通にできる	一人で何とかできる	ど一部介助が必要便器の用意・後かたづけ便器に腰かける、または	全面的に介助が必要	わからない／無回答
99.1	0.7	0.1	0.1	0.0

(5)歩行は普通にできますか。

ひとりで歩ける	杖があればかなりの距離を一人で歩ける	短い距離なら、杖を使つて一人で歩ける	介助されれば歩ける、物につかまれば歩ける	全く移動できないはつて移動、あるいは	わからない／無回答
93.8	2.3	2.8	0.9	0.1	0.0

Q25 では、次にあげることができるかどうかお尋ねします。

	普通に出来る	何とか一人で出来る(介助不要)	介助が必要	わからない／無回答
(1)金銭管理は一人でできますか	96.2	2.3	1.2	0.3
(2)買い物は一人でできますか	95.1	2.2	2.4	0.3
(3)内服薬の管理は一人でできますか	97.0	1.1	1.5	0.4
(4)食事の用意は一人でできますか	93.2	2.2	2.3	2.3
(5)掃除や洗濯は一人でできますか	93.2	2.8	2.4	1.5

Q26 食生活についてお尋ねします。次にあげる食品類を「ほとんど毎日」食べていますか。

	はい	いいえ	わからない ／無回答
(1)肉類	65.5	34.2	0.2
(2)魚介類	75.6	24.4	0.0
(3)海藻類	71.6	27.7	0.7
(4)緑黄色野菜	90.1	9.6	0.3
(5)牛乳(コップ1杯:180cc程度)	64.3	35.3	0.4
(6)大豆・大豆製品	87.0	12.4	0.5
(7)いも類	67.7	31.3	1.1
(8)油脂類(油やバター、マーガリンなど)	74.3	25.0	0.6
(9)果物	84.2	15.4	0.4
(10)卵1個程度	77.1	22.6	0.2

Q27 あなたの身長は何cmですか。 } 肥満度を算出
Q28 体重は何kgですか。 }

やせ	標準	肥満	高度肥満	無回答
11.2	68.6	16.1	1.6	2.4

Q29 週に2回以上、1回当たり30分以上の運動、あるいは週3日1回当たり20分以上の運動を1年以上続けていますか。

はい	いいえ
63.3	36.7

Q30 この1か月の中で平均的な1週間を思い浮かべてください。あなたは、1週間のうち何日くらいアルコールを飲みましたか。

毎日	1週間に 5～6日	1週間に 3～4日	1週間に 1～2日	1週間のうち 1日未満	全く 飲まない
21.8	4.9	6.6	8.5	8.1	50.1

SQ アルコールを飲んだとき、平均すると、清酒換算で「何合」飲んでいきますか。

1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3合以上	無回答
19.5	50.9	19.2	8.9	1.4

Q31 現在、タバコを吸っていますか。

はい	以前吸っていたが 現在は吸っていない	吸ったことがない
12.3	29.9	57.8

SQ1 日常的に吸い始めたのは何歳からでしたか。

20歳未満	20～30歳未満	30歳以上
27.5	60.4	12.1

SQ2 平均して、1日に何本タバコを吸いますか。

10本未満	10～20本未満	20本以上	無回答
26.4	42.9	29.7	1.1

→ SQ3 日常的に吸い始めたのは何歳からでしたか。 } 喫煙期間を算出
SQ4 やめたのは何歳ごろですか。

10 年未満	10～20 年未満	20～30 年未満	30 年以上	無回答
13.6	14.5	19.5	50.2	2.3

Q32 あなたは、1 日何回歯を磨いていますか。

0 回	1 回	2 回	3 回以上	無回答
1.6	23.0	46.5	28.6	0.3

Q33 歯科の健診や治療のために、1 年に 1 回以上歯科医院を受診していますか。

はい	いいえ
63.3	36.7

Q34 もし、必要になったら、病気や健康に関連した情報を自分自身で探したり、利用したりすることができると思いますか。

	まったく そう 思わない	あまり そう 思わない	どちら でもない	そう 思う	強く そう 思う	無 回 答
(1)新聞、本、テレビ、インターネットなど色々な情報源から情報が集められる	7.0	9.5	8.3	68.9	6.4	0.0
(2)たくさんある情報の中から、自分の求める情報を選び出せる	5.7	8.9	11.1	68.5	5.8	0.0
(3)情報がどの程度信頼できるかを判断できる	5.5	8.0	15.6	65.6	5.3	0.0
(4)情報を理解し、人に伝えることができる	7.2	9.1	12.0	65.8	5.8	0.1
(5)情報をもとに健康改善のための計画や行動を決めることができる	5.8	10.7	14.5	62.4	6.6	0.0

Q35 あなたご自身の運動やスポーツに対する考えについてお伺いします。

	そう 思う	まあ そう 思う	あまり そう 思わない	ま った く そう 思わ ない	無 回 答
(1)運動やスポーツをすることで、よく眠れるようになる	53.9	26.1	16.1	3.1	0.8
(2)運動やスポーツをすることで、リフレッシュできる	57.9	26.0	12.4	3.0	0.7
(3)運動やスポーツをすることで、ストレスが解消できる	53.5	27.7	14.5	3.5	0.8

Q36 次のような場合でも、運動やスポーツをする自信がありますか。

	おおいに 自信がある	まあ 自信がある	あまり 自信がない	まったく 自信がない	無回答
(1)あまり天気がよくないときでも運動やスポーツをする自信がある	15.3	29.2	38.3	16.9	0.3
(2)忙しくても運動やスポーツをする自信がある	15.8	30.6	36.0	17.2	0.4
(3)少し疲れているときでも運動やスポーツをする自信がある	13.9	29.2	37.2	19.2	0.4

Q37 あなたが運動やスポーツを行う際の家族や身近な人の対応についてお伺いします。

	そう 思う	まあ そう 思う	あまり そう 思わ ない	ま った く そ う 思 わ ない	無 回 答
(1)あなたが運動やスポーツをやらなかった場合、家族や身近な人はするように促してくれますか	18.3	20.0	36.7	24.6	0.4
(2)あなたが運動やスポーツに励んでいる場合、あなたが頑張っていると思ってくれますか	21.2	27.9	29.8	20.6	0.5
(3)家族や身近な人は、あなたと運動やスポーツと一緒にできるように、時間を作ってくれますか	13.8	14.6	39.9	31.4	0.3

Q38 これまでの生活の中で、あなたのまわりの人はタバコを吸っていましたか。

(1) あなたが中学生くらいのときでは吸っている人はいましたか。該当する人すべてをあなたから見た続き柄でお答えください。

父	母	祖 父	祖 母	兄 弟 姉 妹	親 しい 友 人	い な か っ た	無 回 答
58.9	8.1	6.2	3.7	11.9	4.6	30.7	0.1

(2) あなたが 20 歳くらいのときでは吸っている人はいましたか。該当する人すべてをあなたから見た続き柄でお答えください。

父	母	祖 父	祖 母	兄 弟 姉 妹	親 しい 友 人	配 偶 者	職 場 の 人	い な か っ た	無 回 答
49.8	7.6	3.8	2.0	21.2	24.1	3.7	24.1	20.6	2.0

(3) あなたが 40 歳くらいのときはいかがでしたか。

父	母	祖 父	祖 母	兄 弟 姉 妹	親 しい 友 人	配 偶 者	子 ど も	職 場 の 人	い な か っ た	無 回 答
17.3	3.7	0.9	0.7	16.4	28.8	32.2	5.0	39.9	21.0	1.2

Q39 これまでの生活の中で、あなたの家族など身近な人は、にんじん、かぼちゃ、ほうれん草などの緑黄色野菜を食べていましたか。

(1) あなたが中学生くらいのとき、あなたの家族などの身近な人は緑黄色野菜を食べていましたか。

ほとんど毎日 食べていた	ときどき 食べていた	あまり 食べていない	まったく 食べていない	知らない	無回答
66.4	23.5	5.4	0.3	4.2	0.1

(2) あなたが 20 歳くらいのとき、あなたの家族などの身近な人は緑黄色野菜を食べていましたか。

ほとんど毎日 食べていた	ときどき 食べていた	あまり 食べていない	まったく 食べていない	知らない	無回答
63.7	27.1	5.5	0.1	3.4	0.1

(3) あなたが 40 歳くらいのとき、あなたの家族などの身近な人は緑黄色野菜を食べていましたか。

ほとんど毎日 食べていた	ときどき 食べていた	あまり 食べていない	まったく 食べていない	知らない	無回答
71.3	23.7	2.8	0.1	1.9	0.1

Q40 これまでの生活の中で、あなたやあなたのまわりの人は運動やスポーツをしていましたか。

(1) あなたが中学生くらいのとき運動やスポーツをしていましたか。

自分	父母	祖父母	兄弟姉妹	親しい友人	近隣の人	いなかった	無回答
58.9	5.8	0.4	30.6	40.2	4.9	27.7	6.8

(2) あなたが 20 歳くらいのとき運動やスポーツをしていましたか。

自分	父母	祖父母	兄弟姉妹	親しい友人	近隣の人	配偶者	いなかった	無回答
38.4	4.6	0.0	23.0	32.9	4.5	1.2	39.6	6.5

(3) あなたが 40 歳くらいのとき運動やスポーツをしていましたか。該当する人すべてをあなたから見た続き柄でお答えください。

自分	父母	祖父母	兄弟姉妹	親しい友人	近隣の人	配偶者	子ども	いない	無回答
38.6	2.0	0.7	11.6	25.7	6.1	16.1	29.0	32.6	5.5

Q41 あなたはこれまでに手持ちの票に記載されている出来事を経験されたことがありますか。ある場合、その番号をお答えください。

子どもの死亡	自然災害に遭う	戦闘で武器を使用した	撃たれたりしたこと	配偶者や子どもが薬物やアルコール依存になったこと	身体的な暴力や暴行をうけたこと	重大な事故やけが生死が危ぶまれる	家族が危うく生命を落とすような事故や病気
7.0	19.9	1.6	0.5	3.0	5.3	10.0	

SQ その出来事を経験されたのは、あなたが何歳のときでしたか。複数回ある場合には、もっとも最近に経験した時の年齢をお聞かせください。

	5 歳以下	6～11 歳	12～17 歳	18～30 歳	31～64 歳	65 歳以上	無回答
子どもの死亡	—	—	—	25.0	55.8	19.2	0.0
自然災害に遭う	4.8	17.7	17.0	19.0	24.5	17.0	0.0
戦闘で武器使用、撃たれた	16.7	8.3	41.7	22.3	0.0	0.0	0.0
配偶者や子どもが薬物やアルコール中毒	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
身体的な暴力や暴行	0.0	18.2	18.2	27.3	31.8	4.5	0.0
生死が危ぶまれる重大な事故やケガ	2.6	7.9	10.5	31.6	26.3	21.1	2.6
家族が危うく生命を落とすような事故や病気	0.0	0.0	0.0	12.2	59.5	28.4	0.0

Q42 あなたは 18 歳になるまでにお手持ちの票に記載されている出来事を経験されたことがありますか。ある場合、その番号をお答えください。

学校を留年	警察の厄介になる	父母が家族問題が生じる	ほど酒や薬物を使用	親からの身体的虐待	いじめの経験
1.5	0.4	0.5	0.7	3.8	

SQ その出来事を経験されたのは、あなたが何歳のときでしたか。複数回ある場合には、もっとも最近に経験した時の年齢をお聞かせください。

	5 歳以下	6～11 歳	12～17 歳
学校を留年	0.0	63.6	36.4
警察に厄介	0.0	66.7	33.3
父母が家族問題が生じる	25.0	50.0	25.0
ほど酒や薬物を使用	20.0	80.0	0.0
親からの身体的虐待	0.0	71.4	28.6

Q43 あなたは次のような出来事を経験されたことがありますか。

詐欺に遭った	ひったくりや強盗に遭った	住まいや近隣環境が悪化した	家族の三か月以上の失業した	三か月以上の失業した	させられた 定年退職以外の強制退職
3.2	6.2	2.7	5.3	6.2	4.7

↓
SQ その出来事を経験されたのは、今から何年前でしたか。複数回ある場合には、もっとも最近に経験した時期をお聞かせください。

	5年以上前	3～5年未満	1～3年未満	1年未満	無回答
定年退職以外の強制退職	85.7	5.7	2.9	5.7	0.0
三か月以上の失業	75.6	8.9	6.7	8.9	0.0
家族の三か月以上の失業	69.2	10.3	10.3	10.3	0.0
住まいや近隣環境の悪化	80.0	0.0	5.0	15.0	0.0
ひったくりや強盗に遭った	88.9	8.9	0.0	2.2	2.2
詐欺に遭った	83.3	4.2	4.2	8.3	0.0

Q44 18歳くらいまでに、次のようなことがありましたか。

一ヶ月以上寝込んでいた 健康上の理由によって	三ヶ月以上運動を制限された 健康上の理由によって	一ヶ月以上学校を休んだ 健康上の理由によって
4.2	2.8	5.0

↓
SQ その健康上の理由は次のどれですか。

	感染症	自己免疫性疾患	アレルギー、喘息 リウマチ、関節炎	その他
健康上の理由で1ヶ月以上休んだ	45.9	10.8	18.9	24.3
健康上の理由で3ヶ月以上運動を制限された	38.1	9.5	19.0	33.3
健康上の理由で1ヶ月以上寝込んでいた	48.4	6.5	9.7	35.5

Q45 次に、あなたのこれまでの生活について、年齢別にうかがいます。

(1) 18 歳くらいまでのとき、あなたの家族は、食べ物や衣服、住居費など生活に必要な費用をまかなうことに苦勞していましたか。

非常に 苦勞した	やや 苦勞した	あまり 苦勞していない	まったく 苦勞していない	わからない
7.4	17.1	30.2	42.5	3.8

(2) 18 歳から 35 歳くらいでは、あなたは、食べ物や衣服、住居費など生活に必要な費用をまかなうことに苦勞していましたか。

非常に 苦勞した	やや 苦勞した	あまり 苦勞していない	まったく 苦勞していない	わからない
2.6	11.1	39.1	46.8	0.4

(3) 35 歳から 50 歳くらいでは、あなたはいかがでしたか。

非常に 苦勞した	やや 苦勞した	あまり 苦勞していない	まったく 苦勞していない	わからない
0.9	6.4	38.7	53.6	0.4

Q46 あなたが 15 歳くらいのとき、あなたの家には次のようなものがありましたか。

	あった	なかった	わからない
ピアノやバイオリン	13.5	85.8	0.7
文学全集のセットや百科事典	43.0	55.3	1.6

Q47 あなたが小学生くらいのとき、あなたは家族と次のようなところに行っていましたか。

	しばしば 行った	ときどき 行った	あまり 行かなかった	まったく 行かなかった	わからない
博物館や絵画展に行く	6.1	18.8	10.4	64.1	0.5
オペラやクラシックの演奏会に行く	3.2	5.8	9.3	81.3	0.3

Q48 あなたは、() 区にお住まいになってから、何年になりますか。

10 年 未満	10-20 年 未満	20-30 年 未満	30-50 年 未満	50 年 以上
3.7	7.3	6.6	30.3	52.1

Q49 あなたの近所の住宅はどのようなタイプのものですか。主なものを 1 つだけお答えください。

一戸 建て	2-3 階 建て	混在	4-12 階 建て	13 階建 て以上	無回答
59.7	3.0	23.4	10.7	2.2	1.1

Q50 以下の文章は、歩くことや自転車に乗ることに関する、近所の環境について述べたものです。あなたの近隣環境にどの程度あてはまりますか。

	まったくあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	非常によくあてはまる	わからない／無回答
(1) 日用品を買うためのお店や、スーパーマーケット、商店街などが、自宅から簡単に歩いていける範囲にたくさんある	3.1	5.8	27.9	62.8	0.4
(2) バス停、駅などが自宅から歩いて 10～15 分以内にある	2.0	0.9	18.4	78.1	0.5
(3) 近所のほとんどの道路には歩道がある	12.0	14.9	27.6	43.3	2.2
(4) 近所には、自転車専用レーン、歩道兼用の自転車レーンなどのように自転車が通行できるレーンがある	32.6	27.6	20.0	16.0	3.8
(5) 近所には、公園、広場、ウォーキング道路、自転車道路、グラウンド、公営プール、体育館など、無料あるいは安価に利用できるレクリエーション施設がいくつかある	5.8	15.3	41.3	35.2	2.4
(6) 近所では犯罪の危険が高く、夜間に外を歩くのは安全とはいえない	38.3	40.5	12.4	5.0	3.8
(7) 近所では交通量が多く、外を歩くことに危険を感じたり、歩くことが楽しくなかったりする	31.9	41.8	17.9	7.2	1.2
(8) 近所では運動したり、体を動かしている人を多く見かける	5.7	19.4	40.3	30.6	4.1
(9) 近所を歩くと、興味をひかれるもの(きれいな景観、楽しい景観など)がたくさんある	11.2	28.0	33.4	24.2	3.1

Q51 あなたの家には車やバイクが全部で何台ありますか。

0 台	1 台	2 台以上	無回答
54.4	33.6	11.4	0.7

Q52 次の(1)から(10)までの言葉はあなた自身にどのくらいあてはまるかについてお答えください。

	まったく違うと思う	おおよそ違うと思う	少し違うと思う	どちらでもない	少しそう思う	まあまあそう思う	強くそう思う	わからない。無回答
(1) 私は自分自身のことを、活発で、外向的だと思う	4.5	7.0	14.9	18.5	11.2	28.4	14.6	0.8
(2) 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う	48.6	29.8	11.8	5.0	2.2	1.2	0.7	0.8
(3) しっかりしていて、自分に厳しいと思う	3.2	8.3	11.0	26.4	17.1	22.9	9.9	1.4
(4) 心配性で、うろたえやすいと思う	16.2	23.5	18.0	13.3	16.2	8.7	3.5	0.5
(5) 新しいことが好きで、変わった考えをもつと思う	5.8	13.9	16.1	27.3	13.7	16.1	6.4	0.7
(6) ひかえめで、おとなしいと思う	7.0	15.6	20.7	22.7	16.8	13.7	3.1	0.4
(7) 人に気をつかう、やさしい人間だと思う	0.8	0.9	4.5	13.0	25.0	38.4	16.6	0.7
(8) だらしなく、うっかりしていると思う	14.9	30.6	22.1	13.8	12.9	4.2	0.9	0.7
(9) 冷静で、気分が安定していると思う	1.2	3.1	7.0	18.7	19.9	36.7	12.7	0.7
(10) 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う	5.1	13.9	14.3	19.9	20.2	21.1	4.7	0.6

Q53 次の(1)から(20)までの言葉はあなた自身にどのくらいあてはまるかについてお答えください。

	まったくあてはまらない	あてはまらない	どちらともいえない	あてはまる	よくあてはまる	わからない、無回答
(1)私の人生は運命によって定められているところが多い	7.8	23.7	29.5	29.0	5.3	4.7
(2)人生の中で、ああすべきだったのに、と思うことが多い	8.0	34.9	23.5	27.6	4.9	1.0
(3)昔のことを考えるのは楽しい	4.3	22.1	31.1	32.9	7.7	1.9
(4)何かをやり遂げようとするときに、目標を決めてそれに到達するために具体的な方法を検討する	1.5	15.8	21.1	42.8	16.5	2.3
(5)昔のことを思い出すと、悪い思い出よりも良い思い出の方が全体的に多い	1.9	9.2	28.4	42.4	16.6	1.5
(6)なるようにしかならないので、自分が何をしてもあまり関係がない	8.5	36.8	25.3	22.2	4.2	3.0
(7)過去のつらい経験が、繰り返し頭に浮かぶ	18.3	33.0	16.4	9.3	2.2	0.8
(8)楽しかった思い出が、すぐに心に浮かぶ	1.5	12.6	27.1	45.5	12.4	0.9
(9)毎日を計画的というよりは成り行きで過ごす	8.4	29.8	22.1	32.2	6.2	1.4
(10)嫌な思い出が多いので、過去のことは思い出したくない	20.8	49.3	18.3	8.1	2.4	1.1
(11)人生に刺激は必要だ	1.5	7.8	23.0	48.0	16.5	3.1
(12)時間内に終えることよりも、やっていることを楽しむことの方が大切だと思う	1.6	11.4	25.3	44.9	13.5	3.2
(13)危険をおそれないからこそ、人生は退屈でなくなる	4.1	27.2	39.4	19.8	4.7	4.9
(14)若い頃の嫌なイメージを忘れることができない	16.2	35.9	15.6	9.5	1.5	1.3
(15)人生の進路は、自分ではどうしようもない力によって決められている	9.3	34.6	26.7	21.7	3.8	3.9
(16)どうしようもないことなので、将来について心配しても仕方がない	3.2	16.8	17.5	46.8	13.8	1.9
(17)コツコツと取り組んで時間通りに課題を終了する	1.8	14.1	21.7	46.8	13.9	1.7
(18)人生の刺激を得るために冒険する	11.0	47.9	23.3	11.8	3.5	2.6
(19)やるべきことがあるとき、誘惑に耐えることができる	1.4	11.4	21.4	44.4	18.9	2.6
(20)過去に起きた嫌な出来事について考えることがある	12.6	44.7	18.0	20.7	3.1	1.0

Q54 あなたの話を聴いてくれたり、理解してくれる人はいますか。

いる	いない	無回答
92.0	7.8	0.1

SQ それは誰ですか。該当する人すべてを選んでください。

配偶者	子ども	その他の親族	近隣、友人	医師	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	ケアマネジャー	ホームヘルパー	その他
60.1	60.7	30.7	47.9	7.9	2.1	0.4	0.9	0.7	0.4	0.0

Q55 あなたが2～3日寝込んだような場合、あなたの身のまわりの世話をしてくれたり、家事を援助してくれる人はいいますか。

いる	いない	無回答
91.7	8.1	0.1

↓
SQ それは誰ですか。該当する人すべてを選んでください。

配偶者	子ども	その他の親族	近隣、友人	医師	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	ケアマネジャー	ホームヘルパー	その他
60.2	55.9	15.9	10.5	2.5	1.0	0.0	0.1	0.6	1.3	0.0

Q56 健康・生活・福祉のことで、相談にのってくれたり、情報を提供してくれる人はいいますか。

いる	いない	無回答
83.9	15.7	0.4

↓
SQ それは誰ですか。該当する人すべてを選んでください。

配偶者	子ども	その他の親族	近隣、友人	医師	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	ケアマネジャー	ホームヘルパー	その他
46.5	44.5	18.4	26.5	23.9	2.6	1.1	5.8	5.6	1.1	0.0

Q57 あなたに外出や人とのつきあいをすすめてくれたり、誘ってくれる人はいいますか。

いる	いない	無回答
75.1	24.5	0.4

↓
SQ それは誰ですか。該当する人すべてを選んでください。

配偶者	子ども	その他の親族	近隣、友人	医師	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	ケアマネジャー	ホームヘルパー	その他
40.1	33.6	19.1	69.7	0.7	0.5	0.0	0.9	0.2	0.0	0.0

Q58 あなたは、家族や親戚の介護・看病をこの1年間にしましたか。ちょっとした手伝いや認知症などのための見守りも含めます。

した	していない	無回答
16.9	82.8	0.3



SQ1 それはどなたですか。あなたからみた続柄でお答えください。

配偶者	親	配偶者の親	兄弟姉妹	配偶者の兄弟姉妹	子ども	子どもの配偶者	孫	その他
28.8	28.8	13.6	10.4	4.0	6.4	0.8	0.0	7.2

SQ2 この1ヵ月では、あなたは、その方のお世話をどのくらいしましたか。

毎日	週に4-6日	週に1-3日	月に1-3日	この1ヵ月はしていないが、年に数回くらいした	入院・死亡のため、この1ヵ月はしていない
32.0	7.2	16.0	11.2	17.6	16.0



SQ3 した日は、平均すると1日に何時間くらいしましたか。

1時間以内	1-2時間以内	2-3時間以内	3-4時間以内	4-5時間以内	それより多い	わからない／無回答
15.7	24.1	13.3	12.0	6.0	20.5	8.4

Q59 次のそれぞれの文章があなた自身にどのくらいあてはまるかについてお答えください。

	まったく	あてはまらない	ほとんど	あてはまらない	どちらかといえば	あてはまらない	どちらでもない	どちらかといえば	あてはまる	かなりあてはまる	とてもあてはまる	わからない、 無回答
(1) 人生で大切なことを変えるために自分でできることはほとんどない	15.8	25.3		18.7	19.9	8.4	4.7	0.9	6.2			
(2) 人生の問題に対処するにあたって、私はしばしば無力感を感じる	10.6	26.1		18.5	19.6	15.6	5.0	1.5	3.1			
(3) 本当にやろうと決めたことは、ほとんど何でもやることができる	0.9	6.0		10.6	20.2	29.6	20.3	10.4	2.1			
(4) 私のできることとできないことの多くは、他人によって決定されている	17.7	30.4		21.8	18.4	6.4	1.8	0.1	3.3			
(5) 私の人生で起こることは、自分でコントロールできる範囲をしばしば超えている	7.4	20.6		17.1	26.7	14.5	6.1	1.8	5.9			
(6) 本当にやりたいことがある時は、それを達成するための方法をたいてい見つけることができる	1.5	4.1		7.8	22.9	31.1	18.9	9.9	3.7			
(7) 私がやりたいことを邪魔するものがたくさんある	19.9	33.0		18.5	14.1	7.2	4.2	0.8	2.3			
(8) 私がほしいものを手に入れられるかどうかは、自分次第である	1.2	3.9		3.9	17.1	29.1	29.4	13.1	2.3			
(9) 私に起こることは、自分ではどうすることもできない	5.5	18.3		17.5	25.0	18.4	8.1	2.8	4.3			
(10) 私の抱える問題を解決する方法はまったくない	16.0	32.5		23.5	16.4	5.0	2.0	0.4	4.2			
(11) 私は、ときどき人生に振り回されていると感じる	20.6	29.6		19.2	13.7	10.3	3.2	1.1	2.3			
(12) 私に将来どんなことが起こるかは、ほとんど自分次第だ	4.2	7.3		12.0	31.0	20.7	13.3	5.4	6.1			
(13) 私は、他人と比べて、よくも悪くもない	1.9	5.1		7.4	29.9	29.2	16.9	6.4	3.1			
(14) 自分に対して、肯定的である	1.8	3.9		6.8	23.7	31.0	21.5	8.0	3.4			
(15) 自分は、まったく駄目な人間だと思うことがある	19.4	30.2		24.9	12.4	8.0	2.2	0.8	2.2			
(16) すくなくとも人並みに、物事を行うことができる	0.9	2.4		2.7	6.4	26.8	35.2	23.4	2.2			
(17) もう少し自分を尊敬できるようにしたい	2.3	7.6		10.4	36.8	20.4	12.7	5.5	4.2			
(18) 私は、自分に満足している	1.4	4.2		8.5	18.5	28.0	25.0	12.0	2.3			
(19) 時々、自分は役に立たない人間だと感じる	22.2	27.1		23.0	11.6	9.3	2.7	1.9	1.2			

Q60 あなたのご両親のことについてうかがいます。

(1) あなたのお父様が、最後に通われた学校はどちらですか。中退も卒業と同じ扱いで答えてください。

学校に行かなかった	尋常小学校	新制の小学校	高等小学校	新制の中学校	実業学校 (農業学校・商業学校)	旧制中学校	新制の高等学校	旧制高等学校・師範学校・ 高等師範学校以上	わからない
1.2	33.4	13.1	4.7	7.2	21.2	19.1			

(2) あなたのお母様が、最後に通われた学校はどちらですか。中退も卒業と同じ扱いで教えてください。

学校に行かなかった	尋常小学校	新制の小学校	高等小学校	新制の中学校	実業学校 (農業学校・商業学校)	旧制中学校	新制の高等学校	旧制高等学校・師範学校	高等師範学校以上	わからない
1.9	33.6	12.6	3.2	22.6	8.0	18.2				

(3) あなたのお父様が最も長く就かれたお仕事は何ですか。

管理職	専門・技術職	事務職	販売職	サービス職	保安職	農林漁業職	輸送・機械運転従事者	技能・生産工程・労務職	その他	わからない
15.7	12.3	9.6	11.1	3.7	1.6	15.3	2.7	23.0	0.1	4.8

(4) あなたのお母様が最も長く就かれたお仕事は何ですか。

管理職	専門・技術職	事務職	販売職	サービス職	農林漁業職	輸送・機械運転従事者	技能・生産工程・労務職	その他	専業主婦	わからない
0.5	3.9	3.0	7.7	4.3	14.6	0.1	9.3	0.1	52.4	3.9

Q61 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

持家戸建	持家戸建借地	分譲マンション	所有ビル	公営住宅	公社・公団	民間借家戸建	民間借家アパート	無回答
69.8	4.2	9.1	2.6	2.3	0.8	1.2	9.7	0.3

Q62 お宅では、経済的な理由から持っていない電化製品やガス製品はありますか。次の中からあてまる番号すべてをお答えください。

テレビ	冷蔵庫	エアコン	電子レンジ	湯沸かし器	無回答
0.3	0.1	0.5	0.7	0.5	0.4

Q63 お宅には、次のような設備や部屋がありますか。ないものがありましたら、その番号をお答えください。

専用トイレがない	専用の台所がない	専用の浴室がない	寝室と独立したダイニングがない	無回答
1.4	0.7	2.4	2.7	0.3

Q64 経済的な理由から次のようなことがありますか。あてはまる番号すべてをお答えください。

電話がない／止められている	礼服をもっていない	この一年に。親戚の慶弔を欠席	この一年に、電気・ガスを止められた	無回答
0.8	0.4	0.7	0.0	0.4

Q65 お宅では、毎月のやりくりはいかがですか。

非常に苦労している	やや苦労している	どちらともいえない	あまり苦労していない	まったく苦労していない	わからない
2.6	11.4	16.2	35.5	31.8	2.5

Q66 ところで、あなたと配偶者の年収は、合計して、この中のどれにあたりますか。

一二〇万円未満	一二〇〓一八〇万円未満	一八〇〓三〇〇万円未満	三〇〇〓四〇〇万円未満	四〇〇〓五〇〇万円未満	五〇〇〓六〇〇万円未満	六〇〇〓八〇〇万円未満	八〇〇〓一〇〇〇万円未満	一〇〇〇万円以上	わからない
9.6	8.8	21.2	13.4	8.9	4.7	3.8	3.1	3.4	23.0

Q67 あなたと配偶者の預貯金の総額は、およそどれくらいになりますか。

一〇〇万円未満	一〇〇〓五〇〇万円未満	五〇〇〓一〇〇〇万円未満	一〇〇〇〓三〇〇〇万円未満	三〇〇〇万円以上	わからない
5.8	9.6	8.3	12.6	13.3	50.5

XVII. 調 査 票

シニア世代の生活の軌跡と健康に関する調査

2016 年 2 月

桜美林大学老年学総合研究所

一般社団法人 中央調査社

支局番号		地点番号		対象番号		点検者名

⑩

=1

(1) 訪問回数

 回

⑪⑫

(2) 調査日

 月 日

⑬～⑯

【調査員注】面接を始める前に、必ず次の文章を対象者の前で読みあげること。

この調査では、いろいろなことをうかがいますが、答えたくないことについては無理にお答えいただく必要はありません。なお、お答えいただいたことについては、厳重に秘密を守り、他の人に知らせるようなことは一切ありませんので、どうかご安心ください。また、失礼なこともうかがいするかもしれませんが、他の研究との比較のために必要なものです。何とぞお許しください。

調査時間

{	(開始)		時		分
	(終了)		時		分

所要時間 分

⑰～⑳

☐☐

【調査員注】調査の開始時間と終了時間を24時間制で記入すること。対象者の用事や休けいなどで中断した時間も含める。また、調査が複数日に渡った場合は、調査時間を欄外にメモしておき、合計した時間を記入すること。

【基本属性】

さっそくですが、あなたご自身のことをうかがいますので、よろしくお願いします。

Q1 あなたの性別は。

1 男性

2 女性

☐

Q2 あなたの生年月日をうかがいます。……おいくつですか。

【調査員注:対象者が答えたとおりに記入する】

1	2	3						
明	大	昭		年		月		日

【調査員注:名簿より転記】

1	2	3						
明	大	昭		年		月		日

【調査員記入】

・生年月日(1 正 2 誤)☐・年齢(1 正 2 誤)☐

【職業】

〔全員に〕

Q3 現在、あなたは、収入が得られる仕事をしていますか。自営の仕事の手伝いも含みます。

1 仕事をしている(家族従業者を含む) 2 仕事をしていない

□

Q4 へ

SQ1【回答票1】 あなたの主な仕事は次のどれにあたりますか。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員 | 6 (カ) 自営業主(雇い人なし) |
| 2 (イ) 常時雇用されている(公務員も含む) | 7 (キ) 家族従業員(家業などの手伝い) |
| 3 (ウ) 臨時雇用・パート・アルバイト(シルバー人材派遣も含む) | 8 (ク) 内職 |
| 4 (エ) 派遣社員・契約社員・嘱託社員 | 9 (ケ) その他() |
| 5 (オ) 自営業主(雇い人あり) | |

□

SQ2【回答票2】 あなたのお仕事の種類は大きく分けて次のどれにあたりますか。

- 1 (ア) 管理職(会社役員、課長相当以上の管理職、議員など)
- 2 (イ) 専門・技術職(医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、作家、デザイナー、編集者など)
- 3 (ウ) 事務職(庶務・経理事務員、秘書、銀行窓口事務員、集金人、コンピュータ操作員など)
- 4 (エ) 販売職(小売・卸売店主、販売店員、不動産仲介人、保険代理人・外交員、営業職従事者など)
- 5 (オ) サービス職(美容師、介護職員、調理人、接客・給仕、クリーニング、マンション管理人など)
- 6 (カ) 保安職(自衛官、警察官、消防員、警備員など)
- 7 (キ) 農林漁業職(農業、養畜、林業、植木職、造園師、漁業など)
- 8 (ク) 輸送・機械運転従事者(自動車運転従事者、建設・定置機械運転従事者など)
- 9 (ケ) 技能・生産工程・労務職(職人、工場作業員、建設・電気・土木作業員、清掃員など)
- 10 (コ) その他(具体的に)

SQ3 パートやアルバイトの人数を除いた従業員(働いている人)は、会社全体(支店・営業所も含む)で何人くらいですか。自営業の場合はご自分、家族従業者も含めてお答えください。

- | | | | |
|--------|------------|------------|-----------------|
| 1 1人 | 4 10～29人 | 7 300～499人 | 10 官公庁(公立学校を含む) |
| | □ | | |
| 2 2～4人 | 5 30～99人 | 8 500～999人 | 11 わからない |
| 3 5～9人 | 6 100～299人 | 9 1,000人以上 | |

□

〔全員に〕

Q4【回答票3】 初めてついた仕事から現在までの間で、最も長くついていた仕事はどれにあたりますか。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員 | 6 (カ) 自営業主(雇い人なし) |
| 2 (イ) 常時雇用されている(公務員も含む) | 7 (キ) 家族従業員(家業などの手伝い) |
| 3 (ウ) 臨時雇用・パート・アルバイト(シルバー人材派遣も含む) | 8 (ク) 内職 |
| 4 (エ) 派遣社員・契約社員・嘱託社員 | 9 (ケ) その他() |
| 5 (オ) 自営業主(雇い人あり) | 10 (コ) 仕事に就いたことはない →次ページQ6へ |

□

SQ1【回答票4】 そのお仕事の種類は大きく分けて次のどれにあたりますか。

- 1 (ア) 管理職(会社役員、課長相当以上の管理職、議員など)
- 2 (イ) 専門・技術職(医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、作家、デザイナー、編集者など)
- 3 (ウ) 事務職(庶務・経理事務員、秘書、銀行窓口事務員、集金人、コンピュータ操作員など)
- 4 (エ) 販売職(小売・卸売店主、販売店員、不動産仲介人、保険代理人・外交員、営業職従事者など)
- 5 (オ) サービス職(美容師、介護職員、調理人、接客・給仕、クリーニング、マンション管理人など)
- 6 (カ) 保安職(自衛官、警察官、消防員、警備員など)
- 7 (キ) 農林漁業職(農業、養畜、林業、植木職、造園師、漁業など)
- 8 (ク) 輸送・機械運転従事者(自動車運転従事者、建設・定置機械運転従事者など)
- 9 (ケ) 技能・生産工程・労務職(職人、工場作業員、建設・電気・土木作業員、清掃員など)
- 10 (コ) その他(具体的に)

SQ2 パートやアルバイトの人数を除いた従業員(働いている人)は、会社全体(支店・営業所も含む)で何人くらいですか。自営業の場合はご自分、家族従業員も含めてお答えください。

- | | | | |
|--------|------------|------------|-----------------|
| 1 1人 | 4 10～29人 | 7 300～499人 | 10 官公庁(公立学校を含む) |
| 2 2～4人 | 5 30～99人 | 8 500～999人 | 11 わからない |
| 3 5～9人 | 6 100～299人 | 9 1,000人以上 | |

☐

SQ3 もっとも長くしていた仕事にはいつからいつまで就いていましたか。【調査員注】現在の仕事をもっとも長くしている仕事の場合も、始めた年を聞き取ること。

- | | | | | | | | | |
|------|----------------------|----------------------|-----|------|----------------------|----------------------|-----|----------|
| 1 昭和 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 年から | 1 昭和 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 年まで | 3 現在も続けて |
| 2 平成 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | | 2 平成 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | | |

☐
☐
☐
☐

Q5 あなたは定年退職以外の理由で、強制的に仕事を失ったことがありますか。

SQ その出来事を経験されたのは、あなたが何歳のときでしたか。複数回ある場合は、経験した時の年齢をすべてお聞かせください。【調査員注】あてはまる年齢すべてに○をする。

経験の有無			あなたの年齢		
1 ない	☒ 2 ある	→	1 18～30歳	2 31歳～64歳	3 65歳以上

☐
☐

〔全員に〕

Q6 【回答票5】 あなたが最後に行った学校は次のどれにあたりますか。中退も卒業と同じ扱いで答えてください。

- 1 (ア) 中学校 (戦前の小学校〔尋常科・高等科〕・国民学校・青年学校)
- 2 (イ) 高校 (戦前の中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)
- 3 (ウ) 専門学校 (高卒後)
- 4 (エ) 短大・高専 (戦前の高校・専門学校・高等師範学校)
- 5 (オ) 大学 (4年制) (戦前の大学〔4年制〕)
- 6 (カ) 大学院・大学 (6年制)
- 7 (キ) その他()

【家族】

Q7 【回答票6】 次に、あなたのご家族のことについてうかがいます。あなたは、現在、結婚していますか。

【調査員注】結婚には、内縁関係や事実婚を含める。

- | | | |
|--|------------|--------------------|
| 1 (ア) 結婚している
(入院、施設入所、単身赴任
のための別居を含める) | 3 (ウ) 離婚した | 5 (オ) 一度も結婚したことがない |
| 2 (イ) 別居している | 4 (エ) 死別した | 6 わからない |
- 次ページ Q8

☐

SQ1 結婚したのはいつですか。【調査員注】2回以上結婚した場合は1番最近の相手との結婚について聞く。

- | | | | |
|------|----------------------|----------------------|---|
| 1 昭和 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 年 |
| 2 平成 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | |

SQ2 配偶者の方の生年をお答えください。

- | | | | | |
|------|------|----------------------|----------------------|---|
| 1 明治 | 3 昭和 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 年 |
| 2 大正 | 4 平成 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | |

☐
☐

SQ3 【回答票7】 配偶者の方が最後に行った学校は次のどれにあたりますか。中退も卒業と同じ扱いで答えてください。

- 1 (ア) 中学校 (戦前の小学校〔尋常科・高等科〕・国民学校・青年学校)
- 2 (イ) 高校 (戦前の中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)
- 3 (ウ) 専門学校 (高卒後)
- 4 (エ) 短大・高専 (戦前の高校・専門学校・高等師範学校)
- 5 (オ) 大学 (4年制) (戦前の大学〔4年制〕)
- 6 (カ) 大学院・大学 (6年制)
- 7 (キ) その他()
- 8 わからない

SQ4【回答票8】 配偶者の方が最も長く就いていたお仕事の種類は大きく分けて次のどれにあたりますか。

- 1 (ア) 管理職 (会社役員、課長相当以上の管理職、議員など)
- 2 (イ) 専門・技術職(医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、作家、デザイナー、編集者など)
- 3 (ウ) 事務職(庶務・経理事務員、秘書、銀行窓口事務員、集金人、コンピュータ操作員など)
- 4 (エ) 販売職(小売・卸売店主、販売店員、不動産仲介人、保険代理人・外交員、営業職従事者など)
- 5 (オ) サービス職(美容師、介護職員、調理人、接客・給仕、クリーニング、マンション管理人など)
- 6 (カ) 保安職(自衛官、警察官、消防員、警備員など) ☐
- 7 (キ) 農林漁業職(農業、養畜、林業、植木職、造園師、漁業など)
- 8 (ク) 輸送・機械運転従事者(自動車運転従事者、建設・定置機械運転従事者など)
- 9 (ケ) 技能・生産工程・労務職(職人、工場作業員、建設・電気・土木作業員、清掃員など)
- 10 (コ) その他(具体的に)
- 11 (サ) 専業主婦
- 12 わからない

【全員に】

Q8 現在、一緒に住んでいるご家族は、あなたを含めて何人ですか。

————→ 1人の方はQ10

☐☐

Q9 それでは、一緒に住んでいる人のあなたとの続き柄、年齢、性別を順におっしゃってください。⑩=2

【調査員注】回答者との続き柄の番号(1~8)は、家族の人数分すべてに○をつける。

⑪

	回答者との続き柄	アフターコード	年 齢	性 別
1	回答者 本 人	0		
2	回答者の		歳	1 男 2 女
3	回答者の		歳	1 男 2 女
4	回答者の		歳	1 男 2 女
5	回答者の		歳	1 男 2 女
6	回答者の		歳	1 男 2 女
7	回答者の		歳	1 男 2 女
8	回答者の		歳	1 男 2 女

⑫~

⑬

⑭~☐

☐~☐

☐~☐

☐~☐

☐~☐

【アフターコード】

- | | | | |
|-----------|---------|----------|--------|
| 1 配偶者 | 4 孫 | 6 父 母 | 8 兄弟姉妹 |
| 2 子ども | 5 孫の配偶者 | 7 配偶者の父母 | 9 その他 |
| 3 子どもの配偶者 | | | |

【社会関係】【全員に】

Q10 あなたのお子さんについてうかがいます。離れて暮らしているお子さんは全部で何人いますか。

人

0 いない × わからない

☐~☐

Q11 あなたの親戚づきあいについてうかがいます。あなたには、日頃から親しくしているご自分や配偶者のきょうだい、いとこ、孫などの親戚の方はいますか。(いる場合)何人くらいいますか。ただし、同居している方は除きます。

人

0 いない × わからない

☐~☐

Q12【回答票9】 別居のお子さんやご親戚についておたずねします。合計して何回くらい一緒に出かけたり、お互いの家を訪ねたりしますか。訪ねてきてもらうことも含みます。【調査員注】複数いる場合は全員との交流を足し合わせる。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 (ア) 1週間に2回以上 | 5 (オ) 1カ月に1回より少ない |
| 2 (イ) 1週間に1回くらい | 6 (カ) まったくない |
| 3 (ウ) 1カ月に2、3回 | 7 (キ) 別居の子どもも親戚もない |
| 4 (エ) 1カ月に1回くらい | 8 わからない |

☐

Q13 あなたには、お互いに家を行き来するような間柄のご近所の人はいますか。(いる場合)何人くらいいますか。

人

0 いない

× わからない

□～□

Q14 あなたの友人つきあいについてうかがいます。あなたには、日頃から親しくしている、友人の方はいますか。(いる場合)何人くらいいますか。

人

0 いない

× わからない

□～□

Q15【回答票 10】 お友達やご近所の方とは、何回くらい一緒に出かけたり、お互いの家を訪ねたりしますか。訪ねてきてもらうことも含みます。

- 1 (ア) 1 週間に 2 回以上
2 (イ) 1 週間に 1 回くらい
3 (ウ) 1 カ月に 2、3 回
4 (エ) 1 カ月に 1 回くらい

- 5 (オ) 1 カ月に 1 回より少ない
6 (カ) まったくない
7 わからない

□

Q16【回答票 11】 あなたは、週に何日くらい外出しますか。通勤、通院、買い物など、外出の目的は問いません。

- 1 (ア) ほぼ毎日
2 (イ) 週に 4～5 日
3 (ウ) 週に 2～3 日
4 (エ) 週に 1 日くらい

- 5 (オ) 月に 1～2 日
6 (カ) それより少ない
7 わからない

□

Q17 あなたは、町内会、自治会、老人クラブ、商工会、宗教のグループ、またはその他のクラブやグループに入っていますか。(入っている場合)全部でいくつ入っていますか。

個

0 入っていない

× わからない

□～□

Q18へ

SQ【回答票 12】 そのようなグループの会合に、何回くらい、出かけますか。

【調査員注】2つ以上のグループの会合があれば、その合計で答えてもらう。

- 1 (ア) 1 週間に 2 回以上
2 (イ) 1 週間に 1 回くらい
3 (ウ) 1 カ月に 2、3 回
4 (エ) 1 カ月に 1 回くらい

- 5 (オ) 1 カ月に 1 回より少ない
6 (カ) まったくない
7 わからない

□

【健康】

【全員に】

Q18【回答票 13】 次に健康についてうかがいます。全般的にいて、あなたの現在の健康状態はいかがですか。

- 1 (ア) よい
2 (イ) まあよい
3 (ウ) ふつう
4 (エ) あまりよくない
5 (オ) よくない
6 わからない

□

Q19【回答票 14】あなたは、現在、次のような病気やこれらの病気の後遺症をおもちですか。【調査員注】(1)～(10)まで、1つ1つ読み上げて聞く。

	(ア) ある	(イ) ない	わからない	
(1) 心臓病	1	2	3	□
(2) 関節炎、リウマチ、神経痛	1	2	3	□
(3) 高血圧	1	2	3	□
(4) 糖尿病	1	2	3	□
(5) 脳卒中、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血	1	2	3	□
(6) 白内障、緑内障、その他の目の病気	1	2	3	□
(7) ガン	1	2	3	□
(8) 気管支炎、肺気腫、ぜんそく、結核、その他の慢性呼吸器の病気	1	2	3	□
(9) 慢性の腰痛	1	2	3	□
(10) 骨折、骨のひび	1	2	3	□

Q20〔回答票 15〕 お口(歯や歯ぐき、入れ歯)の健康状態はいかがですか。

⑩=3

- 1 (ア) とてもよい 3 (ウ) あまりよくない 5 わからない
2 (イ) まあよい 4 (エ) よくない

⑪

Q21〔回答票 16〕 ご自身の歯の状態はいかがですか。

- 1 (ア) 自分の歯が 20 本以上ある 3 (ウ) 自分の歯が 1～9 本ある 5 わからない
2 (イ) 自分の歯が 10～19 本ある 4 (エ) 自分の歯は 0 本である

⑫

Q22〔回答票 17〕 どのくらいの硬さのものまで、食べることが出来ますか。

- 1 (ア) どんなものでも、食べたいものをかんで食べられる 4 (エ) ほとんどかめない
2 (イ) かみにくいものもあるが、たいていものは食べられる 5 (オ) まったくかめず、流動食を食べている
3 (ウ) あまりかめないもので、食べ物が限られている 6 わからない

⑬

Q23〔回答票 18-1〕 次のそれぞれについて、この1週間のことを考えながら「はい」「いいえ」でお答えください。

【調査員注】(1)～(15)まで、1つ1つ読みあげて聞く。回答票が二枚に分かれているので注意する。

	(ア) はい	(イ) いいえ	わからない	
(1) 自分の生活に満足していますか	1	2	3	⑭
(2) これまでやってきたことや、興味のあったことの多くを、最近やめてしまいましたか	1	2	3	⑮
(3) 自分の人生はむなしいものと感じますか	1	2	3	⑯
(4) 退屈だと感じることはよくありますか	1	2	3	⑰
(5) ふだんは、気分のよいほうですか	1	2	3	⑱
(6) 自分に何か悪いことが起こるかもしれないという不安があり	1	2	3	⑲
(7) あなたはいつも幸せと感じていますか	1	2	3	⑳
(8) 自分が無力と感じることがよくありますか	1	2	3	□
(9) 外に出て新しい物事をするより、家の中にいる方が好きです	1	2	3	□
(10) 他の人にくらべ、記憶力は落ちたと感じますか	1	2	3	□
〔回答票 18-2〕				
(11) いま生きていることはすばらしいことと思いますか	1	2	3	□
(12) 自分の現在の状態は、まったく価値のないものと感じますか	1	2	3	□
(13) 自分は、活力に満ちあふれていると感じますか	1	2	3	□
(14) 今の自分の状況は、希望のないものと感じますか	1	2	3	□
(15) 他の人はあなたより、恵まれた生活をしていると思いますか	1	2	3	□

Q24 お体の状態をお聞きます。あなたに当てはまるものをおきかせください。高齢者施策に役立てるために必要な項目ですのでご容赦ください。

【調査員注】(1)～(5)まで、1つ1つ読みあげて聞く。

〔回答票 19〕 (1) 食事をするのに手助けが必要ですか	1 (ア) 一人で普通に食べられる 2 (イ) 調理を工夫したり、スプーンなどを使えば一人で食べられる 3 (ウ) 食べる時に一部手助けが必要 4 (エ) 全面的に介助が必要 5 わからない	□
〔回答票 20〕 (2) 着替えは普通にできますか	1 (ア) 普通にできる 2 (イ) 一人で何とかできるが時間がかかる 3 (ウ) ボタンかけなど、一部手伝ってもらわなければ着替えられない 4 (エ) 全面的に介助が必要 5 わからない	□
〔回答票 21〕 (3) 入浴は普通にできますか	1 (ア) 普通に入れる 2 (イ) 一人で何とか入れる 3 (ウ) 浴槽の出入りや体を洗うのに一部介助が必要 4 (エ) 全面介助を必要とするか、または入浴できないので体を拭くのみである 5 わからない	□

〔回答票 22〕 (4) 排泄の手助けは必要ですか	1 (ア) 普通にできる 2 (イ) 一人で何とかできる(便器の用意・後かたづけなども自分でできる) 3 (ウ) 便器に腰かける、または便器の用意・後かたづけなど一部介助が必要 4 (エ) 全面的に介助が必要 (常時おむつをしている場合も含む) 5 わからない	☐
〔回答票 23〕 (5) 歩行は普通にできますか	1 (ア) 一人で歩ける (杖などは使わない) 2 (イ) 杖などがあれば、かなりの距離を一人で歩ける 3 (ウ) 短い距離なら、杖などを使って一人で歩ける 4 (エ) 物につかまれば歩ける、介助されれば歩ける 5 (オ) はって移動する、あるいは、まったく移動できない 6 わからない	☐

Q25 〔回答票 24〕 では、次にあげることができるかどうかお尋ねします。【調査員注】 普段していなくても、必要があればできるかどうか聞く。(1)～(5)まで1つ1つ読みあげて聞く。

	(ア) 普通にできる	(イ) 一人で何とかできる(介助不要)	(ウ) 介助が必要	わからない	
(1) 金銭管理は一人でできますか	1	2	3	4	☐
(2) 買い物は一人でできますか	1	2	3	4	☐
(3) 内服薬の管理は一人でできますか	1	2	3	4	☐
(4) 食事の用意は一人でできますか	1	2	3	4	☐
(5) 掃除や洗濯は一人でできますか	1	2	3	4	☐

【健康習慣】

Q26 〔回答票 25〕 食生活についてお尋ねします。次にあげる食品類を「ほとんど毎日」食べていますか。

【調査員注】(1)～(10)まで、1つ1つ読みあげて聞く。

	(ア) はい	(イ) いいえ	わからない	
(1) 肉類	1	2	3	☐
(2) 魚介類	1	2	3	☐
(3) 海藻類	1	2	3	☐
(4) 緑黄色野菜	1	2	3	☐
(5) 牛乳(コップ1杯:180cc程度)	1	2	3	☐
(6) 大豆・大豆製品	1	2	3	☐
(7) いも類	1	2	3	☐
(8) 油脂類(油やバター、マーガリンなど)	1	2	3	☐
(9) 果物	1	2	3	☐
(10) 卵1個程度	1	2	3	☐

Q27 あなたの身長は何cmですか。(注) 1尺=30.3cm 1寸=3cm

	cm または (尺 寸) 1 わからない	☐ ~ ☐
---	---	---

Q28 体重は何kgですか。(注) 1貫=3.75kg

	kg または (貫) 1 わからない	☐ ~ ☐
---	--	---

Q29 週に2回以上、1回当たり30分以上の運動、あるいは週3日1回当たり20分以上の運動を1年以上続けていますか。

1 はい	2 いいえ	☐
---------	----------	--------------------------

Q30 〔回答票 26〕 この1か月の中で平均的な1週間を思い浮かべてください。あなたは、1週間のうち何日くらいアルコールを飲みましたか。

1 (ア) 毎日	4 (エ) 1週間に1～2日	☐
2 (イ) 1週間に5～6日	5 (オ) 1週間のうち1日にも満たない	
3 (ウ) 1週間に3～4日	6 (カ) まったく飲まない → 次ページQ31へ	

SQ アルコールを飲んだとき、平均すると、清酒換算で「何合」飲んでいきますか。【調査員注】清酒 1 合(180ml)は、次の量にほぼ相当する。ビール・発泡酒中瓶 1 本(約 500ml)、焼酎 20 度(135ml)、焼酎 25 度(110ml)、焼酎 35 度(80ml)、酎ハイ 7 度(350ml)、ウイスキーダブル 1 杯(60ml)、ワイン 2 杯(240ml) アルコール1杯は、およそ缶ビール 1 本、酎ハイ 1 杯、ワイングラス 1 杯、水割り 1 杯。

合

□□

〔全員に〕

Q31〔回答票 27〕 現在、タバコを吸っていますか。【調査員注】吸っているとは、毎日少なくとも 2、3 本程度吸っている方も含みます。

1 (ア) はい

2 (イ) 以前吸っていたが、現在は吸っていない

3 (ウ) 吸ったことがない

SQ1 日常的に吸い始めたのは何歳からでしたか。

歳

□□

SQ3 日常的に吸い始めたのは何歳からでしたか。

歳

□□

SQ2 平均して、1 日に何本タバコを吸いますか。

【調査員注】パイプ、キセル1服はたばこ1本と数える

1 日

□□

SQ4 やめたのは何歳ごろですか。

歳

□

□□

〔全員に〕

Q32 あなたは、1 日何回歯を磨いていますか。

1 0 回

3 2 回

2 1 回

4 3 回以上

□

Q33 歯科の健診や治療のために、1 年に 1 回以上歯科医院を受診していますか。

1 はい

2 いいえ

□

Q34〔回答票 28〕 もし、必要になったら、病気や健康に関連した情報を自分自身で探したり、利用したりすることができると
 思いますか。【調査員注】(1)～(5)まで1つ1つ聞く。

	(ア)まったく そう思わない	(イ)あまり そう思わない	(ウ)どちらでも ない	(エ)そう思う	(オ)強く そう思う
(1) 新聞、本、テレビ、インターネットなど 色々な情報源から情報が集められる	1	2	3	4	5
(2) たくさんある情報の中から、自分の求める 情報を選び出せる	1	2	3	4	5
(3) 情報がどの程度信頼できるかを判断できる	1	2	3	4	5
(4) 情報を理解し、人に伝えることができる	1	2	3	4	5
(5) 情報をもとに健康改善のための計画や行動 を決めることができる	1	2	3	4	5

□

□

□

□

□

Q35〔回答票 29〕 あなたご自身の運動やスポーツに対する考えについてお伺いします。

【調査員注】(1)～(3)まで1つ1つ聞く。

	(ア)そう 思う	(イ)まあ そう思う	(ウ)あまり そう思わない	(エ)まったく そう思わない
(1) 運動やスポーツをすることで、よく眠れるようになる	1	2	3	4
(2) 運動やスポーツをすることで、リフレッシュできる	1	2	3	4
(3) 運動やスポーツをすることで、ストレスが解消できる	1	2	3	4

□

□

□

Q36【回答票 30】 次のような場合でも、運動やスポーツをする自信がありますか。【調査員注】(1)～(3)まで1つ1つ聞く。

	(ア) おおいに自信がある	(イ) まあ自信がある	(ウ) あまり自信がない	(エ) まったく自信がない	
(1) あまり天気がよくないときでも運動やスポーツをする自信がある	1	2	3	4	⑪
(2) 忙しくても運動やスポーツをする自信がある	1	2	3	4	⑫
(3) 少し疲れているときでも、運動やスポーツをする自信がある	1	2	3	4	⑬

Q37【回答票 31】 あなたが運動やスポーツを行う際の家族や身近な人の対応についてお伺いします。

【調査員注】(1)～(3)まで1つ1つ聞く。

	(ア) そう思う	(イ) まあそう思う	(ウ) あまりそう思わない	(エ) まったくそう思わない	
(1) あなたが運動やスポーツをやらなかった場合、家族や身近な人はするように促してくれますか	1	2	3	4	⑭
(2) あなたが運動やスポーツに励んでいる場合、あなたが頑張っていると思ってくれますか	1	2	3	4	⑮
(3) 家族や身近な人は、あなたと運動やスポーツが一緒にできるように、時間を作ってくれますか	1	2	3	4	⑯

【周囲の人の健康習慣】

Q38 これまでの生活の中で、あなたのまわりの人はタバコを吸っていましたか。

(1)【回答票 32】 あなたが中学生くらいのときでは吸っている人はいましたか。該当する人すべてをあなたから見た続き柄でお答えください。

- 1 (ア) 父 3 (ウ) 祖父 5 (オ) 兄弟姉妹 7 (キ) まわりにいなかった ⑰
2 (イ) 母 4 (エ) 祖母 6 (カ) 親しい友人 8 わからない

(2)【回答票 33】 あなたが 20 歳くらいのときでは吸っている人はいましたか。該当する人すべてをあなたから見た続き柄でお答えください。

- 1 (ア) 父 3 (ウ) 祖父 5 (オ) 兄弟姉妹 7 (キ) 配偶者 9 (ク) まわりにいなかった
2 (イ) 母 4 (エ) 祖母 6 (カ) 親しい友人 8 (ク) 職場の人 10 わからない ⑱

(3)【回答票 34】 あなたが 40 歳くらいのときはいかがでしたか。該当する人すべてをあなたから見た続き柄でお答えください。

- 1 (ア) 配偶者 3 (ウ) 父 5 (オ) 祖父 7 (キ) 兄弟姉妹 9 (ク) 職場の人 11 わからない
2 (イ) 子ども 4 (エ) 母 6 (カ) 祖母 8 (ク) 親しい友人 10 (コ) まわりにいなかった ⑲⑳

Q39 これまでの生活の中で、あなたの家族など身近な人は、にんじん、かぼちゃ、ほうれん草などの緑黄色野菜を食べていましたか。

(1)【回答票 35】 あなたが中学生くらいのとき、あなたの家族などの身近な人は緑黄色野菜を食べていましたか。

- 1 (ア) ほとんど毎日 2 (イ) ときどき 3 (ウ) あまり 4 (エ) まったく 5 (オ) 知らない／
食べていた 食べていた 食べていない 食べていない いけない □

(2)【回答票 35】 あなたが 20 歳くらいのとき、あなたの家族などの身近な人は緑黄色野菜を食べていましたか。

- 1 (ア) ほとんど毎日 2 (イ) ときどき 3 (ウ) あまり 4 (エ) まったく 5 (オ) 知らない／
食べていた 食べていた 食べていない 食べていない いけない □

(3)【回答票 35】 あなたが 40 歳くらいのとき、あなたの家族などの身近な人は緑黄色野菜を食べていましたか。

- 1 (ア) ほとんど毎日 2 (イ) ときどき 3 (ウ) あまり 4 (エ) まったく 5 (オ) 知らない／
食べていた 食べていた 食べていない 食べていない いけない □

Q40 これまでの生活の中で、あなたやあなたのまわりの人は運動やスポーツをしていましたか。

(1) 【回答票 36】 あなたが中学生くらいのとき運動やスポーツをしていましたか。該当する人すべてをあなたから見た続き柄でお答えください。

- 1 (ア) 自分 3 (ウ) 祖父母 5 (オ) 親しい友人 7 (キ) まわりにいなかった
2 (イ) 父母 4 (エ) 兄弟姉妹 6 (カ) 近隣の人 8 わからない

□

(2) 【回答票 37】 あなたが 20 歳くらいのとき運動やスポーツをしていましたか。該当する人すべてをあなたから見た続き柄でお答えください。

- 1 (ア) 自分 3 (ウ) 祖父母 5 (オ) 親しい友人 7 (キ) 配偶者 9 わからない
2 (イ) 父母 4 (エ) 兄弟姉妹 6 (カ) 近隣の人 8 (ク) まわりにいなかった

□

(3) 【回答票 38】 あなたが 40 歳くらいのとき運動やスポーツをしていましたか。該当する人すべてをあなたから見た続き柄でお答えください。

- 1 (ア) 自分 3 (ウ) 子ども 5 (オ) 祖父母 7 (キ) 親しい友人 9 (ク) まわりにいなかった
2 (イ) 配偶者 4 (エ) 父母 6 (カ) 兄弟姉妹 8 (ク) 近隣の人 10 わからない

□

【ライフコース上の生活出来事】

Q41 【回答票 39】 あなたはこれまでに手持ちの票に記載されている出来事を経験されたことがありますか。ある場合、その番号をお答えください。【調査員注】(1)～(7)の内容は読み上げなくてよい。回答票の設問を対象者自身に読んでもらい、経験のある項目の番号を答えてもらう。経験した項目が「ある」場合にのみ、SQ をきく。

S Q その出来事を経験されたのは、あなたが何歳のときでしたか。複数回ある場合には、もっとも最近に経験した時の年齢をお聞かせください。

	経験の有無	あなたの年齢	
(1) お子さんをなくされたこと	1 ない 2 ある	4 (エ) 18～30 歳 5 (オ) 31～64 歳 6 (カ) 65 歳以上	□ □
(2) 火事、洪水、地震、その他の自然災害に遭ったこと	1 ない 2 ある	1 (ア) 5 歳以下 4 (エ) 18～30 歳 2 (イ) 6～11 歳 5 (オ) 31～64 歳 3 (ウ) 12～17 歳 6 (カ) 65 歳以上	□ □ □
(3) 戦闘で武器を使ったり、撃たれたりしたこと	1 ない 2 ある	1 (ア) 5 歳以下 4 (エ) 18～30 歳 2 (イ) 6～11 歳 5 (オ) 31～64 歳 3 (ウ) 12～17 歳 6 (カ) 65 歳以上	□ □ □
(4) あなたの配偶者やパートナー、あるいはお子さんが、薬物中毒やアルコール依存症になったこと	1 ない 2 ある	1 (ア) 5 歳以下 4 (エ) 18～30 歳 2 (イ) 6～11 歳 5 (オ) 31～64 歳 3 (ウ) 12～17 歳 6 (カ) 65 歳以上	□ □ □
(5) 身体的な暴力や暴行を受けたこと	1 ない 2 ある	1 (ア) 5 歳以下 4 (エ) 18～30 歳 2 (イ) 6～11 歳 5 (オ) 31～64 歳 3 (ウ) 12～17 歳 6 (カ) 65 歳以上	□ □ □
(6) 生死が危ぶまれるような重大な事故やけがをしたこと	1 ない 2 ある	1 (ア) 5 歳以下 4 (エ) 18～30 歳 2 (イ) 6～11 歳 5 (オ) 31～64 歳 3 (ウ) 12～17 歳 6 (カ) 65 歳以上	□ □ □
(7) あなたの配偶者やお子さんが、危うく命を落とすような事故や病気をしたこと	1 ない 2 ある	1 (ア) 5 歳以下 4 (エ) 18～30 歳 2 (イ) 6～11 歳 5 (オ) 31～64 歳 3 (ウ) 12～17 歳 6 (カ) 65 歳以上	□ □ □

Q42【回答票 40】 あなたは18歳になるまでにお手持ちの票に記載されている出来事を経験されたことがありますか。
ある場合、その番号をお答えください。【調査員注】(1)～(5)の内容は読み上げなくてよい。回答票の設問を対象者自身に読んでもらい、経験のある項目の番号を答えてもらう。経験した項目が「ある」場合にのみ、SQをきく。
SQ その出来事を経験されたのは、あなたが何歳のときでしたか。複数回ある場合には、もっとも最近に経験した時の年齢をお聞かせください。

	経験の有無	あなたの年齢	
(1) 学校を留年したこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5歳以下 3 (ウ) 12～17歳 2 (イ) 6～11歳	☐ ☐
(2) 警察の厄介になったこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5歳以下 3 (ウ) 12～17歳 2 (イ) 6～11歳	☐ ☐
(3) あなたのお父さんあるいはお母さんが、家族問題が生じるほど頻りにお酒を飲んだり薬物を使用したりしていたこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5歳以下 3 (ウ) 12～17歳 2 (イ) 6～11歳	☐ ☐
(4) 親から身体的虐待を受けたこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5歳以下 3 (ウ) 12～17歳 2 (イ) 6～11歳	☐ ☐
(5) いじめにあった経験。「いじめ」とは同級生などによる「仲間はずれ」「集団による無視」など心理的苦痛、暴力などの身体的攻撃、金品をとられる、自分のものを隠されるなどです。	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5歳以下 3 (ウ) 12～17歳 2 (イ) 6～11歳	☐ ☐

Q43【回答票 41】 あなたは次のような出来事を経験されたことがありますか。
SQ その出来事を経験されたのは、今から何年前でしたか。複数回ある場合には、もっとも最近に経験した時期をお聞かせください。【調査員注】(1)～(6)まで1つ1つ聞く。「ある」と答えた場合にのみ、SQをきくこと。

	経験の有無	時期	
(1) 定年退職以外の理由で、強制的に仕事を失ったこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5年以上前 3 (ウ) 1～3年未満 2 (イ) 3～5年未満 4 (エ) 1年未満	☐ ☐
(2) 3ヶ月以上こわたって失業していたり、仕事を探していたこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5年以上前 3 (ウ) 1～3年未満 2 (イ) 3～5年未満 4 (エ) 1年未満	☐ ☐
(3) あなたの家族が3ヶ月以上こわたって失業していたり、仕事を探していたこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5年以上前 3 (ウ) 1～3年未満 2 (イ) 3～5年未満 4 (エ) 1年未満	☐ ☐
(4) 引越して以前よりもお住まいや近隣の環境が悪化したこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5年以上前 3 (ウ) 1～3年未満 2 (イ) 3～5年未満 4 (エ) 1年未満	☐ ☐
(5) ひったくりや強盗にあったこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5年以上前 3 (ウ) 1～3年未満 2 (イ) 3～5年未満 4 (エ) 1年未満	☐ ☐
(6) 詐欺にあったこと	1 ない 2 ある →	1 (ア) 5年以上前 3 (ウ) 1～3年未満 2 (イ) 3～5年未満 4 (エ) 1年未満	☐ ☐

【全員に】

Q44【回答票 42】 18歳くらいまでに、次のようなことがありましたか。

SQ その健康上の理由は次のどれですか。【調査員注】(1)～(3)まで1つ1つ聞く。

	出来事の有無	健康上の理由	
(1) 健康上の理由によって1ヶ月以上学校を休んだ	1 ない 2 ある →	1 (ア) 感染症 2 (イ) 自己免疫性の疾患 (リウマチ、関節炎、アレルギー、喘息など) 3 (ウ) その他()	☐ ☐
(2) 健康上の理由によって3ヶ月以上運動を制限された	1 ない 2 ある →	1 (ア) 感染症 2 (イ) 自己免疫性の疾患 (リウマチ、関節炎、アレルギー、喘息など) 3 (ウ) その他()	☐ ☐
(3) 健康上の理由によって1ヶ月以上寝込んでいた	1 ない 2 ある →	1 (ア) 感染症 2 (イ) 自己免疫性の疾患 (リウマチ、関節炎、アレルギー、喘息など) 3 (ウ) その他()	☐ ☐

〔全員に〕

Q45 次に、あなたのこれまでの生活について、年齢別にうかがいます。

(1) 【回答票 43】 18 歳くらいまでのとき、あなたの家族は、食べ物や衣服、住居費など生活に必要な費用をまかなうことに苦勞していましたか。

- 1 (ア) 非常に苦勞した 3 (ウ) あまり苦勞していない 5 わからない ☐
2 (イ) やや苦勞した 4 (エ) まったく苦勞していない

(2) 【回答票 43】 18 歳から 35 歳くらいでは、あなたは、食べ物や衣服、住居費など生活に必要な費用をまかなうことに苦勞していましたか。

- 1 (ア) 非常に苦勞した 3 (ウ) あまり苦勞していない 5 わからない ☐
2 (イ) やや苦勞した 4 (エ) まったく苦勞していない

(3) 【回答票 43】 35 歳から 50 歳くらいでは、あなたはいかがでしたか。

- 1 (ア) 非常に苦勞した 3 (ウ) あまり苦勞していない 5 わからない ☐
2 (イ) やや苦勞した 4 (エ) まったく苦勞していない

Q46 【回答票 44】 あなたが 15 歳くらいのとき、あなたの家には次のようなものがありましたか。

【調査員注】(1)と(2)を1つ1つ聞く。

	(ア)あった	(イ)なかった	わからない	
(1) ピアノやバイオリン	1	2	3	☐
(2) 文学全集のセットや百科事	1	2	3	☐

Q47 【回答票 45】 あなたが小学生くらいのとき、あなたは家族と次のようなところに行っていましたか。

【調査員注】(1)と(2)を1つ1つ聞く。

	(ア)しばしば 行った	(イ)ときどき 行った	(ウ)あまり 行かなかった	(エ)まったく 行かなかった	わからない	
(1) 博物館や絵画展に行く	1	2	3	4	5	☐
(2) オペラやクラシックの演奏会	1	2	3	4	5	☐

【住環境】

Q48 あなたは、()区にお住まいになってから、何年になりますか。【調査員注】対象とした区の名前を()に挿入する。

- 1 1 年未満 5 10～20 年未満
2 1～3 年未満 6 20～30 年未満
3 3～5 年未満 7 30～50 年未満 ☐
4 5～10 年未満 8 50 年以上

以下の質問は、あなたの家の近所、すなわち自宅から 10～15 分程度で歩いて行くことができる範囲内の環境に関する質問です。

Q49 【回答票 46】 あなたの近所の住宅はどのようなタイプのものですか。主なものを 1 つだけお答えください。

- 1 (ア) 一戸建て 4 (エ) 4～12 階建てのマンション
2 (イ) 2～3 階建てのアパート 5 (オ) 13 階建て以上のマンション ☐
3 (ウ) 一戸建てと、2～3 階建てのアパートが混じっている

Q50【回答票 47】 以下の文章は、歩くことや自転車に乗ることに関係する、近所の環境について述べたものです。あなたの近隣環境にどの程度あてはまりますか。【調査員注】(1)～(9)まで1つ1つ聞く。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
	まったくあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	非常によくあてはまる	わからない
(1) 日用品を買うためのお店や、スーパーマーケット、商店街などが、自宅から簡単に歩いていける範囲にたくさんある	1	2	3	4	5
(2) バス停、駅などが自宅から歩いて 10～15 分以内にある	1	2	3	4	5
(3) 近所のほとんどの道路には歩道がある	1	2	3	4	5
(4) 近所には、自転車専用レーン、歩道兼用の自転車レーンなどのように自転車が通行できるレーンがある	1	2	3	4	5
(5) 近所には、公園、広場、ウォーキング道路、自転車道路、グラウンド、公営プール、体育館など、無料あるいは安価に利用できるレクリエーション施設がいくつかある	1	2	3	4	5
(6) 近所では犯罪の危険が高く、夜間に外を歩くのは安全とはいえない	1	2	3	4	5
(7) 近所では交通量が多く、外を歩くことに危険を感じたり、歩くことが楽しくなかったりする	1	2	3	4	5
(8) 近所では運動したり、体を動かしている人を多く見かける(ここで「運動」や「体を動かす」とは、買い物、通勤などで歩いたり、ウォーキング、ジョギング、サイクリングや、その他のスポーツをすることを意味します。)	1	2	3	4	5
(9) 近所を歩くと、興味をひかれるもの(きれいな景観、楽しい景観など)がたくさんある	1	2	3	4	5

Q51 あなたの家には車やバイクが全部で何台ありますか。

台

0 所持していない

× わからない

□～

【価値観・考え方】

Q52【回答票 48】 次の(1)から(10)までの言葉はあなた自身にどのくらいあてはまるかについてお答えください。

【調査員注】(1)～(10)まで、1つ1つ聞く。

⑩=5

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	
	まったく違うと思う	おおよそ違うと思う	少し違うと思う	どちらでもない	少しそう思う	まあまあそう思う	強くそう思う	わからない
(1) 私は自分自身のことを、活発で、外向的だと	1	2	3	4	5	6	7	8
(2) 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすい	1	2	3	4	5	6	7	8
(3) しっかりしていて、自分に厳しいと思う	1	2	3	4	5	6	7	8
(4) 心配性で、うろたえやすいと思う	1	2	3	4	5	6	7	8
(5) 新しいことが好きで、変わった考えをもつと	1	2	3	4	5	6	7	8
(6) ひかえめで、おとなしいと思う	1	2	3	4	5	6	7	8
(7) 人に気をつかう、やさしい人間だと思う	1	2	3	4	5	6	7	8
(8) だらしなく、うっかりしていると思う	1	2	3	4	5	6	7	8
(9) 冷静で、気分が安定していると思う	1	2	3	4	5	6	7	8
(10) 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う	1	2	3	4	5	6	7	8

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

Q53【回答票 49-1】 次の(1)から(20)までの言葉はあなた自身にどのくらいあてはまるかについてお答えください。

【調査員注】(1)～(20)まで、1つ1つ聞く。回答票が二枚に分かれているので注意する。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)		
	まったくあてはまらない	あてはまらない	どちらでもない	あてはまる	よくあてはまる	わからない	
(1) 私の人生は運命によって定められているところが多い	1	2	3	4	5	6	☐
(2) 人生の中で、ああすべきだったのに、と思うことが多い	1	2	3	4	5	6	☐
(3) 昔のことを考えるのは楽しい	1	2	3	4	5	6	☐
(4) 何かをやり遂げようとするときに、目標を決めてそれに到達するために具体的な方法を検討する	1	2	3	4	5	6	☐
(5) 昔のことを思い出すと、悪い思い出よりも良い思い出の方が全体的	1	2	3	4	5	6	☐
(6) なるようにしかならないので、自分が何をしてもあまり関係がない	1	2	3	4	5	6	☐
(7) 過去のつらい経験が、繰り返し頭に浮かぶ	1	2	3	4	5	6	☐
(8) 楽しかった思い出が、すぐに心に浮かぶ	1	2	3	4	5	6	☐
(9) 毎日を計画的というよりは成り行きで過ごす	1	2	3	4	5	6	☐
(10) 嫌な思い出が多いので、過去のことは思い出したくない	1	2	3	4	5	6	☐
【回答票49-2】							
(11) 人生に刺激は必要だ	1	2	3	4	5	6	☐
(12) 時間内に終えることよりも、やっていることを楽しむことの方が大切だと思う	1	2	3	4	5	6	☐
(13) 危険をおそれないからこそ、人生は退屈でなくなる	1	2	3	4	5	6	☐
(14) 若い頃の嫌なイメージを忘れることができない	1	2	3	4	5	6	☐
(15) 人生の進路は、自分ではどうしようもない力によって決められている	1	2	3	4	5	6	☐
(16) どうしようもないことなので、将来について心配しても仕方がない	1	2	3	4	5	6	☐
(17) コツコツと取り組んで時間通りに課題を終了する	1	2	3	4	5	6	☐
(18) 人生の刺激を得るために冒険する	1	2	3	4	5	6	☐
(19) やるべきことがあるとき、誘惑に耐えることができる	1	2	3	4	5	6	☐
(20) 過去に起きた嫌な出来事について考えることがある	1	2	3	4	5	6	☐

【社会的支援】

【全員に】

Q54 あなたの話を聴いてくれたり、理解してくれる人はいますか。

1 いる

2 いない

→ Q55 へ

☐

SQ【回答票 50】 それは誰ですか。該当する人すべてを選んでください。

- | | | |
|-----------------|-----------------------------------|--------------------------|
| 1 (ア) 配偶者 | 7 (キ) 保健師 | |
| 2 (イ) 子ども | 8 (ク) ソーシャルワーカー(病院の相談員、区のケースワーカー) | |
| 3 (ウ) その他の家族・親戚 | 9 (ケ) ケアマネジャー | ☐ |
| 4 (エ) 近隣の人・友人 | 10 (コ) ホームヘルパー | ☐ |
| 5 (オ) 医師 | 11 (サ) その他 () | |
| 6 (カ) 看護師・訪問看護師 | 12 わからない | |

【全員に】

Q55 あなたが2～3日寝込んだような場合、あなたの身のまわりの世話をしてくれたり、家事の援助をしてくれる人はいますか。

1 いる

2 いない

→ 次ページQ56 へ

☐

SQ【回答票50】 それは誰ですか。該当する人すべてを選んでください。

- | | | |
|-----------------|-----------------------------------|--------------------------|
| 1 (ア) 配偶者 | 7 (キ) 保健師 | |
| 2 (イ) 子ども | 8 (ク) ソーシャルワーカー(病院の相談員、区のケースワーカー) | |
| 3 (ウ) その他の家族・親戚 | 9 (ケ) ケアマネジャー | ☐ |
| 4 (エ) 近隣の人・友人 | 10 (コ) ホームヘルパー | ☐ |
| 5 (オ) 医師 | 11 (サ) その他 () | |
| 6 (カ) 看護師・訪問看護師 | 12 わからない | |

[全員に]

Q56 健康・生活・福祉のことで、相談にのってくれたり、情報を提供してくれる人はいますか。

1 いる 2 いない → Q57 へ

□

SQ [回答票 50] それは誰ですか。該当する人すべてを選んでください。

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 1 (ア) 配偶者 | 7 (キ) 保健師 |
| 2 (イ) 子ども | 8 (ク) ソーシャルワーカー(病院の相談員、区のケースワーカー) |
| 3 (ウ) その他の家族・親戚 | 9 (ケ) ケアマネジャー |
| 4 (エ) 近隣の人・友人 | 10 (コ) ホームヘルパー |
| 5 (オ) 医師 | 11 (サ) その他 () |
| 6 (カ) 看護師・訪問看護師 | 12 わからない |

□

□

[全員に]

Q57 あなたに外出や人とのつきあいをすすめてくれたり、誘ってくれる人はいますか。

1 いる 2 いない → Q58 へ

□

SQ [回答票 50] それは誰ですか。該当する人すべてを選んでください。

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 1 (ア) 配偶者 | 7 (キ) 保健師 |
| 2 (イ) 子ども | 8 (ク) ソーシャルワーカー(病院の相談員、区のケースワーカー) |
| 3 (ウ) その他の家族・親戚 | 9 (ケ) ケアマネジャー |
| 4 (エ) 近隣の人・友人 | 10 (コ) ホームヘルパー |
| 5 (オ) 医師 | 11 (サ) その他 () |
| 6 (カ) 看護師・訪問看護師 | 12 わからない |

□

□

[全員に]

Q58 あなたは、家族や親戚の介護・看病をこの1年間にしましたか。ちょっとした手伝いや認知症などのための見守りも含めます。

1 した 2 まったくしていない → 次ページQ59 へ

□

S Q1 [回答票 51] それはどなたですか。あなたからみた続柄でお答えください。

【調査員注】複数いる場合、回答者が最も多く介護・看病していた人を1人だけ選ぶ。

- | | | |
|-------------|----------------|---------------|
| 1 (ア) 配偶者 | 4 (エ) あなたの兄弟姉妹 | 8 (ク) 孫 |
| 2 (イ) あなたの親 | 5 (オ) 配偶者の兄弟姉妹 | 9 (ケ) その他 () |
| 3 (ウ) 配偶者の親 | 6 (カ) 子ども | 10 わからない |
| | 7 (キ) 子どもの配偶者 | |

□

S Q 2 [回答票 52] この1カ月では、あなたは、その方のお世話をどのくらいしましたか。

- 1 (ア) 毎日した

2 (イ) 週に4～6日くらいした

3 (ウ) 週に1～3日くらいした

4 (エ) 月に1～3日くらいした
- 5 (オ) この1カ月はしていないが、年に数回くらいした
- 6 (カ) 入院や死亡のため、この1カ月はしていない

→ SQ3 [回答票 53] した日は、平均すると1日に何時間くらいしましたか。

- 1 (ア) 1時間以内
- 2 (イ) 1時間より多く～2時間以内
- 3 (ウ) 2時間より多く～3時間以内
- 4 (エ) 3時間より多く～4時間以内
- 5 (オ) 4時間より多く～5時間以内
- 6 (カ) それより多い
- 7 わからない

□

□

【コントロール感】

【全員に】

Q59【回答票 54-1】 次のそれぞれの文章があなた自身にどのくらいあてはまるかについてお答えください。

【調査員注】 (1)～(19)まで1つ1つ聞く。回答票が二枚に分かれているので注意する。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	
	まったくあてはまらない	ほとんどあてはまらない	どちらかといえばあてはまらない	どちらでもない	どちらかといえばあてはまる	かなりあてはまる	とてもあてはまる	わからない
(1) 人生で大切なことを変えるために自分でできることはほと	1	2	3	4	5	6	7	8
(2) 人生の問題に対処するにあたって、私はしばしば無力感を	1	2	3	4	5	6	7	8
(3) 本当にやろうと決めたことは、ほとんど何でもやることが	1	2	3	4	5	6	7	8
(4) 私のできることとできないことの多くは、他人によって決	1	2	3	4	5	6	7	8
(5) 私の人生で起こることは、自分でコントロールできる範囲	1	2	3	4	5	6	7	8
(6) 本当にやりたいことがある時は、それを達成するための方	1	2	3	4	5	6	7	8
(7) 私がやりたいことを邪魔するものがたくさんある	1	2	3	4	5	6	7	8
(8) 私がほしいものを手に入れられるかどうかは、自分次第で	1	2	3	4	5	6	7	8
(9) 私に起こることは、自分ではどうすることもできない	1	2	3	4	5	6	7	8
(10) 私の抱える問題を解決する方法はまったくない	1	2	3	4	5	6	7	8
〔回答票 54-2〕								
(11) 私は、ときどき人生に振り回されていると感じる	1	2	3	4	5	6	7	8
(12) 私に将来どんなことが起こるかは、ほとんど自分次第だ	1	2	3	4	5	6	7	8
(13) 私は、他人と比べて、よくも悪くもない	1	2	3	4	5	6	7	8
(14) 自分に対して、肯定的である	1	2	3	4	5	6	7	8
(15) 自分は、まったく駄目な人間だと思うことがある	1	2	3	4	5	6	7	8
(16) すくなくとも人並みに、物事を行うことができる	1	2	3	4	5	6	7	8
(17) もう少し自分を尊敬できるようにしたい	1	2	3	4	5	6	7	8
(18) 私は、自分に満足している	1	2	3	4	5	6	7	8
(19) 時々、自分は役に立たない人間だと感じる	1	2	3	4	5	6	7	8

【両親】

Q60 あなたのご両親のことについてうかがいます。

(1)【回答票 55】 あなたのお父様が、最後に通われた学校はどちらですか。中退も卒業と同じ扱いで答えてください。

- 1 (ア) 学校には行かなかった
- 2 (イ) 尋常小学校、新制の小学校
- 3 (ウ) 高等小学校、新制の中学校
- 4 (エ) 実業学校（農業学校、商業学校など）、実業補修学校、青年学校
- 5 (オ) 旧制中学校、新制の高等学校
- 6 (カ) 旧制高等学校、師範学校、高等師範学校以上（大学・大学院を含む）
- 7 わからない

□

(2)【回答票 56】 あなたのお母様が、最後に通われた学校はどちらですか。中退も卒業と同じ扱いで答えてください。

- 1 (ア) 学校には行かなかった
- 2 (イ) 尋常小学校、新制の小学校
- 3 (ウ) 高等小学校、新制の中学校
- 4 (エ) 実業学校（農業学校、商業学校など）、実業補修学校（洋裁、和裁など）、青年学校
- 5 (オ) 旧制中学校、高等女学校、新制の高等学校
- 6 (カ) 旧制高等学校、師範学校、女子高等師範学校以上（大学・大学院を含む）
- 7 わからない

□

(3)【回答票 57】 あなたのお父様が最も長く就かれたお仕事は何ですか。

- 1 (ア) 管理職 (会社役員、課長相当以上の管理職、議員など)
- 2 (イ) 専門・技術職 (医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、作家、デザイナー、編集者など)
- 3 (ウ) 事務職 (庶務・経理事務員、秘書、銀行窓口事務員、集金人、コンピュータ操作員など)
- 4 (エ) 販売職 (小売・卸売店主、販売店員、不動産仲介人、保険代理人・外交員、営業職従事者など)
- 5 (オ) サービス職 (美容師、介護職員、調理人、接客・給仕、クリーニング、マンション管理人など)
- 6 (カ) 保安職 (自衛官、警察官、消防員、警備員など) ☐
- 7 (キ) 農林漁業職 (農業、養畜、林業、植木職、造園師、漁業など) ☐
- 8 (ク) 輸送・機械運転従事者 (自動車運転従事者、建設・定置機械運転従事者など)
- 9 (ケ) 技能・生産工程・労務職 (職人、工場作業員、建設・電気・土木作業員、清掃員など)
- 10 (コ) その他 (具体的に)
- 11 わからない

(4)【回答票 58】 あなたのお母様が最も長く就かれたお仕事は何ですか。

- 1 (ア) 管理職 (会社役員、課長相当以上の管理職、議員など)
- 2 (イ) 専門・技術職 (医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、作家、デザイナー、編集者など)
- 3 (ウ) 事務職 (庶務・経理事務員、秘書、銀行窓口事務員、集金人、コンピュータ操作員など)
- 4 (エ) 販売職 (小売・卸売店主、販売店員、不動産仲介人、保険代理人・外交員、営業職従事者など)
- 5 (オ) サービス職 (美容師、介護職員、調理人、接客・給仕、クリーニング、マンション管理人など)
- 6 (カ) 保安職 (自衛官、警察官、消防員、警備員など) ☐
- 7 (キ) 農林漁業職 (農業、養畜、林業、植木職、造園師、漁業など) ☐
- 8 (ク) 輸送・機械運転従事者 (自動車運転従事者、建設・定置機械運転従事者など)
- 9 (ケ) 技能・生産工程・労務職 (職人、工場作業員、建設・電気・土木作業員、清掃員など)
- 10 (コ) その他 (具体的に)
- 11 (サ) 専業主婦
- 12 わからない

【住宅・経済】

⑩=6

【調査員注】以下のことを読み上げてから質問にはいること。

これ以降の質問では、たちいったことをうかがいますが、年金や介護保険などの高齢者施策に役立てるために必要な資料となりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

Q61【回答票 59】 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

- | | | |
|-----------------------|--------------------------|---|
| 1 (ア) 持ち家(一戸建て・土地保有) | 8 (ク) 民間借家(賃貸マンション、アパート) | |
| 2 (イ) 持ち家(一戸建て・借地) | 9 (ケ) 給与住宅(社宅、寮、官舎など) | |
| 3 (ウ) 持ち家(分譲マンション) | 10 (コ) 間借り | ⑪ |
| 4 (エ) 自分や家族の所有するビル | 11 (サ) 養護・軽費老人ホーム | ⑫ |
| 5 (オ) 公営住宅 | 12 (シ) 有料老人ホーム・ケア付きマンション | |
| 6 (カ) 公社、公団(賃貸) | 13 (ス) その他 (具体的に) | |
| 7 (キ) 民間借家(一戸建て、長屋建て) | | |

Q62【回答票 60】 お宅では、経済的な理由から持っていない電化製品やガス製品はありますか。次の中からあてまる番号すべてをお答えください。【調査員注】持っていない機器すべてに○をする。

- | | | | |
|-----------|-------------|------------------|---|
| 1 (ア) テレビ | 3 (ウ) エアコン | 5 (オ) 湯沸かし器 | ⑬ |
| 2 (イ) 冷蔵庫 | 4 (エ) 電子レンジ | 6 (カ) あてはまるものはない | |

Q63【回答票 61】 お宅には、次のような設備や部屋がありますか。ないものがあまりましたら、その番号をすべてお答えください。

【調査員注】ない設備や部屋すべてに○をする。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 (ア) 専用の(他の世帯と共用ではない)トイレ | 4 (エ) 寝室と独立したダイニング |
| 2 (イ) 専用の(他の世帯と共用ではない)台所 | 5 (オ) あてはまるものはない |
| 3 (ウ) 専用の(他の世帯と共用ではない)浴室 | |

⑭

Q64【回答票 62】 経済的な理由から次のようなことがありますか。あてはまる番号すべてをお答えください。

【調査員注】あてはまることすべてに○をする。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 (ア) 電話がない／止められている | 4 (エ) この1年に、電気・ガスを止められた |
| 2 (イ) 礼服をもっていない | 5 (オ) あてはまることはない |
| 3 (ウ) この1年に、親戚の慶弔に欠席した | |

⑮

Q65【回答票 63】 お宅では、毎月のやりくりはいかがですか。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 (ア) 非常に苦労している | 4 (エ) あまり苦労していない |
| 2 (イ) やや苦労している | 5 (オ) まったく苦労していない |
| 3 (ウ) どちらともいえない | 6 わからない |

⑯

Q66【回答票 64】 ところで、あなたと配偶者の年収は、合計して、この中のどれにあたりますか。

(生活保護を受けている方は、それも含めてお考えください。)

【調査員注】配偶者がいない場合は、「あなたの年収は」と読み替える。仕送りや年金なども含む。

- | | | |
|-------------------|---------------------|-----------------|
| 1 (ア) 120万円未満 | 5 (オ) 400～500万円未満 | 9 (ケ) 1,000万円以上 |
| 2 (イ) 120～180万円未満 | 6 (カ) 500～600万円未満 | 10 わからない |
| 3 (ウ) 180～300万円未満 | 7 (キ) 600～800万円未満 | 11 無回答 |
| 4 (エ) 300～400万円未満 | 8 (ク) 800～1,000万円未満 | |

⑰

⑱

Q67【回答票 65】 あなたと配偶者の預貯金の総額は、およそどれくらいになりますか。

【調査員注】配偶者がいない場合は、「あなたの預貯金は」と読み替える。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 (ア) 100万円未満 | 5 (オ) 3,000万円以上 |
| 2 (イ) 100～500万円未満 | 6 わからない |
| 3 (ウ) 500～1,000万円未満 | 7 無回答 |
| 4 (エ) 1,000～3,000万円未満 | |

⑲

【記憶力について】

次に、記憶力について、いくつか質問をします。記憶力のとてもよい人でも、時々物忘れをするものです。失礼と存じますが、よろしくご協力ください。

Q68 あなたのご住所を教えてください。この質問は、確認のみで記入はしませんがご安心ください。

【調査員注】番地まで確認する。

1 正 2 誤

⑳

Q69 今日は、何日ですか。年、月、日をお答えください。

【調査員注】「28 年」と元号を省略した回答の場合は、「元号から正確に言ってください」と聞く。

- | | |
|------|----------------------------|
| 1 平成 | |
| 2 昭和 | (_____ 年 _____ 月 _____ 日) |
| 3 西暦 | |

1 正 2 誤

☐☐☐

☐

Q70 今日は、何曜日ですか。□
(月 火 水 木 金 土 日) 1 正 2 誤 □

Q71 あなたのお母さんの結婚される前の名字(みょうじ)は何といいましたか。
【調査員注】思い出せたかどうかの確認のみで
記入はしないこと。 1 思いだせた(正) 2 思いだせない(誤) □

Q72 現在の日本の総理大臣の名前をいってください。
(_____ 現在の総理大臣) 1 正 (安倍) 2 誤 □

Q73 では、今の総理大臣の前の総理大臣の名前を覚えていますか。
(_____ 一代前の総理大臣) 1 正 (野田) 2 誤 □

Q74 最後に、ちょっと計算をお願いします。20 から 3 を引くといくつですか。……それでは、
その数から、さらに 3 を引くといくつですか。それでは、そのあと順に、3 を引いた数をいってください。
【調査員注】答えを“A”から順に記入する。誤った時点で終了する。
A B C D E F 1 正 2 誤 □
_____ □
(17) (14) (11) (8) (5) (2)

【調査員注: Q75、76 は質問せずに、Q2の回答を転記する】

Q75 生年月日 1 正 2 誤 □

Q76 年 齢 1 正 2 誤 □
(かぞえ年で答えても正とする)

【電話番号】以上で調査は終わりです。長い間ご協力ありがとうございました。
差しつかえなければ電話番号をお聞かせください。これは、私がおじゃました確認や、そのようなことはないと思いますが、
もし、おうかがいしそこねたことがあったとき、おたずねするときのためです。ご迷惑をおかけするようなことはありません
ので
ご安心ください。

1 電話あり → (市外局番) □
2 電話なし □

直接お会いして、これまでの経験をより詳しくお聞きする調査を計画しております。もし、お願いした場合には、その調査にご協力いただくことはできますか。実際に調査に協力されるか否かは、ご案内を差し上げた際に、ご判断いただいてかまいません。なお、この調査にご承諾いただけた場合でも、お願いできないことがございます。そのような場合はご容赦ください。

1 協力できる → 同意書の記入を依頼する □
2 協力できない